

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年9月28日

【中間会計期間】 2023年度中(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

【会社名】 スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】 ヘンリク・アダムソン
(Henrik Adamsson)
ヘッド・オブ・リーガル兼
ヘッド・オブ・トランザクション・マネジメント
(Head of Legal and Transaction Management)
リーゼロッテ・エルフストランド
(Liselotte Elfstrand)
ヴァイス・プレジデント
(Vice President)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッドゴード
シュガータン 2
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】 弁護士 佐藤 孝成
弁護士 森 真幸人
弁護士 瀬田 裕貴
弁護士 安達 結希

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1623
03-6775-1679
03-6775-1747
03-6775-1811

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。

「当行グループ」とは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。

「北欧諸国」又は「北欧」とは、スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。

「スウェーデン」とは、スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2023年8月25日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=13.30円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本半期報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

以下の事項を除き、2023年6月27日に提出した有価証券報告書の「第一部 - 第1 本国における法制等の概要」に記載された事項に重要な変更はなかった。変更箇所は以下に下線で示した部分である(なお、上記有価証券報告書において付されていた下線は、訂正箇所を明示するため、以下においては表示していない。)。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

()規制環境及び資本基盤

(変更前)

(中略)

所要自己資本

(中略)

自己資本比率

(中略)

2022年12月31日現在、普通株式等Tier 1比率は19.6%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は14.5%(P2Gの1.5%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。

(後略)

(変更後)

(中略)

所要自己資本

(中略)

自己資本比率

(中略)

2023年6月30日現在、普通株式等Tier 1比率は19.8%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は15.2%(P2Gの1.0%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。

(後略)

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結¹

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2023年	2022年	2021年	2022年度	2021年度
	1月 - 6月期	1月 - 6月期	1月 - 6月期		
要約損益計算書 ²					
純利息収益	23,172	16,404	15,000	36,614	30,321
純手数料及びコミッション収益	5,527	5,587	5,428	10,981	11,458
金融取引による純損益	995	435	770	1,540	1,699
保険リスク	-	-	101	-	179
保険事業による純損益	207	-164	-	-11	-
その他配当金収益	2	16	1	17	2
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	19	-38	28	-13	63
その他収益	229	1,136	69	1,246	555
収益合計	30,151	23,376	21,397	50,375	44,277
人件費	-6,729	-6,306	-6,467	-13,040	-12,452
その他費用	-3,805	-3,156	-2,653	-6,526	-5,577
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-875	-811	-936	-1,646	-1,814
費用合計	-11,410	-10,273	-10,056	-21,212	-19,843
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料					
控除前利益	18,741	13,103	11,341	29,163	24,434
正味信用損失	-88	-62	97	-47	-43
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	11	18	6	24	14
リスク税及び破綻処理手数料 ³	-1,307	-1,153	-465	-2,311	-930
営業利益	17,357	11,905	10,979	26,829	23,475
法人税等	-4,000	-2,387	-2,317	-5,431	-4,627
継続事業からの当期利益	13,357	9,519	8,662	21,398	18,848
非継続事業からの当期利益(税引後)	561	380	452	280	695
当期利益	13,918	9,899	9,114	21,678	19,543

要約貸借対照表⁴(当期末)

一般顧客への貸出金	2,335,959	2,249,615	2,337,419	2,315,818	2,163,135
うち、個人	1,243,247	1,234,458	1,278,455	1,241,282	1,203,475
うち、企業	1,092,712	1,015,157	1,058,964	1,074,536	959,660

一般顧客からの預金及び借入金	1,433,843	1,442,548	1,427,959	1,318,925	1,286,637
うち、個人	617,206	612,936	598,868	605,634	571,402
うち、企業	816,636	829,613	829,091	713,291	715,235
資本合計	196,286	183,533	178,623	194,024	181,731
資産合計	3,755,442	3,689,060	3,436,487	3,453,718	3,346,764

主要指標の要約

事業合計における株主資本利益率	15.6%	11.9%	11.1%	12.8%	11.8%
継続事業におけるC/I比率	37.8%	43.9%	47.0%	42.1%	44.8%
一株当たり利益(単位：スウェーデン・クローネ)	7.03	5.00	4.60	10.95	9.86
普通株式等Tier 1比率、CRR	19.8%	18.7%	20.5%	19.6%	19.4%
総自己資本比率、CRR	24.2%	23.4%	24.5%	23.8%	23.3%

¹ 2023年度現在、当行グループはIFRS第17号「保険契約」を適用している。すべての関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は、2022年度中にも同基準が適用されたものとして再計算されている。2021年6月30日に終了した6ヶ月間及び2021年12月31日に終了した年度の数値は、IFRS第17号への移行に関して再計算されていない。その他の開示事項については、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記1 会計方針」及び「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - IFRS第17号への移行に伴う再計算」に記載の表を参照のこと。

² 当行がフィンランド及びデンマークでの事業停止を決定した結果、2021年12月31日現在及び2022年12月31日現在において、これらは非継続事業として計上されている。比較可能性の観点から、2021年6月30日に終了した6ヶ月間の損益計算書は修正再表示されている。

³ リスク税及び破綻処理手数料は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。そのため、表に示された2021年1月 - 6月期及び2021年度の収益の比較数値は再計算されている。

⁴ 処分グループであるフィンランドにおいて売却目的で保有する資産及び負債の明細は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記10」に記載されている。

非連結

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	2022年度	2021年度
収益合計	20,894	11,441	12,663	46,011	41,727
信用損失控除前費用合計	-10,842	-10,533	-9,648	-21,864	-19,047
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料					
控除前利益 ¹	10,052	908	3,015	24,148	22,680
営業利益	9,060	169	2,800	20,471	21,079
税引前利益	9,060	170	2,831	20,311	21,306
当期利益	7,749	72	2,230	15,455	16,688
損益計算書に組み替えられない項目合計	56	15	48	22	59
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	403	2,543	456	3,425	1,247
当期その他包括利益合計	458	2,561	504	3,447	1,306
当期包括利益合計	8,207	2,633	2,734	18,902	17,994
資産合計	2,622,388	2,588,176	2,377,301	2,362,889	2,230,134
負債合計	2,475,267	2,450,012	2,238,944	2,208,135	2,085,208

資本合計	146,253	137,458	137,455	153,887	144,220
負債及び資本合計	2,622,388	2,588,176	2,377,301	2,362,889	2,230,134

¹ 破綻処理手数料は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。また、リスク税も同項目の一部として計上されている。そのため、表に示された2021年1月 - 6月期及び2021年度の収益の比較数値は再計算されている。

2【事業の内容】

2023年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

3【関係会社の状況】

2023年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

4【従業員の状況】

2023年1月1日から2023年6月30日までの6ヶ月間(以下「当該6ヶ月間」という。)において、継続事業においては平均11,434名の従業員を有していた。

当該6ヶ月間における当行グループの継続事業における各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	4,045
英国における支店業務	2,626
ノルウェーにおける支店業務	791
オランダにおける支店業務	381
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	598
その他の部門	2,993
継続事業合計	11,434

* 上表の数値には、当行グループのデンマーク及びフィンランドにおける事業の従業員数は含まれていない。

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

以下の事項を除き、2023年6月27日に提出した有価証券報告書の「第一部 - 第3 - 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」に記載された事項に重要な変更はなかった。

(2)経営環境

当行グループの資産及び顧客の多数は、スウェーデン、ノルウェー及び英国に所在し又は関連する事業を有している。その結果、当行グループは、これらの国々のマクロ経済状況の影響を大きく受ける。

ウクライナにおける戦争及びCOVID-19によるパンデミックは(後者について一定程度)、北欧諸国、英国及びオランダの経済に悪影響を及ぼし続けることが予想される。ウクライナにおける戦争の勃発以降、インフレが進行し、GDP成長率は鈍化している。スウェーデン統計局(Sw. Statistiska Centralbyrån)によると、2021年度及び2022年度におけるスウェーデンのGDP成長率はそれぞれ4.8%及び2.6%であったが、当行は2023年度中に0.6%下降すると予測している。当行の最新の見積りでは、2023年度中、英国及びノルウェーにおける実質GDPはそれぞれ0.4%及び1.2%増加すると予想されている。当行の最新の予測では、スウェーデンにおける2023年度のCPIF(固定金利における消費者物価指数)のインフレ率は、6.1%に達すると見込まれており、また、緩やかなデフレーションの進行が予想されているが、2.0%のインフレ目標は2024年度末又は2025年度の初めまで達成されないだろうと予想されている。

リクスバンクは2019年1月、主要政策金利をマイナス0.25%に引き上げ、2020年1月8日からは、政策金利の0%への引き上げを適用した。2022年度及び2023年度にインフレが急速に加速したため、リクスバンクは政策金利を引き上げた。2022年度中、政策金利は何度か0%から2.50%へ引き上げられ、2023年度中もさらに4度にわたって引き上げられ、現在は4.0%となっている。また、リクスバンクは政策金利をさらに引き上げる可能性を示した。

近年、住宅不足及び低金利を含むいくつかの要因により、スウェーデンにおける特に個人へのモーゲージ貸付高が急激に増加した。スウェーデン統計局(Sw. Statistiska Centralbyrån)によると、2010年度から2021年度にかけて住宅価格は年率約6%上昇した。同期間に、可処分所得に占める家計負債の割合は22%増加し、スウェーデンの世帯における負債比率(可処分所得に対するローン)は、平均で、2010年度の150%と比較して、2021年度には182%となった。その結果、スウェーデンの個人の負債の水準は記録的に高い水準となっている。したがって、個人は金利の上昇、収益の損失及び住宅価格の下落の影響をより受け易くなる。個人の負債の増加に関連するリスクを低減する手段として、2016年6月に住宅ローンに関連する償却要件が導入され、それ以降、さらなる償却要件が導入されている。さらに、最近の高インフレ及び金利上昇により住宅市場の状況が変化し、住宅価格は下落傾向にあり、住宅協同組合のアパート及び一世帯用住宅の価格が、2022年度にそれぞれ9%及び10%下落した。2023年度に入ってから、販売活動の減少が継続しているものの、価格は横ばい傾向が続いている。

当行グループはスウェーデンにおいて市場リーダーであり、スウェーデンにおいて営業する4つの主要な銀行の1つであって、その他3つの銀行はノルディア・バンク・エイ・ビー・ピー・フィリアル・アイ・スヴェリエ(Nordea Bank Abp filial i Sverige)、スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン・エイ・ビー(Skandinaviska Enskilda Banken AB)及びスウェドバンク・エイ・ビー(Swedbank AB)である。当行グループは、スウェーデン及び海外の両方において当行グループが事業展開する市場内で厳しい競争にさらされている。商業銀行に加えて、当行は金融会社及び住宅金融専門機関とも競合している。

銀行部門を含む社会のデジタル化の速度及び範囲は近年加速しており、その結果、顧客はますますデジタル・チャネルを通じて銀行取引を行っている。当行は引き続き、当行のサービスをデジタル化し、顧客の希望やニーズに合わせているが、これらのデジタル・サービスは支店の現地拠点と連携している。

経営環境についての追加情報については、下記「第3 - 2 事業等のリスク - 世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

2023年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績等の概要

下記「(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

営業利益は、46%増加して17,357百万スウェーデン・クローネ(前年同期は11,905百万スウェーデン・クローネ)となった。比較可能性に影響する項目を調整後、営業利益は60%増加した。

収益合計は、29%増加して30,151百万スウェーデン・クローネ(前年同期は23,376百万スウェーデン・クローネ)となった。比較可能性に影響する項目を調整後、収益合計の増加は35%であった。かかる増加は、活動水準の上昇による影響もあったが、主な要因は2023年度上半期中の金利の利鞘の回復であった。

費用合計は、11%すなわち1,137百万スウェーデン・クローネ増加して-11,410百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-10,273百万スウェーデン・クローネ)となった。比較可能性に影響する項目を調整後、費用合計の増加は9%であった。かかる費用合計の増加は、当行のサービスを強化するための投資の増加及び当行の本拠地市場における全般的なインフレによるものであった。

継続事業からのC/I比率は、37.8%(前年同期は43.9%)に改善した。

信用損失率は、0.01%(前年同期は0.00%)となった。

2023年度上半期の利益は、41%増加して13,918百万スウェーデン・クローネ(前年同期は9,899百万スウェーデン・クローネ)となった。

一株当たり利益は、41%増加して7.03スウェーデン・クローネ(前年同期は5.00スウェーデン・クローネ)となった。

事業合計からの株主資本利益率は、15.6%(前年同期は11.9%)に増加した。

普通株式等Tier 1比率は、19.8%(前年同期は18.7%)であった。

収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動
純利息収益	23,172	16,404	41%
うち、フィンランドの非継続事業に関連する資金 調達費用		149	
純手数料及びコミッション収益	5,527	5,587	-1%
金融取引による純損益	995	435	129%
その他	457	950	-52%
収益合計	30,151	23,376	29%

2021年秋に、フィンランドにおける事業売却が決定された。2023年度現在、非継続事業には、顧客主導の純利息収益のほか、フィンランドにおける売却対象グループのためのグループ財務部を通じた市場からの資金調達の部分にかかる費用も含まれている。これらの後者の費用は、2022年度上半期中の継続事業における純利息収益に計上されており、比較可能性に影響する項目の表に含まれている。

純利息収益は、41%すなわち6,768百万スウェーデン・クローネ増加して23,172百万スウェーデン・クローネ(前年同期は16,404百万スウェーデン・クローネ)となった。前述のフィンランドにおける売却対象グループに関連する149百万スウェーデン・クローネの影響及び120百万スウェーデン・クローネの為替の影響を調整後、純利息収益は42%増加した。かかる増加は、取引額の増加及び金利の利鞘の回復によるものである。全体として、利鞘及び資金調達費用の正味の影響により、6,699百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。取引額の増加は328百万スウェーデン・クローネ寄与した。流動性ポートフォリオの純利息収益に対する寄与は、-334百万スウェーデン・クローネであった。預金保証スキームの費用の増加により、-39百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。その他の影響は、純利息収益に143百万スウェーデン・クローネの影響を与えた。

純手数料及びコミッション収益は、1%すなわち60百万スウェーデン・クローネ減少して5,527百万スウェーデン・クローネ(前年同期は5,587百万スウェーデン・クローネ)となった。全体として、ファンド運用手数料、カストディ手数料及びその他の資産運用手数料は、多額の純流入にもかかわらず2%減少して3,223百万スウェーデン・クローネ(前年同期は3,274百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少には、市場価格が下落した結果、2%減少して2,738百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,799百万スウェーデン・クローネ)となったファンド手数料収益が含まれている。仲介収益は、7%減少して234百万スウェーデン・クローネ(前年同期は252百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、3%増加して831百万スウェーデン・クローネ(前年同期は810百万スウェーデン・クローネ)となり、クレジットカード事業からの純手数料は合計489百万スウェーデン・クローネ(前年同期は475百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出手数料及び預金手数料は、3%増加して579百万スウェーデン・クローネ(前年同期は562百万スウェーデン・クローネ)となった。保険手数料は、2%減少して334百万スウェーデン・クローネ(前年同期は342百万スウェーデン・クローネ)となった。アドバイザリー手数料は、横ばいの137百万スウェーデン・クローネ(前年同期は138百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の純手数料及びコミッション収益は、189百万スウェーデン・クローネ(前年同期は209百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、129%すなわち560百万スウェーデン・クローネ増加して995百万スウェーデン・クローネ(前年同期は435百万スウェーデン・クローネ)となった。当行の流動性ポートフォリオは443百万スウェーデン・クローネのプラスの影響をもたらし、総額11百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-432百万スウェーデン・クローネ)となった。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおける顧客主導型事業からの寄与は、ほぼ横ばいの522百万スウェーデン・クローネ(前年同期は525百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の影響により、金融取引による純損益は120百万スウェーデン・クローネ増加し、462百万スウェーデン・クローネ(前年同期は342百万スウェーデン・クローネ)となった。これは主に、市場のボラティリティにより、当行の資金調達においてリスク・ヘッジを構成するデリバティブの評価額が上昇したことによるものである。

保険事業による純損益は、371百万スウェーデン・クローネ改善し、207百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-164百万スウェーデン・クローネ)となったが、この変動は、保険契約者に代わって保有する資産に係る利益率が432百万スウェーデン・クローネ改善し、122百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-310百万スウェーデン・クローネ)となったことによるものであった。保険サービスによる損益は98百万スウェーデン・クローネ(前年同期は128百万スウェーデン・クローネ)に減少した。これは、保険事業による損益が85百万スウェーデン・クローネ(前年同期は145百万スウェーデン・クローネ)に減少した主な要因であった。

収益の残りの項目は、合計250百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,114百万スウェーデン・クローネ)となった。2023年第2四半期中に、クレジットカード・アクワイアラー事業の売却に伴い支払われた、合計158百万スウェーデン・クローネの付加価値税の戻入額が計上され、そのうち141百万スウェーデン・クローネはその他の収益として計上され、残りの17百万スウェーデン・クローネは支払手数料として計上された。2022年度上半期中に、不動産保有子会社の売却により、1,059百万スウェーデン・クローネの非経常項目が認識された。

費用

人件費は、7%すなわち423百万スウェーデン・クローネ増加して-6,729百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-6,306百万スウェーデン・クローネ)となった。オクトゴーネン利益分配制度及び為替の影響を調整後、人件費は5%すなわち295百万スウェーデン・クローネ増加した。平均従業員数は、6%増加して11,434名(前年同期は10,767名)となったが、これは主にIT部及び顧客との会合に関連する部門内の従業員数の増加によるものであった。

その他費用は、21%すなわち649百万スウェーデン・クローネ増加して-3,805百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-3,156百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響を調整後、かかる増加は、19%すなわち606百万スウェーデン・クローネであった。かかる増加は、前述のIT開発及び事業開発に対する投資の増加並びに当行の本拠地市場における全般的なインフレによるものであった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用は、8%増加して-875百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-811百万スウェーデン・クローネ)となった。

信用損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動
正味信用損失	-88	-62	-26
一般顧客への貸出金に対する信用損失率 (単位：%)	0.01	0.00	

正味信用損失は、-88百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-62百万スウェーデン・クローネ)となり、信用損失率は、0.01%(前年同期は0.00%)であった。2023年度上半期の実際の信用損失は-116百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-632百万スウェーデン・クローネ)であり、過去に計上された104百万スウェーデン・クローネ(前年同期は556百万スウェーデン・クローネ)の準備金により相殺された。過去に確認された損失の回収額は101百万スウェーデン・クローネ(前年同期は134百万スウェーデン・クローネ)であった。ステージ3の予想信用損失は合計-34百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-41百万スウェーデン・クローネ)であった。ステージ1及びステージ2の引当金は-142百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-163百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうち格付の移行が-222百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-28百万スウェーデン・クローネ)、更新されたマクロ経済の想定が25百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-54百万スウェーデン・クローネ)、その他の影響が55百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-80百万スウェーデン・クローネ)であった。

リスク税及び破綻処理手数料

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-1,307百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,153百万スウェーデン・クローネ)であった。リスク税は、合計-822百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-658百万スウェーデン・クローネ)であった。2023年税年度において、リスク税は評価基準の0.06%(前年同期は0.05%)を占める。

破綻処理手数料は、合計-485百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-495百万スウェーデン・クローネ)であった。

税金等

継続事業における実効税率は23.0%(前年同期は20.2%)であった。かかる税率とスウェーデンにおける20.6%の法人税率との差異は、主に英国の事業における税率の引上げ及び控除できない劣後ローンの費用によるものであった。

事業合計における実行税率(非継続事業を含む。)は22.7%(前年同期は20.7%)であった。

非継続事業

非継続事業からの損益は、フィンランドの事業売却の過程における外部収益及び外部費用並びにスウェーデンにおいて非継続事業から引き継いだ追加の費用により構成される。2022年度上半期においては、売却済みのデンマークにおける事業も含まれている。

2023年度上半期の税引後の非継続事業からの利益は、総額561百万スウェーデン・クローネ(前年同期は380百万スウェーデン・クローネ)であった。

収益合計は、1,348百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,021百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうち1,348百万スウェーデン・クローネ(前年同期は806百万スウェーデン・クローネ)は、フィンランドにおける事業に起因する。フィンランドにおける純利息収益は、100%増加して1,118百万スウェーデン・クローネ(前年同期は559百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、金利の利鞘が回復したことによる。

費用合計は、減少して-670百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,460百万スウェーデン・クローネ)となった。そのうち、-617百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-753百万スウェーデン・クローネ)は、フィンランドにおける非継続事業に係る現地費用により構成される。

正味信用損失は、正味回収額で構成され、総額15百万スウェーデン・クローネ(前年同期は74百万スウェーデン・クローネ)であった。

営業利益のうち非経常項目及び特別項目

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期
フィンランドにおける非継続事業に関連する資金調達費用		149
不動産の売却によるキャピタルゲイン(その他の収益)		1,059
オクトゴーネン:前年度の割当の調整(人件費)	-202	-53
オクトゴーネン:当年度の引当金(人件費)		-84
クレジットカード・アクワイアラー事業の売却時に支払った付加価値税の還付(収益)	158	
合計	-44	1,071

為替の影響

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期
2022年1月 - 6月期と比較した為替の影響	
純利息収益	120

純手数料及びコミッション収益	22
金融取引による純損益	4
その他の収益	-1
収益合計	146
人件費	-63
その他管理費用	-43
償却費及び減損費用	-6
費用合計	-112
正味貸倒損失	13
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0
リスク税及び破綻処理手数料	0
営業利益	47

事業の展開

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

本拠地市場(スウェーデン、ノルウェー、英国及びネザerland)における一般顧客への貸出金の平均額は、4%増加して2,275十億スウェーデン・クローネ(前年同期は2,186十億スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、89十億スウェーデン・クローネであった。2023年度上半期末において、本拠地市場における貸出金は、4%増加して総額2,299十億スウェーデン・クローネ(前年同期は2,219十億スウェーデン・クローネ)となった。

本拠地市場における一般顧客からの預金及び借入金の平均額は、3十億スウェーデン・クローネ増加して1,258十億スウェーデン・クローネ(前年同期は1,255十億スウェーデン・クローネ)となった。2023年度上半期末において、本拠地市場における預金は、-1%変動して総額1,269十億スウェーデン・クローネ(前年同期は1,277十億スウェーデン・クローネ)となった。

当行グループにおける運用資産の総額は、過去12ヶ月間に15%増加し、2023年度上半期末に、総額1,035十億スウェーデン・クローネ(前年同期は900十億スウェーデン・クローネ)となった。運用資産のうち、939十億スウェーデン・クローネ(前年同期は844十億スウェーデン・クローネ)は、当行グループの投資信託に投資された。2023年度上半期中の本拠地市場におけるミューチュアル・ファンドへの正味の新規資金流入額は、合計16.0十億スウェーデン・クローネ(前年同期は-1.3十億スウェーデン・クローネ)であった。2023年度の最初の6ヶ月間におけるスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場への新規資金流入額のうち、純額の合計の29%が当行グループの投資信託に投資された。2023年度上半期末におけるスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行グループのシェアは12.1%であった。

資金調達及び流動性

当行グループは、数十年にわたり、資金調達において、リスク特性の低い、慎重なアプローチを採用してきた。当該資金調達戦略は、複数の安定した資金調達源の多様でバランスの取れた活用に基づいている。かかる資金調達源は、個人及び中小企業からの預金、非金融機関からの預金並びに複数の通貨建ての様々な種類の負債性金融商品に分散した市場における資金調達により構成される。

2023年度上半期中、当行は、非常に不安定な市場環境にも置かれることもあったにもかかわらず、社債を発行した。当行の資金調達市場へのアクセスが良好であった要因には、主要格付機関における当行の信用格付が

総合的に世界最高水準であったことが挙げられ、同じ水準にあるのは当行の他にわずかな商業銀行のみである。

当行は2023年度上半期中に、ユーロ建て及びスウェーデン・クローネ建ての両方で、それぞれ総額10億ユーロ及び90億スウェーデン・クローネの最初のグリーン・カバード・ボンドを発行した。需要の高さ並びに発行の規模及び価格は、スウェーデン及び国際的な資金調達市場における当行の実力及び高い評価を明確に示した。

2023年度の最初の6ヶ月間の社債発行は、総額1460億スウェーデン・クローネ(前年同期は1060億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち890億スウェーデン・クローネ(前年同期は630億スウェーデン・クローネ)はカバード・ボンド、570億スウェーデン・クローネ(前年同期は380億スウェーデン・クローネ)はシニア債であり、そのうち110億スウェーデン・クローネ(前年同期も110億スウェーデン・クローネ)は適格債務であった。2023年度上半期中、劣後ローン(前年同期は50億スウェーデン・クローネ)は発行されなかった。

資本

2023年度上半期末の普通株式等Tier 1比率は19.8%であった。当行の評価では、SFSAに基づく2023年第2四半期末の普通株式等Tier 1資本要件は全体で15.2%であり、1270億スウェーデン・クローネに相当する。第二の柱の普通株式等Tier 1資本要件は、200億スウェーデン・クローネに相当する2.3パーセント・ポイント(うち1.0パーセント・ポイントは第二の柱の指針、1.3パーセント・ポイントは第二の柱の要件から成る。)となった。カウンターシクリカル資本バッファは、1.7%であった。2023年度末には、公表されたがまだ実施されていない要件により、カウンターシクリカル資本バッファが2.0%に引き上げられることが予定されており、これは、その他の条件がすべて同じである場合、普通株式等Tier 1資本要件の合計が15.5%となることを意味する。

2023年度上半期末の総自己資本比率は24.2%であった。当行の推定における同日のSFSAの所要自己資本合計は19.4%(すなわち1630億スウェーデン・クローネ)であった。260億スウェーデン・クローネに相当する3.1パーセント・ポイントは、第二の柱における所要自己資本合計から成る。

当行は、2023年第2四半期中に、SFSAから、当行の為替エクスポージャーの一部を所要自己資本の計算から除外する承認を受けた。除外されないポジションのリスク加重エクスポージャー額は、2023年度上半期末に総額160億スウェーデン・クローネ(前年同期は320億スウェーデン・クローネ)となった。これは主に、売却予定の当行のフィンランド事業に関連するユーロ建て株式の保有及び承認されている除外の基準額を超える他の通貨建ての資本により構成された。

当行の資本目標は、通常の下況下において、当行の普通株式等Tier 1比率がSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。したがって、当行の資本は、目標範囲を超えるものであった。

2022年6月30日と比較した2023年6月30日における資本(連結)

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年6月30日現在	2022年6月30日現在	変動
普通株式等Tier 1比率、CRR	19.8%	18.7%	1.1
自己資本比率合計、CRR	24.2%	23.4%	0.8
リスク加重エクスポージャー額、CRR	837,505	830,705	1%
普通株式等Tier 1資本	166,003	155,434	7%
自己資本合計	202,556	194,039	4%

当行グループの資本	196,286	183,533	7%
-----------	---------	---------	----

自己資本合計は、203十億スウェーデン・クローネ(前年同期は194十億スウェーデン・クローネ)であり、当行の自己資本比率合計は、24.2%(前年同期は23.4%)であった。普通株式等Tier 1資本は、166十億スウェーデン・クローネ(前年同期は155十億スウェーデン・クローネ)であった一方、普通株式等Tier 1比率は、19.8%(前年同期は18.7%)であった。

分配された配当金及び予想配当金の控除後、利益により、普通株式等Tier 1比率は0.8パーセント・ポイント上昇した。エクスポージャー額の減少により、0.2パーセント・ポイントの影響が生じた。格付の移行により、普通株式等Tier 1比率に0.5パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じた。為替レートの変動の影響はほとんどなかった。所要自己資本から除外されない構造的な為替リスクに対するリスク加重エクスポージャー額の変動により、普通株式等Tier 1比率に0.2パーセント・ポイントの影響が生じた。2022年第4四半期のデンマークにおける事業の売却により、0.8パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。2023年第1四半期における個人顧客のエクスポージャーに係るデフォルト確率モデルの改訂により、リスク加重のフロアを考慮後、普通株式等Tier 1比率は0.1パーセント・ポイント減少した。その他の影響により、普通株式等Tier 1比率は0.3パーセント・ポイント減少した。

経済資本及び利用可能な財源

所要自己資本の当行の内部評価は、当行の所要自己資本、ストレステスト及び当行のECに係るモデルに基づいている。これは当行の利用可能な財源(以下「AFR」という。)に関連して測定される。取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。2023年第2四半期末、当行グループのECは合計で64.4十億スウェーデン・クローネ(前年同期は56.2十億スウェーデン・クローネ)であった一方、AFRは249.7十億スウェーデン・クローネ(前年同期は235.4十億スウェーデン・クローネ)であった。したがって、AFR/EC比率は388%(前年同期は419%)であった。連結では、ECは合計で37.5十億スウェーデン・クローネ(前年同期は30.8十億スウェーデン・クローネ)となり、AFRは243.8十億スウェーデン・クローネ(前年同期は229.9十億スウェーデン・クローネ)であった。

サステナビリティ

2023年第1四半期において、当行グループは子会社のスタッドフィポテックを通じて、初のグリーン・カバード・ボンド(1十億ユーロの5年債)を発行した。

2023年第2四半期において、当行グループは子会社のスタッドフィポテックを通じて、スウェーデン・クローネ市場で初のグリーン・カバード・ボンド(9十億ユーロの5年債)を発行した。

2023年5月中旬、欧州委員会は持続可能な投資に関する指針を発表し、その後当行グループは、パリ協定準拠ベンチマーク・ファンドを「ダーク・グリーン」、すなわち第9.3条に従って再度報告することを選択した。2022年12月、当行グループは、EUのサステナブル・ファイナンス開示規則の下で、パリ協定準拠ベンチマーク・ファンドがどのように報告されるべきかが不透明であったことを考慮し、慎重を期すため、同ファンドを第8条に従って報告することを決定していた。

当行のサステナビリティ活動に関連する取引額は、拡大を続けてきた。グリーン・ローンの総額は、2022年度上半期と比較して、65%増加して75.9十億スウェーデン・クローネ(前年同期は46.1十億スウェーデン・クローネ)となり、かかる総額のうち、グリーン住宅ローンは186%増加して33.8十億スウェーデン・クローネ(前年同期は11.8十億スウェーデン・クローネ)となった。さらに、サステナビリティ・リンク・ローン・ファシリティは、総額79.0十億スウェーデン・クローネ(前年同期は43.1十億スウェーデン・クローネ)となった。

EUのサステナブル・ファイナンス開示規則(SFDR)は、資産運用会社が、自社のミューチュアル・ファンドがSFDRにおいてどのように分類されるかに関して透明性を確保しなければならないことを規定している。2023年第2四半期末時点において、当行グループのファンドのうち運用資産の20%に相当する12ファンドが、最も高い分類(第9条)、すなわち持続可能な投資を目的とするファンドとして報告された。また、運用資産額の75%に相当する合計95ファンドが、2番目に高い分類(第8条)、すなわち環境的側面又は社会的側面を促進するファンドとして報告された。

ハンデルスバンケン・スウェーデン

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	14,743	9,846	50%	23,082
純手数料及びコミッション収益	4,162	4,215	-1%	8,356
金融取引による純損益	355	225	58%	508
保険事業による純損益	205	-172		-41
その他の収益	165	44	275%	103
収益合計	19,630	14,157	39%	32,008
人件費	-2,066	-1,979	4%	-3,978
その他費用	-806	-678	19%	-1,497
内部購入及び売却されたサービス	-2,724	-2,327	17%	-4,630
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-210	-210	0%	-417
費用合計	-5,806	-5,195	12%	-10,522
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	13,825	8,962	54%	21,486
正味信用損失	-116	116		135
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	8	4	100%	10
リスク税及び破綻処理手数料	-956	-826	16%	-1,659
営業利益	12,760	8,256	55%	19,972
利益配分	236	186	27%	374
利益配分後の営業利益	12,997	8,442	54%	20,346
内部収益	2,319	-39		1,727
C/I比率(単位：%)	29.2	36.2		32.5
信用損失率(単位：%)	0.01	-0.01		-0.01
割当済資本	113,244	97,460	16%	106,101
割当済資本に係る利益率(単位：%)	17.6	13.6		15.9
平均従業員数	4,045	3,814	6%	3,907

取引額

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

平均額	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
一般顧客への貸出金 [*]				
個人	984	968	2%	976
うち、住宅ローン	949	929	2%	936

企業	646	583	11%	602
うち、住宅ローン	434	387	12%	399
合計	1,630	1,551	5%	1,577
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	482	470	3%	478
うち、企業	373	399	-7%	393
合計	856	869	-1%	871

* 国債局に対する貸出金を除く。

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

営業利益は、55%増加して12,760百万スウェーデン・クローネ(前年同期は8,256百万スウェーデン・クローネ)となった。割当済資本に係る利益率は、17.6%(前年同期は13.6%)に増加した。C/I比率は、29.2%(前年同期は36.2%)に改善した。

収益合計は、39%すなわち5,473百万スウェーデン・クローネ増加して19,630百万スウェーデン・クローネ(前年同期は14,157百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、12%すなわち611百万スウェーデン・クローネ増加して-5,806百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-5,195百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、50%すなわち4,897百万スウェーデン・クローネ増加して14,743百万スウェーデン・クローネ(前年同期は9,846百万スウェーデン・クローネ)となった。取引額の増加により、純利息収益に394百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額の影響により、4,392百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。スウェーデンの預金保証制度の手数料は、36百万スウェーデン・クローネ増加して-154百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-118百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の影響により、純利息収益に147百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、1%減少して4,162百万スウェーデン・クローネ(前年同期は4,215百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド手数料は58百万スウェーデン・クローネすなわち2%減少して2,359百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,417百万スウェーデン・クローネ)となった。カストディ及びその他の資産運用のコミッションは、2%増加して352百万スウェーデン・クローネ(前年同期は344百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介手数料及びその他証券コミッションは、18%減少した。貸出金及び預金並びに保証からのコミッション収益は、2%減少した。純コミッションは、4%増加して614百万スウェーデン・クローネ(前年同期は591百万スウェーデン・クローネ)となり、うち純カード収益は2%増加して425百万スウェーデン・クローネ(前年同期は415百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、355百万スウェーデン・クローネ(前年同期は225百万スウェーデン・クローネ)に改善した。

保険事業による純損益は、205百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-172百万スウェーデン・クローネ)であり、この変動は、2022年度上半期と比較して保険契約者に代わって保有する資産に係る利益率が改善したことに起因する。

その他の収益は、165百万スウェーデン・クローネ(前年同期は44百万スウェーデン・クローネ)であった。

人件費は、年間給与の調整及び従業員数の増加により、4%増加して-2,066百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,979百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、6%増加して4,045名(前年同期は3,814名)となった。

その他の費用の項目は、主にIT投資の増加及び事業開発により、16%増加して-3,740百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-3,215百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は、-116百万スウェーデン・クローネ(前年同期は116百万スウェーデン・クローネ)であり、信用損失率は、0.01%(前年同期は-0.01%)であった。

リスク税は-600百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-459百万スウェーデン・クローネ)、破綻処理手数料は-357百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-367百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は、5%増加して1,630十億スウェーデン・クローネ(前年同期は1,551十億スウェーデン・クローネ)となった。個人への貸出金は、2%増加して984十億スウェーデン・クローネ(前年同期は968十億スウェーデン・クローネ)となり、企業への貸出金は、11%増加して646十億スウェーデン・クローネ(前年同期は583十億スウェーデン・クローネ)となった。

預金の平均額の合計は、1%減少して856十億スウェーデン・クローネ(前年同期は869十億スウェーデン・クローネ)となった。個人からの預金は、3%増加して482十億スウェーデン・クローネ(前年同期は470十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、企業からの預金は7%減少して373十億スウェーデン・クローネ(前年同期は399十億スウェーデン・クローネ)となった。

2023年度上半期末において、運用資産総額は820十億スウェーデン・クローネ(前年同期は710十億スウェーデン・クローネ)であった。2023年度上半期中、スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場における新規資金流入額のうち、合計29%が当行グループのファンドに投資された。当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は、14.9十億スウェーデン・クローネ(前年同期は-0.3十億スウェーデン・クローネ)であった。2023年度上半期末において、スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場における当行グループのシェアは12.1%であった。

ハンデルスバンケン英国

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	5,274	3,269	61%	7,580
純手数料及びコミッション収益	417	409	2%	807
金融取引による純損益	113	112	1%	248
その他の収益	1	0		14
収益合計	5,805	3,790	53%	8,649
人件費	-1,496	-1,289	16%	-2,693
その他費用	-422	-394	7%	-789
内部購入及び売却されたサービス	-692	-539	28%	-1,076
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-148	-150	-1%	-313
費用合計	-2,758	-2,371	16%	-4,872
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	3,048	1,419	115%	3,778
正味信用損失	-7	-26	-73%	-55
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	0	10	-100%	10
営業利益	3,040	1,403	117%	3,733
利益配分	28	22	27%	49
利益配分後の営業利益	3,068	1,425	115%	3,781
内部収益	1,173	-301		52
C/I比率(単位：%)	47.3	62.2		56.0
信用損失率(単位：%)	0.01	0.01		0.01
割当済資本	22,441	19,213	17%	20,436
割当済資本に係る利益率(単位：%)	22.1	11.6		15.1
平均従業員数	2,626	2,442	8%	2,481

現地通貨建ての損益計算書

(単位：百万英ポンド)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	408.0	262.8	55%	608.1
純手数料及びコミッション収益	32.3	32.8	-2%	64.7
金融取引による純損益	8.7	9.0	-3%	19.9
その他の収益	0.1	0.0		1.1
収益合計	449.1	304.7	47%	693.8

人件費	-115.8	-103.6	12%	-216.1
その他費用	-32.6	-31.7	3%	-63.3
内部購入及び売却されたサービス	-53.5	-43.3	24%	-86.3
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-11.5	-12.0	-4%	-25.1
費用合計	-213.4	-190.6	12%	-390.8
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	235.8	114.1	107%	303.0
正味信用損失	-0.6	-2.1	-71%	-4.4
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	0.0	0.8	-100%	0.8
営業利益	235.2	112.8	109%	299.4
利益配分	2.2	1.8	22%	3.9
利益配分後の営業利益	237.4	114.5	107%	303.3

取引額

(単位：百万英ポンド)

平均額	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
一般顧客への貸出金				
うち、個人	5,662	6,222	-9%	6,076
うち、企業	13,167	14,053	-6%	13,820
合計	18,829	20,275	-7%	19,896
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	5,541	5,646	-2%	5,770
うち、企業	14,788	13,876	7%	14,310
合計	20,329	19,522	4%	20,080

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

営業利益は、117%すなわち1,637百万スウェーデン・クローネ増加して3,040百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,403百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替の影響は52百万スウェーデン・クローネとなった。現地通貨では、営業利益は109%増加した。割当済資本に係る利益率は、22.1%(前年同期は11.6%)に改善した。C/I比率は、47.3%(前年同期は62.2%)に改善した。

収益合計は、53%増加して5,805百万スウェーデン・クローネ(前年同期は3,790百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計への為替の影響は141百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は47%増加した。

費用合計は、16%増加して-2,758百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-2,371百万スウェーデン・クローネ)となった。-89百万スウェーデン・クローネの為替の影響を調整後、現地通貨では、費用合計は12%増加した。

純利息収益は、61%すなわち2,005百万スウェーデン・クローネ増加して5,274百万スウェーデン・クローネ(前年同期は3,269百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、純利息収益に121百万スウェー

デン・クローネのプラスの影響が生じた。現地通貨では、純利息収益は55%増加した。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は2,065百万スウェーデン・クローネ増加した。取引額の減少により、-207百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。その他の影響により、26百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、2%増加して417百万スウェーデン・クローネ(前年同期は409百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、16百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は2%減少した。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カストディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、2%増加して218百万スウェーデン・クローネ(前年同期は214百万スウェーデン・クローネ)となった。

純コミッションは、わずかに増加して134百万スウェーデン・クローネ(前年同期は133百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、16%増加して-1,496百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,289百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費への為替の影響は、-51百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、人件費は12%増加した。かかる増加は、年間給与の調整及び従業員数の増加によるものであった。平均従業員数は、8%増加して2,626名(前年同期は2,442名)となった。

その他の費用の項目は、17%増加して-1,262百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,083百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、その他の費用の項目は12%増加した。かかる増加は、主にIT開発の増加及び事業開発によるものであった。

正味信用損失は、合計-7百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-26百万スウェーデン・クローネ)であった。信用損失率は、0.01%(前年同期も0.01%)であった。

事業の展開

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は、7%減少して18.8十億英ポンド(前年同期は20.3十億英ポンド)となった。個人への貸出金は、9%減少して5.7十億英ポンド(前年同期は6.2十億英ポンド)となり、企業への貸出金は、6%減少して13.2十億英ポンド(前年同期は14.0十億英ポンド)となった。

預金の平均額の合計は、4%増加して20.3十億英ポンド(前年同期は19.5十億英ポンド)となった。個人からの預金は、2%減少して5.5十億英ポンド(前年同期は5.6十億英ポンド)となり、企業からの預金は、7%増加して14.8十億英ポンド(前年同期は13.9十億英ポンド)となった。

2023年度上半期末において、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセット・マネジメントにおける運用資産総額は、合計4.1十億英ポンド(前年同期は4.0十億英ポンド)であった。2023年度上半期中、新規資金流入額は合計70百万英ポンド(前年同期は-49百万英ポンド)であった。

ハンデルスバンケン・ノルウェー

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	2,215	2,131	4%	4,264
純手数料及びコミッション収益	323	338	-4%	688
金融取引による純損益	41	35	17%	90
保険事業による純損益	1	8	-87%	30
その他の収益	3	8	-63%	25
収益合計	2,584	2,521	2%	5,097
人件費	-527	-498	6%	-1,028
その他費用	-254	-137	85%	-295
内部購入及び売却されたサービス	-352	-288	22%	-667
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-46	-45	2%	-92
費用合計	-1,179	-968	22%	-2,082
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	1,404	1,553	-10%	3,016
正味信用損失	25	-166		-152
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	3	3	0%	6
リスク税及び破綻処理手数料	-194	-178	9%	-359
営業利益	1,238	1,211	2%	2,510
利益配分	22	34	-35%	69
利益配分後の営業利益	1,260	1,246	1%	2,579
内部収益	-3,651	-1,234	-196%	-3,838
C/I比率(単位：%)	45.2	37.9		40.3
信用損失率(単位：%)	0.00	0.08		0.04
割当済資本	21,169	19,055	11%	20,074
割当済資本に係る利益率(単位：%)	9.1	10.4		10.5
平均従業員数	791	753	5%	763

現地通貨建ての損益計算書

(単位：百万ノルウェー・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	2,210	2,029	9%	4,052
純手数料及びコミッション収益	323	322	0%	654
金融取引による純損益	41	33	24%	85

保険事業による純損益	1	8	-88%	29
その他の収益	3	8	-63%	24
収益合計	2,577	2,400	7%	4,844
人件費	-526	-474	11%	-977
その他費用	-254	-130	95%	-280
内部購入及び売却されたサービス	-351	-274	28%	-634
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失	-46	-43	7%	-87
費用合計	-1,176	-921	28%	-1,978
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	1,401	1,479	-5%	2,866
正味信用損失	25	-158		-144
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	3	2	50%	6
リスク税及び破綻処理手数料	-193	-169	14%	-342
営業利益	1,235	1,153	7%	2,386
利益配分	22	33	-33%	66
利益配分後の営業利益	1,257	1,186	6%	2,451

取引額

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

平均額	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
一般顧客への貸出金				
うち、個人	112.6	110.7	2%	111.5
うち、企業	191.0	175.5	9%	178.9
合計	303.6	286.1	6%	290.4
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	31.6	30.4	4%	31.0
うち、企業	67.2	65.9	2%	67.7
合計	98.8	96.3	3%	98.6

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

営業利益は、2%増加して1,238百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,211百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益に対する為替の影響は、-50百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、営業利益は7%増加した。割当済資本に係る利益率は、9.1%(前年同期は10.4%)に減少した。C/I比率は、45.2%(前年同期は37.9%)であった。

収益合計は、2%増加して2,584百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,521百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、-102百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は7%増加した。

費用合計は、22%増加して-1,179百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-968百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計への為替の影響は、42百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、費用合計

は28%増加した。かかる増加は、プライベート・マーケットにおけるサービスの強化及び拡大への投資により、顧客が希望する場所、時間、方法で、より容易な当行との取引が可能になったことによる。

純利息収益は、4%増加して2,215百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,131百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、-88百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は9%増加した。取引額の増加により、97百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は60百万スウェーデン・クローネ増加した。かかる増加には、要求されている通知期間による-79百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-56百万スウェーデン・クローネ)のマイナスの影響が含まれている。預金保証制度を含む純利息収益へのその他の影響は、15百万スウェーデン・クローネであった。

純手数料及びコミッション収益は、4%減少して323百万スウェーデン・クローネ(前年同期は338百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、-12百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は変わらなかった。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カストディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、9%減少して175百万スウェーデン・クローネ(前年同期は192百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、2%減少して88百万スウェーデン・クローネ(前年同期は90百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計41百万スウェーデン・クローネ(前年同期は35百万スウェーデン・クローネ)となった。

保険事業による純損益は、1百万スウェーデン・クローネ(前年同期は8百万スウェーデン・クローネ)となり、その他の収益は、3百万スウェーデン・クローネ(前年同期は8百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、6%増加して-527百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-498百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、11%増加した。かかる増加は、主にIT開発及び事業開発にかかる年間給与の調整及び従業員数の増加によるものであった。平均従業員数は、5%増加して791名(前年同期は753名)となった。

その他の費用の項目は、39%増加して-652百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-470百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、46%増加した。かかる増加は、前述した、新規及び既存の個人顧客向けのデジタル・サービスの提供及びその利用可能性の強化への継続的な投資によるものである。

正味信用損失は、25百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-166百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、0.00%(前年同期は0.08%)であった。

リスク税は-115百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-87百万スウェーデン・クローネ)であり、破綻処理手数料は-78百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-91百万スウェーデン・クローネ)となった。

事業の展開

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は、6%増加して303.6十億ノルウェー・クローネ(前年同期は286.1十億ノルウェー・クローネ)となった。個人への貸出金は、2%増加して112.6十億ノルウェー・クローネ(前年同期は110.7十億ノルウェー・クローネ)となり、企業への貸出金は、9%増加して191.0十億ノルウェー・クローネ(前年同期は175.5十億ノルウェー・クローネ)となった。

預金の平均額の合計は、3%増加して98.8十億ノルウェー・クローネ(前年同期は96.3十億ノルウェー・クローネ)となった。個人からの預金は、4%増加して31.6十億ノルウェー・クローネ(前年同期は30.4十億ノルウェー・クローネ)となり、企業からの預金は、2%増加して67.2十億ノルウェー・クローネ(前年同期は65.9十億ノルウェー・クローネ)となった。

2023年度上半期において、ノルウェーにおける当行のミューチュアル・ファンドへの純流入額は、合計1.0十億スウェーデン・クローネ(前年同期は-2.0十億スウェーデン・クローネ)となった。運用資産合計は、39十億スウェーデン・クローネ(前年同期は36十億スウェーデン・クローネ)であった。

ハンデルスバンケン・ネザーランド

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	940	619	52%	1,354
純手数料及びコミッション収益	82	72	14%	147
金融取引による純損益	7	14	-50%	21
その他の収益	0	0	0%	1
収益合計	1,029	705	46%	1,523
人件費	-264	-216	22%	-442
その他費用	-67	-45	49%	-94
内部購入及び売却されたサービス	-126	-116	9%	-241
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-29	-24	21%	-54
費用合計	-486	-401	21%	-832
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	544	304	79%	691
正味信用損失	1	0		0
リスク税及び破綻処理手数料	-54	-42	29%	-81
営業利益	491	262	87%	610
利益配分	0	0	0%	0
利益配分後の営業利益	491	261	88%	610
内部収益	-71	-244	71%	-453
C/I比率(単位：%)	47.2	56.9		54.6
信用損失率(単位：%)	0.00	0.00		0.00
割当済資本	4,669	3,172	47%	3,582
割当済資本に係る利益率(単位：%)	16.5	13.3		14.7
平均従業員数	381	351	9%	357

現地通貨建ての損益計算書

(単位：百万ユーロ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	83.0	59.0	41%	127.4
純手数料及びコミッション収益	7.2	6.9	4%	13.8
金融取引による純損益	0.6	1.3	-54%	2.0
その他の収益	0.0	0.0		0.1
収益合計	90.8	67.3	35%	143.3
人件費	-23.3	-20.6	13%	-41.6

その他費用	-5.9	-4.3	37%	-8.9
内部購入及び売却されたサービス	-11.2	-11.1	1%	-22.7
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失	-2.5	-2.3	9%	-5.1
費用合計	-42.9	-38.3	12%	-78.2
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	48.0	29.0	66%	65.0
正味信用損失	0.1	0.0		0.0
リスク税及び破綻処理手数料	-4.7	-4.0	18%	-7.6
営業利益	43.3	25.0	73%	57.4
利益配分	0.0	0.0		0.0
利益配分後の営業利益	43.4	25.0	74%	57.4

取引額

(単位：百万ユーロ)

平均額	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
一般顧客への貸出金				
うち、個人	4,899	4,554	8%	4,723
うち、企業	3,744	3,316	13%	3,453
合計	8,642	7,871	10%	8,177
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	654	656	0%	673
うち、企業	2,915	3,366	-13%	3,308
合計	3,569	4,023	-11%	3,982

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

営業利益は、収益の増加により、87%改善して491百万スウェーデン・クローネ(前年同期は262百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替の影響は、25百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、営業利益は73%増加した。割当済資本に係る利益率は、16.5%(前年同期は13.3%)であり、C/I比率は、47.2%(前年同期は56.9%)に改善した。

収益合計は、46%増加して1,029百万スウェーデン・クローネ(前年同期は705百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計に対する為替の影響は、56百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は35%増加した。

費用合計は、21%増加して-486百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-401百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計に対する為替の影響は、-31百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、費用合計は12%増加した。これは主にIT開発及び事業成長によるものであった。

純利息収益は、52%増加して940百万スウェーデン・クローネ(前年同期は619百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、49百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は41%増加した。取引額の増加により、純利息収益に44百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動

及び資金調達費用の純額により、純利息収益は226百万スウェーデン・クローネ増加した。預金保証制度を含むその他の影響により、純利息収益に2百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、14%増加して82百万スウェーデン・クローネ(前年同期は72百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は6百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は4%増加した。仲介業務を含むファンド運用事業、カストディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、15%増加して83百万スウェーデン・クローネ(前年同期は72百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、22%増加して-264百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-216百万スウェーデン・クローネ)となり、現地通貨では13%の増加を示した。この増加は主に、年間給与の調整及び従業員数の増加によるものであった。平均従業員数は、9%増加して381名(前年同期は351名)となった。

その他の費用項目は、20%増加して合計-222百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-185百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、11%の増加に相当した。この増加は、IT開発及び事業開発への継続的な投資によるものであった。

正味信用損失は、1百万スウェーデン・クローネ(前年同期は0百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、0.00%(前年同期も0.00%)であった。

リスク税は-35百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-23百万スウェーデン・クローネ)、破綻処理手数料は-19百万スウェーデン・クローネ(前年同期も-19百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は、10%増加して8.6十億ユーロ(前年同期は7.9十億ユーロ)となった。個人への貸出金は、8%増加して4.9十億ユーロ(前年同期は4.6十億ユーロ)となり、企業への貸出金は、13%増加して3.7十億ユーロ(前年同期は3.3十億ユーロ)となった。

預金の平均額の合計は、11%減少して3.6十億ユーロ(前年同期は4.0十億ユーロ)となった。個人からの預金は、わずかに減少して0.7十億ユーロ(前年同期も0.7十億ユーロ)となり、企業からの預金は、13%減少して2.9十億ユーロ(前年同期は3.4十億ユーロ)となった。

2023年度上半期末現在のオプティミクスにおける運用資産は、自社のミューチュアル・ファンドを含め、合計2.0十億ユーロ(前年同期は1.9十億ユーロ)であった。

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	207	137	51%	301
純手数料及びコミッション収益	405	432	-6%	771
金融取引による純損益	522	525	-1%	1,131
その他の収益	4	6	-33%	9
収益合計	1,139	1,100	4%	2,212
人件費	-590	-579	2%	-1,143
その他費用	-185	-146	27%	-326
内部購入及び売却されたサービス	-122	-198	-38%	-344
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-72	-75	-4%	-147
費用合計	-969	-998	-3%	-1,959
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	170	102	67%	253
正味信用損失	9	-5		-13
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益		0		0
リスク税及び破綻処理手数料	-21	-18	17%	-33
営業利益	158	79	100%	206
利益配分	-299	-261	15%	-531
利益配分後の営業利益	-141	-182	23%	-324
内部収益	969	-160		615
C/I比率(単位：%)	115.4	119.0		116.5
信用損失率(単位：%)	-0.10	0.04		0.06
割当済資本	2,603	2,368	10%	2,072
割当済資本に係る利益率(単位：%)	-9.1	-12.4		-11.5
平均従業員数	598	581	3%	585

キャピタル・マーケットの商品に関連する純手数料及びコミッション収益並びに金融取引による純損益の大部分が各本拠地市場セグメントの損益に計上されている。

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

営業利益は、158百万スウェーデン・クローネ(前年同期は79百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

収益合計は、4%増加して1,139百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,100百万スウェーデン・クローネ)となった。この増加は主に、純利息収益の増加によるものであった。

純手数料及びコミッション収益は、6%減少して405百万スウェーデン・クローネ(前年同期は432百万スウェーデン・クローネ)となったが、これはアドバイザー手数料及びカストディ口座運用手数料の減少によるものであった。

金融取引による純損益は、1%減少して522百万スウェーデン・クローネ(前年同期は525百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、3%減少して-969百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-998百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、2%増加して-590百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-579百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、3%増加して598名(前年同期は581名)となった。

その他の費用の項目は、10%減少して-379百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-419百万スウェーデン・クローネ)となった。

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-21百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-18百万スウェーデン・クローネ)であった。

正味信用損失は、9百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-5百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成され、信用損失率は、-0.10%(前年同期は0.04%)であった。

事業の展開

2023年度上半期において、当行は約8.7十億ユーロ(前年同期は7.1十億ユーロ)に上る79(前年同期は63)の社債発行のアレンジを行い、そのうちグリーン・ボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドは4.0十億ユーロ(前年同期は1.7十億ユーロ)すなわち約46%(前年同期は24%)を占めた。資本市場及び銀行融資の両方において、サステナビリティ・リンク融資及びグリーン融資に対する顧客の関心は継続して非常に高かった。

事業セグメントにより報告されないその他の部門

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年 1月 - 6月期	2022年 1月 - 6月期	変動	2022年度 (通年)
純利息収益	-208	402		32
純手数料及びコミッション収益	136	121	12%	213
金融取引による純損益	-42	-476	91%	-457
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	19	-38		-13
その他の収益	58	1,093	-95%	1,111
収益合計	-36	1,102		885
人件費	-1,984	-1,763	13%	-3,778
その他費用	-2,071	-1,757	18%	-3,525
内部購入及び売却されたサービス	4,015	3,469	16%	6,959
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-359	-292	23%	-601
費用合計	-398	-342	16%	-944
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	-434	760		-60
正味信用損失		19		38
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	0	1		-2
リスク税及び破綻処理手数料	-82	-89	-8%	-180
営業利益	-516	691		-203
利益配分	12	19	-37%	39
利益配分後の営業利益	-504	710		-164
内部収益	-739	1,978		1,897
平均従業員数	2,993	2,827	6%	2,861
デンマーク及びフィンランドにおける割当済資本	6,341	13,723	-54%	14,414

2022年1月 - 6月期と比較した2023年1月 - 6月期

営業利益は、-516百万スウェーデン・クローネ(前年同期は691百万スウェーデン・クローネ)であった。

収益合計は、-36百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,102百万スウェーデン・クローネ)に減少した。

2022年度上半期には、不動産売却による1,059百万スウェーデン・クローネの収益及びフィンランドにおける売却対象グループの事業に関連する149百万スウェーデン・クローネの資金調達費用が含まれる。

費用合計は、-398百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-342百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、13%すなわち221百万スウェーデン・クローネ増加して-1,984百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,763百万スウェーデン・クローネ)となった。オクトゴーネン利益分配制度に係る-202百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-137百万スウェーデン・クローネ)を調整後、人件費は10%すなわち156百万スウェーデン・クローネ増加した。これには、年間給与の調整、年金費用の減少及び従業員数の増加の影響が含まれ

る。平均従業員数は、6%増加して2,993名(前年同期は2,827名)となり、IT部の従業員数は、合計1,984名(前年同期は1,851名)となった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失は、-359百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-292百万スウェーデン・クローネ)であった。

4【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

5【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【主要な設備の状況】

2023年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

2【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

A種株式

(2023年9月21日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,944,777,165	4,055,222,835

B種株式

(2023年9月21日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

【発行済株式】

(2023年9月21日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品 取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
無記名式 割当価額 ¹	A種株式	1,944,777,165	ナスダック ストックホルム	A種株式1株につき、1個の議決 権が付与される。
無記名式 割当価額 ¹	B種株式	35,251,329	ナスダック ストックホルム	B種株式1株につき、10分の1個 の議決権が付与される。
計	-	1,980,028,494	-	-

¹ 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高 / 発行済株式数)

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3) 【発行済株式総数及び資本金の状況】

() A種株式

(2023年9月21日現在)

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2023年1月1日 時点	-	1,944,777,165	-	3,014,404,605.75	-

() B種株式

(2023年9月21日現在)

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2023年1月1日 時点	-	-	-	54,639,559.95	-

(4) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2023年6月30日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー	スウェーデン	224,200,000	11.3	11.5
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	188,487,890	9.5	9.7
オクトゴーネン、スティフテルセン	スウェーデン	159,225,141	8.0	8.2
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ、W9*	米国	129,950,495	6.6	6.7
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、W9*	米国	61,061,904	3.1	3.1
ランドバークフォレターゲン・エイ・ビー、LE	スウェーデン	60,000,000	3.0	3.1
ノーザン・トラスト・カンパニー、ロンドン支店*	英国	54,881,927	2.8	2.8
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、 W8IMY*	ベルギー	38,066,215	1.9	2.0
J.P.モルガン・エス・イー、ルクセンブルク支店、 W8IMY/NQI*	ルクセンブルク	25,538,200	1.3	1.3

ブラウン・ブラザーズ・ハリマン＆コー、W9*	米国	20,791,793	1.1	1.1
A種株式合計		1,944,777,165	98.2	99.8

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
アヴァンザ・ペンション	スウェーデン	870,543	0.04	0.004
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、 W81MY*	ベルギー	541,013	0.03	0.003
スティフト・エディット及びエリック・ フェーンストレームス	スウェーデン	278,590	0.01	0.001
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	213,489	0.01	0.001
スウェドバンク・フォルシェクリン・エイ・ビー	スウェーデン	212,162	0.01	0.001
スカンディア保険会社 (プブリクト)	スウェーデン	175,948	0.01	0.001
ボルヤ・ビッグ・アクティエボラッグ	スウェーデン	120,000	0.01	0.001
ソーダーブロム・トーマス	スウェーデン	111,538	0.01	0.001
ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・エ イ・ビー	スウェーデン	105,636	0.01	0.001
ノーザン・トラスト・カンパニー、ロンドン支店*	英国	100,701	0.01	0.001
B種株式合計		35,251,329	1.8	0.2

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

2【役員の状況】

2023年6月27日の有価証券報告書の提出日以降、2023年9月28日までに、以下のとおり当行グループの業務執行経営陣に異動があった。

退任した当行グループの業務執行経営陣

氏名	役職	退任日
ロベルト・ラドウェイ	最高与信責任者	2023年8月

当行グループの業務執行経営陣の役職の異動

氏名	前役職	新役職	異動日
ペール・バックマン	エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント並びにデンマーク及びフィンランドにおける当行の事業売却の責任者	最高与信責任者代理兼エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2023年9月

(注)以下の経営陣の異動が予定されている。

最高経営責任者の退任計画の変更

当行の取締役会は、2023年8月17日に、最高経営責任者であるカリナ・オーケストレームの希望を受け入れ、契約上の定年を変更することを決定した。これにより、契約上の定年は現在の65歳から62歳に変更される。それ以外の点では、彼女の雇用契約に変更はない。カリナ・オーケストレームは、2024年10月に62歳になる。

今後、カリナ・オーケストレームの後任を選任する手続が開始される。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結中間財務書類及び当行グループの親会社の邦文の中間財務書類は、2023年度上半期の原文の中間財務書類を翻訳したものである。原文の中間財務書類は、当行グループの連結中間財務書類及び親会社の個別中間財務書類で構成されている。当行グループの連結中間財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別中間財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の中間財務書類の日本における開示については、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)第76条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6 - 3 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 2023年度上半期の原文の中間財務書類は、監査を受けていない。

- c. 邦文の中間財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2023年8月25日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ = 13.30円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- d. なお、中間財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- e. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

1【中間財務書類】

要約財務書類（当行グループ）

損益計算書（当行グループ）

		2023年度上半期		2022年度上半期	
		（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）
利息収益		71,255	947,692	21,942	291,829
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息		59,317	788,916	20,501	272,663
利息費用		-48,083	-639,504	-5,539	-73,669
純利息収益	注記2	23,172	308,188	16,404	218,173
手数料及びコミッション収益		6,245	83,059	6,225	82,793
手数料及びコミッション費用		-718	-9,549	-638	-8,485
純手数料及びコミッション収益	注記3	5,527	73,509	5,587	74,307
金融取引による純損益	注記4	995	13,234	435	5,786
保険事業による損益		85	1,131	145	1,929
保険契約者に代わって保有する資産からの収益		122	1,623	-310	-4,123
保険事業による純損益	注記5	207	2,753	-164	-2,181
その他配当金収益		2	27	16	213
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益		19	253	-38	-505
その他収益		229	3,046	1,136	15,109
収益合計		30,151	401,008	23,376	310,901
人件費		-6,729	-89,496	-6,306	-83,870
その他費用	注記6	-3,805	-50,607	-3,156	-41,975
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用		-875	-11,638	-811	-10,786
費用合計		-11,410	-151,753	-10,273	-136,631
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益		18,741	249,255	13,103	174,270
正味信用損失	注記7	-88	-1,170	-62	-825
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益		11	146	18	239
リスク税及び破綻処理手数料		-1,307	-17,383	-1,153	-15,335
営業利益		17,357	230,848	11,905	158,337
法人税等		-4,000	-53,200	-2,387	-31,747
継続事業からの当期利益		13,357	177,648	9,519	126,603
非継続事業からの当期利益(税引後)	注記10	561	7,461	380	5,054
当期利益		13,918	185,109	9,899	131,657

帰属先：

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・

エイ・ビーの株主

13,917

185,096

9,898

131,643

非支配株主持分

1

13

1

13

一株当たり利益（当行グループ）

	2023年度上半期		2022年度上半期	
	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー の株主に帰属する当期利益	13,917	185,096	9,898	131,643
平均発行済株式数、百万株	1,980.0	26,334.0	1,980.0	26,334.0
平均発行済株式数、希薄化後、百万株	1,980.0	26,334.0	1,980.0	26,334.0
一株当たり利益、スウェーデン・クローネ/円	7.03	93.50	5.00	66.50
継続事業から一株当たり利益、スウェーデン・ クローネ/円	6.75	89.78	4.81	63.97
非継続事業から一株当たり利益、スウェーデ ン・クローネ/円	0.28	3.72	0.19	2.53

包括利益計算書（当行グループ）

	2023年度上半期		2022年度上半期	
	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）
当期利益	13,918	185,109	9,899	131,657
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
確定給付年金制度	735	9,776	4,236	56,339
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資 本性金融商品	66	878	16	213
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-164	-2,181	-866	-11,518
うち、確定給付年金制度	-154	-2,048	-866	-11,518
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される資本性金融商品	-10	-133	-1	-13
損益計算書に組み替えられない項目合計	637	8,472	3,386	45,034
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のあ る項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	732	9,736	-1,993	-26,507
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負 債性金融商品	-2	-27	-74	-984
保険契約	-16	-213	789	10,494
当期為替換算差額	2,976	39,581	1,752	23,302
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-371	-4,934	-201	-2,673
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のあ る項目に係る税金	-91	-1,210	460	6,118
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-151	-2,008	411	5,466
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	0	0	9	120
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	76	1,011	41	545
うち、為替換算差額	-17	-226		
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のあ る項目合計	3,599	47,867	934,285	12,425,991
当期その他包括利益合計	4,234	56,312	4,320	57,456
当期包括利益合計	18,152	241,422	14,219	189,113
帰属先：				
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ ビーの株主	18,152	241,422	14,219	189,113
非支配株主持分	-1	-13	2	27

四半期別業績推移（当行グループ）

百万スウェーデン・クローネ	2023年度 第2四半期	2023年度 第1四半期	2022年度 第4四半期	2022年度 第3四半期	2022年度 第2四半期
純利息収益	11,687	11,485	10,631	9,579	8,390
純手数料及びコミッション収益	2,761	2,766	2,694	2,700	2,710
金融取引による純損益	393	602	570	535	15
保険事業による純損益	116	91	60	93	-74
その他配当金収益	1	1	15	-14	15
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	20	-1	-2	27	-40
その他収益	187	42	85	25	38
収益合計	15,166	14,985	14,053	12,946	11,053
人件費	-3,259	-3,470	-3,468	-3,266	-3,148
その他費用	-1,953	-1,852	-1,949	-1,421	-1,597
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-421	-454	-423	-412	-381
費用合計	-5,634	-5,776	-5,839	-5,100	-5,126
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益	9,531	9,210	8,214	7,846	5,927
正味信用損失	-58	-30	-54	69	-56
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	4	7		6	4
リスク税及び破綻処理手数料	-636	-671	-582	-576	-594
営業利益	8,841	8,516	7,578	7,346	5,281
法人税等	-2,066	-1,934	-1,325	-1,719	-1,144
継続事業からの当期利益	6,775	6,582	6,252	5,627	4,138
非継続事業に係る当期利益（税引後）	329	232	-265	165	73
当期利益	7,104	6,814	5,988	5,791	4,212
一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	3.59	3.44	3.02	2.93	2.13

貸借対照表（当行グループ）

		2023年6月30日		2022年12月31日	
		(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		503,673	6,698,851	475,868	6,329,044
中央銀行へのその他の貸出金	注記8	5,163	68,668	4,604	61,233
中央銀行への担保として適格な利付証券		265,238	3,527,665	132,778	1,765,947
その他金融機関への貸出金	注記8	38,247	508,685	9,411	125,166
一般顧客への貸出金	注記8	2,335,959	31,068,255	2,315,818	30,800,379
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利 ヘッジ対象の価値変動		-16,046	-213,412	-16,616	-220,993
債券及びその他の利付証券		57,611	766,226	32,697	434,870
株式		22,409	298,040	12,813	170,413
関連会社に対する投資		606	8,060	561	7,461
顧客が価値変動リスクを負う資産		238,626	3,173,726	212,966	2,832,448
デリバティブ商品	注記11、12	56,729	754,496	36,261	482,271
無形資産	注記13	8,553	113,755	8,402	111,747
不動産及び器具備品		4,786	63,654	4,914	65,356
当期税金資産		1,140	15,162	160	2,128
繰延税金資産		1,527	20,309	1,590	21,147
正味年金資産		14,469	192,438	12,875	171,238
売却目的で保有する資産	注記10	201,478	2,679,657	191,916	2,552,483
その他資産		12,422	165,213	14,721	195,789
前払費用及び未収金		2,853	37,945	1,979	26,321
資産合計	注記17	3,755,442	49,947,379	3,453,718	45,934,449
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記14	143,863	1,913,378	81,693	1,086,517
一般顧客からの預金及び借入金	注記14	1,433,843	19,070,112	1,318,925	17,541,703
顧客が価値変動リスクを負う負債		238,627	3,173,739	212,966	2,832,448
発行済証券	注記15	1,563,875	20,799,538	1,474,801	19,614,853
デリバティブ商品	注記11、12	22,307	296,683	29,040	386,232
ショートポジション		13,459	179,005	1,939	25,789
保険負債		8,290	110,257	8,546	113,662
当期税金負債		1,314	17,476	217	2,886
繰延税金負債		6,113	81,303	5,614	74,666
引当金		577	7,674	591	7,860
売却目的で保有する負債	注記10	72,942	970,129	68,938	916,875
その他負債		16,398	218,093	10,454	139,038

未払費用及び繰延収益	2,462	32,745	3,565	47,415
劣後負債	35,085	466,631	42,404	563,973
負債合計	3,559,156	47,336,775	3,259,694	43,353,930
非支配株主持分	2	27	3	40
株式資本	3,069	40,818	3,069	40,818
資本剰余金	8,758	116,481	8,758	116,481
準備金	22,920	304,836	18,684	248,497
利益剰余金	147,621	1,963,359	141,834	1,886,392
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・ エイ・ビーの株主に帰属する当期利 益	13,917	185,096	21,676	288,291
資本合計	196,286	2,610,604	194,024	2,580,519
負債及び資本合計	3,755,442	49,947,379	3,453,718	45,934,449

注記17

持分変動計算書（当行グループ）

2023年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換算 調整準備 金	当期利益 を含む利 益剰余金	非支配 株主持 分	合計
2023年度期首資本	3,069	8,758	13,740	-307	126	793	4,332	163,510	3	194,024
当期利益								13,917	1	13,918
その他包括利益			581	581	54	-16	3,035		-3	4,234
うち、資本の中での分類変更			49							49
当期包括利益合計			581	581	54	-16	3,035	13,917	-1	18,152
利益剰余金への振替								-49		-49
配当金								-15,840		-15,840
非支配株主持分の変動										
期末資本	3,069	8,758	14,321	274	181	777	7,368	161,537	2	196,286

2022年度 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換算 調整準備 金	当期利益 を含む利 益剰余金	非支配 株主持 分	合計
2021年度期首資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158		2,585	154,034	25	181,731
IFRS第17号への移行による影響								-3,010		-3,010
IFRS第17号への移行に係る税効果								3		3
2022年度期首資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158		2,585	151,027	25	178,724
当期利益								21,676	1	21,677
その他包括利益			2,427	-2,096	-32	793	1,747		0	2,838
うち、資本の中での分類変更					-91		-615			-706
当期包括利益合計			2,427	-2,096	-32	793	1,747	21,676	1	24,516
利益剰余金への振替								706		706
配当金*								-9,900		-9,900
ハンデルスバンケン・ピーエルシーの従業員に対する株式報酬*								25		25
自己株式の買戻し*								-25		-25
非支配株主持分の変動									-23	-23
期末資本	3,069	8,758	13,740	-307	126	793	4,332	163,510	3	194,024

2022年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換算 調整準備 金	当期利益 を含む利 益剰余金	非支配 株主持 分	合計
2021年度期首資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158		2,585	154,034	25	181,731
IFRS第17号への移行による影響								-3,010		-3,010
IFRS第17号への移行に係る税効果								3		3
2022年度期首資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158		2,585	151,027	25	178,724
当期利益								9,898	1	9,899

その他包括利益			3,369	-1,582	-50	789	1,793		1	4,320
うち、資本の中での分類変更							-505			-505
当期包括利益合計			3,369	-1,582	-50	789	1,793	9,898	2	14,219
利益剰余金への振替								505		505
配当金								-9,900		-9,900
非支配株主持分の変動									-15	
期末資本	3,069	8,758	14,682	207	108	789	4,378	151,530	12	183,533

* 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は、株式報奨制度（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

2023年度上半期 百万円	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換算 調整準備 金	当期利益を 含む利益剰 余金	非支配 株主持 分	合計
2023年度期首資本	40,818	116,481	182,742	-4,083	1,676	10,547	57,616	2,174,683	40	2,580,519
当期利益								185,096	13	185,109
その他包括利益			7,727	7,727	718	-213	40,366		-40	56,312
うち、資本の中での分類 変更			652							652
当期包括利益合計			7,727	7,727	718	-213	40,366	185,096	-13	241,422
利益剰余金への振替								-652		-652
配当金								-210,672		-210,672
非支配株主持分の変動										
期末資本	40,818	116,481	190,469	3,644	2,407	10,334	97,994	2,148,442	27	2,610,604

2022年度 百万円	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換算 調整準備 金	当期利益を 含む利益剰 余金	非支配 株主持 分	合計
2021年度期首資本	40,818	116,481	150,463	23,794	2,101		34,381	2,048,652	333	2,417,022
IFRS第17号への移行による 影響								-40,033		-40,033
IFRS第17号への移行に係る 税効果								40		40
2022年度期首資本	40,818	116,481	150,463	23,794	2,101		34,381	2,008,659	333	2,377,029
当期利益								288,291	13	288,304
その他包括利益			32,279	-27,877	-426	10,547	23,235		0	37,745
うち、資本の中での分類 変更					-1,210		-8,180			-9,390
当期包括利益合計			32,279	-27,877	-426	10,547	23,235	288,291	13	326,063
利益剰余金への振替								9,390		9,390
配当金*								-131,670		-131,670
ハンデルスバンケン・ビー エルシーの従業員に対す る株式報酬*								333		333
自己株式の買戻し*								-333		-333
非支配株主持分の変動									-306	-306
期末資本	40,818	116,481	182,742	-4,083	1,676	10,547	57,616	2,174,683	40	2,580,519

2022年度上半期 百万円	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換算 調整準備 金	当期利益を 含む利益剰 余金	非支配 株主持 分	合計
2021年度期首資本	40,818	116,481	150,463	23,794	2,101		34,381	2,048,652	333	2,417,022
IFRS第17号への移行による 影響								-40,033		-40,033
IFRS第17号への移行に係る 税効果								40		40

2022年度期首資本	40,818	116,481	150,463	23,794	2,101		34,381	2,008,659	333	2,377,029
当期利益								131,643	13	131,657
その他包括利益			44,808	-21,041	-665	10,494	23,847		13	57,456
うち、資本の中での分類 変更							-6,717			-6,717
当期包括利益合計			44,808	-21,041	-665	10,494	23,847	131,643	27	189,113
利益剰余金への振替								6,717		6,717
配当金								-131,670		-131,670
非支配株主持分の変動									-200	
期末資本	40,818	116,481	195,271	2,753	1,436	10,494	58,227	2,015,349	160	2,440,989

* 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は、株式報奨制度（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

要約キャッシュ・フロー計算書（当行グループ）

	2023年度上半期		2022年度上半期	
	（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）
営業利益	17,357	230,848	11,905	158,337
非継続事業からの利益（税引前）	643	8,552	554	7,368
営業利益から投資活動への調整				
損益及び非継続事業からの損益に含まれる				
非現金項目の調整	1,235	16,426	1,416	18,833
法人税の支払	-3,523	-46,856	-3,367	-44,781
営業活動による資産及び負債の変動	14,550	193,515	171,150	2,276,295
営業活動からのキャッシュ・フロー	30,261	402,471	181,658	2,416,051
事業及び子会社の処分			1,273	16,931
株式の変動	-53	-705	-101	-1,343
不動産及び器具備品の変動	-209	-2,780	-185	-2,461
無形資産の変動	-485	-6,451	-304	-4,043
投資活動からのキャッシュ・フロー	-748	-9,948	683	9,084
劣後ローンの返済	-8,351	-111,068		
劣後ローンの発行			5,260	69,958
配当金の支払	-15,840	-210,672	-9,900	-131,670
財務活動からのキャッシュ・フロー	-24,192	-321,754	-4,640	-61,712
期首流動資金	475,882	6,329,231	439,964	5,851,521
当期キャッシュ・フロー	5,321	70,769	177,701	2,363,423
流動資金の為替換算差額	22,480	298,984	25,168	334,734
期末流動資金*	503,684	6,698,997	642,833	8,549,679

* 流動資金は現金及び中央銀行預け金である。

上表のキャッシュ・フロー計算書にはフィンランドの非継続事業が含まれている（注記10を参照のこと）。比較数値には、以前に非継続となったデンマークの事業も含まれている。

[次へ](#)

注記1 会計方針

当中間報告書はIAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成されており、連結財務書類は国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）及びEUにより採択された同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）並びにスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号「信用機関及び証券会社における年次報告」）にも準拠している。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、及びスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務書類に適用されている。

親会社の中間報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号「信用機関及び証券会社における年次報告」）に準拠して作成されている。また、親会社はスウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及び同審議会による意見書も適用している。

会計方針の変更

IFRS第17号「保険契約」

IFRS第4号「保険契約」に置き換わるIFRS第17号「保険契約」は、EUにおいて2023年1月1日から適用されている。本基準は、2023年度よりハンデルスバンケンの連結財務書類に適用され、移行日は2022年1月1日である。IFRS第17号には、保険契約の分類、測定、表示方法の変更に加え、開示要件の変更も含まれている。

IFRS第17号がハンデルスバンケンにもたらす主な変更点は以下の通りである。

分類

IFRS第17号の分類ルールにより、従来型生命保険契約は全て保険契約に分類されることとなった。IFRS第4号の分離ルールに従い、これらの契約の貯蓄型保険要素はIFRS第9号に従って計上されている。IFRS第9号からIFRS第17号への適用というこの会計方針の変更の影響により、貸借対照表の従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素が、「一般顧客からの預金及び借入金」の表示科目から「保険負債」の表示科目に分類変更された。損益計算書では、「保険リスク」、「純利息収益」、「純手数料及びコミッション収益」及び「金融取引による純損益」の表示科目から「保険事業による損益」の表示科目への分類変更が行われている。

測定

IFRS第17号によって導入された新たな評価アプローチは、新たな原則、見積り及び仮定を含んでおり、その結果、「保険負債」が増加している。従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素に対しては、移行に伴い公正価値アプローチが適用され、その時点で契約上のサービス・マージンが発生している。これらの契約には一般アプローチが適用される。複合型の従来型生命保険契約から分離されたリスク保険契約及びリスク保険要素については、移行時に完全適及アプローチが適用され、これらの契約には保険料配分アプローチが適用される。

表示

IFRS第17号は貸借対照表上の表示には影響しないものの、新しい評価アプローチが保険負債の評価に影響することから、保険契約に起因する収益及び費用の認識と表示が変更されている。当行は、保険契約による純損益を「保険事業による純損益」という新たな表示科目にまとめて表示している。保険事業による純損益には、「保険事業による損益」及び「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」が含まれる。保険事業による損益には、営業費用を含む保険契約に起因する全ての収益及び費用が含まれる。保険契約者に代わって保有する資産からの収益はIFRS第9号に従って計上されるが、当該利益は保険契約に起因することから保険事業による純損益の一部となる。

従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素を測定するにあたり、割引率の変更による影響は「その他包括利益」に認識され、資本の「保険契約」に累計される。

移行による影響

IFRS第17号への移行による定量的な影響は税引後で約-30億スウェーデン・クローネであり、比較年度である2022年度の貸借対照表の「保険負債」の期首残高が増加し、当行グループの資本の「利益剰余金」の期首残高が減少している。この影響は主に、従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素に関する会計方針の変更によるものである。

当行の保険事業は連結ベースに含まれないことから、本基準が当行の自己資本比率や大口エクスポージャーに与える影響はない。

ハンデルスバンケンは、2022年度の比較数値を再計算しており、IFRS第17号への移行は「IFRS第17号への移行に伴う再計算」の表に示されている。IFRS第17号に関する当行の会計方針に関する詳細は、ハンデルスバンケンの2022年度年次報告書及びサステナビリティ・レポートの注記1に記載されている。

また、当行グループ及び親会社の中間報告書は、2022年度年次報告書及びサステナビリティ・レポートで適用されたものと同じ会計方針及び計算手法に準拠して作成されている。

2023年1月1日以降に適用されるその他の会計上の規制の変更による当行グループ及び親会社の財務書類への影響はない。

将来における規制の変更

今後公表される会計上の規制の変更を適用しても、ハンデルスバンケンの財務報告書、自己資本比率、大口エクスポージャー及び規制要件が適用される他の状況のいずれにも重要な影響はないと評価している。

IFRS第17号への移行に伴う再計算

損益計算書(当行グループ) 百万スウェーデン・クローネ	2022年度			2022年度			2022年度			2022年度		
	第1四半期 (公表済)	IFRS第17号への調整	2022年度第1四半期再計算	第2四半期 (公表済)	IFRS第17号への調整	2022年度第2四半期(再計算)	第3四半期 (公表済)	IFRS第17号への調整	2022年度第3四半期再計算	第4四半期 (公表済)	IFRS第17号への調整	2022年度第4四半期(再計算)
純利息収益 ¹	8,013	1	8,014	8,389	1	8,390	9,578	1	9,579	10,630	1	10,631
純手数料及びコミッション収益 ¹	2,911	-34	2,877	2,741	-31	2,710	2,730	-30	2,700	2,721	-27	2,694
金融取引による純損益 ¹	240	180	420	-147	162	15	471	64	535	547	23	570
保険リスク ²	41	-41	0	41	-41	0	81	-81	0	13	-13	0
保険事業による損益 ⁴		78	78		67	67		114	114		21	21
保険契約者に代わって保有する資産からの収益 ⁵		-168	-168		-142	-142		-20	-20		39	39
保険事業による純損益 ³		-90	-90		-74	-74		93	93		60	60
その他	1,101		1,101	13		13	38		38	98		98
収益合計	12,305	18	12,323	11,040	13	11,053	12,897	49	12,946	14,007	46	14,053
人件費 ⁶	-3,173	15	-3,158	-3,164	16	-3,148	-3,283	17	-3,266	-3,483	15	-3,468
その他費用 ⁶	-1,563	4	-1,559	-1,602	5	-1,597	-1,425	4	-1,421	-1,953	4	-1,949
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用 ⁶	-431	1	-430	-382	1	-381	-413	1	-412	-424	1	-423
費用合計	-5,167	20	-5,147	-5,148	22	-5,126	-5,121	21	-5,100	-5,860	21	-5,839
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益	7,138	38	7,176	5,892	35	5,927	7,776	70	7,846	8,147	67	8,214
その他	-551		-551	-646		-646	-501		-501	-636		-636
営業利益	6,586	38	6,624	5,246	35	5,281	7,277	69	7,346	7,510	68	7,578
法人税等	-1,242	-1	-1,243	-1,144	0	-1,144	-1,718	-1	-1,719	-1,325	0	-1,325
継続事業からの当期利益	5,344	37	5,381	4,102	36	4,138	5,558	69	5,627	6,185	67	6,252
非継続事業からの純利益(税引後)	307		307	73		73	165		165	-265		-265
当期利益	5,650	37	5,687	4,176	36	4,212	5,723	68	5,791	5,921	67	5,988
帰属先：												
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主	5,650	37	5,687	4,175	36	4,211	5,723	68	5,791	5,920	67	5,987
非支配株主持分	1		1	0		0	0		0	0		0
主要な数値												
自己資本利益率、事業合計	13.4		13.6	9.9		10.2	13.2		13.6	13.2		13.6
C/I比率、継続事業	42.0		41.8	46.6		46.4	39.7		39.4	41.8		41.5
事業合計からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	2.85		2.87	2.11		2.13	2.89		2.93	2.99		3.02
継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	2.70		2.72	2.07		2.09	2.81		2.84	3.12		3.16

非継続事業から一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	0.15	0.15	0.04	0.04	0.08	0.08	-0.13	-0.13
----------------------------	------	------	------	------	------	------	-------	-------

包括利益計算書(当行グループ) - 百万スウェーデン・クローネ	2022年度			2022年度			2022年度			2022年度		
	第1四半期 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年度 第1四半期 (再計算)	第2四半期 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年度 第2四半期 (再計算)	第3四半期 (公表済)	IFRS 第17号 への調 整	2022年度 第3四半期 (再計算)	第4四半期 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年度 第4四半期 (再計算)
当期利益	5,650	37	5,687	4,176	36	4,212	5,723	68	5,791	5,921	67	5,988
その他包括利益												
保険契約		419	419		370	370		32	32		-28	-28
その他	1,173		1,173	2,358		2,358	442		442	-1,927		-1,927
当期その他包括利益合計	1,173	419	1,592	2,358	370	2,728	442	32	474	-1,927	-28	-1,956
当期包括利益合計	6,823	456	7,279	6,534	406	6,940	6,165	100	6,265	3,994	38	4,032
帰属先： スウェンスカ・ハンデル スバンケン・エイ・ ビーの株主	6,821	456	7,277	6,534	406	6,940	6,165	100	6,265	3,995	38	4,033
非支配株主持分	2		2	0		0	0		0	-1		-1

損益計算書(当行グループ) 百万スウェーデン・クローネ	2022年			2022年			2022年			2022年		
	1月-3月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-3月 (再計算)	1月-6月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-6月 (再計算)	1月-9月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-9月 (再計算)	1月-12月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-12月 (再計算)
純利息収益 ¹	8,013	1	8,014	16,402	2	16,404	25,980	3	25,983	36,610	4	36,614
純手数料及びコミッション 収益 ¹	2,911	-34	2,877	5,652	-65	5,587	8,382	-95	8,287	11,103	-122	10,981
金融取引による純損益 ¹	240	180	420	93	342	435	564	406	970	1,111	429	1,540
保険リスク ²	41	-41	0	82	-82	0	163	-163	0	176	-176	0
保険事業による損益 ⁴		78	78		145	145		259	259		280	280
保険契約者に代わって保有 する資産からの収益 ⁵		-168	-168		-310	-310		-330	-330		-291	-291
保険事業による純損益 ³		-90	-90		-164	-164		-71	-71		-11	-11
その他	1,101		1,101	1,114		1,114	1,152		1,152	1,250		1,250
収益合計	12,305	18	12,323	23,345	31	23,376	36,242	80	36,322	50,249	126	50,375
人件費 ⁶	-3,173	15	-3,158	-6,337	31	-6,306	-9,620	48	-9,572	-13,103	63	-13,040
その他費用 ⁶	-1,563	4	-1,559	-3,165	9	-3,156	-4,590	13	-4,577	-6,543	17	-6,526
不動産及び器具備品並びに 無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用 ⁶	-431	1	-430	-813	2	-811	-1,226	814	-412	-1,650	4	-1,646
費用合計	-5,167	20	-5,147	-10,315	42	-10,273	-15,436	63	-15,373	-21,296	84	-21,212
信用損失、リスク税及び破 綻処理手数料控除前利益	7,138	38	7,176	13,030	73	13,103	20,806	143	20,949	28,953	210	29,163
その他	-551		-551	-1,197		-1,197	-1,698		-1,698	-2,334		-2,334
営業利益	6,586	38	6,624	11,832	73	11,905	19,109	142	19,251	26,619	210	26,829
法人税等	-1,242	-1	-1,243	-2,386	-1	-2,387	-4,104	-2	-4,106	-5,429	-2	-5,431
継続事業からの当期利益	5,344	37	5,381	9,446	73	9,519	15,004	142	15,146	21,189	209	21,398

非継続事業からの純利益 （税引後）	307	307	380	380	545	545	280	280				
当期利益	5,650	37	5,687	9,826	73	9,899	15,549	141	15,690	21,470	208	21,678
帰属先：												
スヴェンスカ・ハンデルス バンケン・エイ・ビーの 株主	5,650	37	5,687	9,825	73	9,898	15,548	141	15,689	21,468	208	21,676
非支配株主持分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
主要な数値												
自己資本利益率、事業合計	13.4	13.6	11.7	11.9	12.2	12.5	12.5	12.8				
C/I比率、継続事業	42.0	41.8	44.2	43.9	42.6	42.3	42.4	42.1				
事業合計からの一株当たり 利益、スウェーデン・ク ローネ	2.85	2.87	4.96	5.00	7.85	7.92	10.84	10.95				
継続事業からの一株当たり 利益、スウェーデン・ク ローネ	2.70	2.72	4.77	4.81	7.58	7.65	10.70	10.81				
非継続事業からの一株当た り利益、スウェーデン・ クローネ	0.15	0.15	0.19	0.19	0.28	0.28	0.14	0.14				

包括利益計算書(当行グ ループ) - 百万スウェーデン・クロー ネ	2022年1 月-3月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-3月 (再計算)	2022年 1月-6月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-6月 (再計算)	2022年 1月-9月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-9月 (再計算)	2022年 1月-12月 (公表済)	IFRS 第17号へ の調整	2022年 1月-12月 (再計算)
当期利益	5,650	37	5,687	9,826	73	9,899	15,549	141	15,690	21,470	208	21,678
その他包括利益												
保険契約		419	419		789	789		821	821		793	793
その他	1,173		1,173	3,531		3,531	3,973		3,973	2,046		2,046
当期その他包括利益合計	1,173	419	1,592	3,531	789	4,320	3,973	821	4,794	2,046	792	2,838
当期包括利益合計	6,823	456	7,279	13,357	862	14,219	19,522	962	20,484	23,516	1,000	24,516
帰属先：												
スヴェンスカ・ハンデル スバンケン・エイ・ ビーの株主	6,821	456	7,277	13,355	862	14,217	19,520	962	20,482	23,515	1,000	24,515
非支配株主持分	2		2	2		2	2		2	1		1

¹ 従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素に係る会計基準がIFRS第9号からIFRS第17号に変更されたことによる、保険契約に起因する収益及び費用の「保険事業による損益」への分類変更

² 「保険リスク」は計上されなくなり、保険契約に起因する全ての収益及び費用は「保険事業による損益」の項目に認識されている。

³ 「保険事業による純損益」には、「保険事業による損益」及び「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」が含まれている。

⁴ 「保険事業による損益」には、営業費用を含む保険契約に起因する全ての収益及び費用が含まれる。

⁵ 「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」はIFRS第9号に準拠して計上されるが、収益が保険契約に起因するため保険事業による純損益の一部となる。

⁶ 保険契約に起因する営業費用の「保険事業による損益」への分類変更

貸借対照表(当行グループ) 当行グループ 百万スウェーデン・クローネ	2021年 12月31日 (公表済)	IFRS第17号 への調整	2022年 1月1日 (再計算)	2022年 3月31日 (公表済)	IFRS第17号 への調整	2022年 3月31日 (再計算)	2022年 6月30日 (公表済)	IFRS第17号 への調整	2022年 6月30日 (再計算)
繰延税金資産 ¹	845	3	848	986	3	989	1,133	2	1,135

その他資産 ²	5,785	1	5,786	17,645	1	17,646	25,252	1	25,253
その他	3,340,134		3,340,134	3,527,280		3,527,280	3,662,673		3,662,673
資産合計	3,346,764	4	3,346,768	3,545,912	4	3,545,916	3,689,057	3	3,689,060
一般顧客からの預金及び借入金 ³	1,286,637	-6,490	1,280,147	1,377,477	-6,385	1,371,092	1,448,836	-6,288	1,442,548
保険負債 ⁴	532	9,457	9,989 ⁵	511	8,892	9,403	451	8,433	8,884
その他負債 ⁶	11,304	44	11,348	23,121	47	23,168	17,935	3	17,938
その他	1,866,560		1,866,560	1,966,151		1,966,151	2,036,157		2,036,157
負債合計	3,165,033	3,011	3,168,044	3,367,258	2,554	3,369,812	3,503,378	2,149	3,505,527
保険契約					419	419		789	789
利益剰余金 ⁷	134,507	-3,007	131,500	144,134	-3,007	141,127	144,639	-3,007	141,632
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益	19,527		19,527	5,650	37	5,687	9,825	73	9,898
その他	27,697		27,697	28,871		28,871	31,214		31,214
資本合計	181,731	-3,007	178,724	178,655	-2,551	176,104	185,679	-2,146	183,533
負債及び資本合計	3,346,764	4	3,346,768	3,545,912	4	3,545,916	3,689,057	3	3,689,060

貸借対照表(当行グループ) 当行グループ 百万スウェーデン・クローネ	2022年 9月30日 (公表済)	IFRS第17号 への調整	2022年 9月30日 (再計算)	2022年 12月31日 (公表済)	IFRS第17号 への調整	2022年 12月31日 (再計算)
繰延税金資産 ¹	1,323	2	1,325	1,589	1	1,590
その他資産 ²	5,743	1	5,744	14,720	1	14,721
その他	3,721,572		3,721,572	3,437,407		3,437,407
資産合計	3,728,638	2	3,728,640	3,453,716	2	3,453,718
一般顧客からの預金及び借入金 ³	1,465,457	-6,217	1,459,240	1,325,061	-6,136	1,318,925
保険負債 ⁴	408	8,259	8,667	405	8,141	8,546
その他負債 ⁶	12,063	5	12,068	10,451	3	10,454
その他	2,058,707		2,058,707	1,921,768		1,921,768
負債合計	3,536,636	2,047	3,538,683	3,257,686	2,008	3,259,694
保険契約		821	821		793	793
利益剰余金 ⁷	144,797	-3,007	141,790	144,841	-3,007	141,834
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益	15,548	141	15,689	21,468	208	21,676
その他	31,657		31,657	29,721		29,721
資本合計	192,002	-2,044	189,958	196,030	-2,006	194,024
負債及び資本合計	3,728,638	2	3,728,640	3,453,716	2	3,453,718

¹ IFRS第17号への移行に係る税効果² 発生保険金に係る再保険者負担分の評価に対するリスク調整の導入による再保険資産の再評価

³ 従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素に係る会計基準のIFRS第9号からIFRS第17号への変更による「保険負債」への分類変更

⁴ 会計方針の変更による「一般顧客からの預金及び借入金」からの分類変更及び従来型生命保険の貯蓄型保険要素の再評価

⁵ 保険負債は9,989百万スウェーデン・クローネである。このうち、9,657百万スウェーデン・クローネは、移行時に公正価値アプローチが適用され、現在は一般アプローチが適用される契約によるものである。移行時に完全遡及アプローチが適用され、現在は保険料配分アプローチが適用される契約は332百万スウェーデン・クローネである。

⁶ IFRS第17号に従って計上されない預金の「保険負債」から「その他負債」への分類変更

⁷ IFRS第17号への移行による定量的な影響は、利益剰余金の減少及び「保険負債」の増加である。このうち、2,996百万スウェーデン・クローネは、従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素によるものである。発生保険金に係る負債の評価にリスク調整を導入したことにより、11百万スウェーデン・クローネの影響が生じている。

注記2 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2023年 第2四半期	2023年 第1四半期	変動	2022年 第2四半期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
利息収益									
金融機関及び中央銀行への貸出金	6,826	5,939	15%	926		12,765	1,154		8,873
一般顧客への貸出金	21,842	19,212	14%	10,209	114%	41,054	19,603	109%	48,567
中央銀行への担保として適格な利付証券	2,160	1,255	72%	190		3,415	262		1,289
債券及びその他の利付証券	646	213	203%	164	294%	859	276	211%	876
デリバティブ商品	7,875	6,787	16%	445		14,662	188		7,452
その他利息収益	203	233	-13%	296	-31%	436	576	-24%	1,164
合計	39,552	33,639	18%	12,230	223%	73,191	22,059	232%	68,221
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	-1,221	-715	-71%	-108		-1,936	-117		-814
利息収益合計	38,329	32,926	16%	12,122	216%	71,255	21,942	225%	67,407
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	31,708	27,609	15%	11,061	187%	59,317	20,501	189%	59,702
利息費用									
金融機関及び中央銀行からの預り金	-1,208	-656	84%	-190		-1,864	-203		-1,567
一般顧客からの預金及び借入金	-8,178	-6,618	24%	-757		-14,796	-963		-8,032
発行済証券	-11,334	-9,357	21%	-2,546	345%	-20,691	-4,182	395%	-16,595
デリバティブ商品	-6,188	-4,873	27%	78		-11,061	542		-3,454
劣後負債	-391	-377	4%	-300	30%	-768	-600	28%	-1,368
預金保証手数料	-85	-86	-1%	-67	27%	-171	-132	30%	-332
その他利息費用	-117	-115	2%	-76	54%	-232	-143	62%	-375
合計	-27,502	-22,082	25%	-3,858		-49,584	-5,681		-31,723
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	861	640	35%	127		1,501	143		930
利息費用合計	-26,642	-21,441	24%	-3,732		-48,083	-5,539		-30,793
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	-24,019	-19,295	24%	-3,440		-43,314	-5,107		-28,272
純利息収益	11,687	11,485	2%	8,390	39%	23,172	16,404	41%	36,614

「デリバティブ商品」の項目には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これらは利息収益及び利息費用に正負いずれかの影響を及ぼす可能性がある。

注記3 純手数料及びコミッション収益

	2023年 第2四半 期	2023年 第1四半 期	変動	2022年 第2四半 期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
仲介及びその他証券コミッション	111	123	-10%	109	2%	234	252	-7%	455
ミューチュアル・ファンド	1,387	1,351	3%	1,355	2%	2,738	2,799	-2%	5,469
カストディ及びその他の資産管理手数料	251	234	7%	224	12%	485	475	2%	911
アドバイザーサービス	32	105	-70%	33	-3%	137	138	-1%	196
保険	167	167	0%	168	-1%	334	342	-2%	672
決済	715	663	8%	681	5%	1,378	1,282	7%	2,680
貸出金及び預金	283	296	-4%	285	-1%	579	562	3%	1,146
保証	46	50	-8%	52	-12%	96	103	-7%	202
その他	135	129	5%	136	-1%	264	270	-2%	546
手数料及びコミッション収益合計	3,127	3,118	0%	3,044	3%	6,245	6,225	0%	12,277
証券	-51	-57	-11%	-61	-16%	-108	-118	-8%	-218
決済	-284	-263	8%	-249	14%	-547	-472	16%	-969
その他	-31	-32	-3%	-25	24%	-63	-49	29%	-108
手数料及びコミッション費用合計	-366	-352	4%	-334	10%	-718	-638	13%	-1,296
純手数料及びコミッション収益	2,761	2,766	0%	2,710	2%	5,527	5,587	-1%	10,981

セグメント別純手数料及びコミッション収益

2023年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	拠点市場				キャピタル・マーケット	その他	調整及び 消去	2023年度 上半期合計
	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ				
仲介及びその他証券コミッション	87	3	6	7	136	5	-10	234
ミューチュアル・ファンド	2,359	170	114	30	4	93	-32	2,738
カストディ及びその他の資産管理手数料	352	20	55	46	15	1	-4	485
アドバイザーサービス	0	25	0		113		0	137
保険	332	0	1			1	-1	334
決済	1,084	161	130	1	7	-5	0	1,378
貸出金及び預金	362	69	54	4	24	66	0	579
保証	47	7	21	0	20	0	0	96
その他	253	2	3	0	156	0	-151	264
手数料及びコミッション収益合計	4,878	458	385	88	475	161	-199	6,245
手数料及びコミッション費用合計	-716	-40	-62	-6	-69	-25	199	-718
純手数料及びコミッション収益	4,162	417	323	82	405	136	0	5,527
うち、カード手数料純額	425	32	39	0	0	-7		489

2022年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	拠点市場				キャピタル・マーケット	その他	調整及び 消去	2022年度 上半期合計
	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ				
仲介及びその他証券コミッション	106	2	8	5	127	9	-5	252
ミューチュアル・ファンド	2,417	172	124	29	6	98	-48	2,799
カストディ及びその他の資産管理手数料	344	15	60	38	23	1	-6	475
アドバイザーサービス	0	25	0		128	-7	-8	138
保険	336	0	5			0	0	342
決済	1,000	152	127	1	8	-5	0	1,282
貸出金及び預金	364	61	47	6	26	59	0	562
保証	54	8	22	0	20	1	-2	103
その他	257	4	4	0	160	0	-155	270
手数料及びコミッション収益合計	4,879	440	397	81	497	157	-225	6,225
手数料及びコミッション費用合計	-664	-31	-59	-9	-66	-36	225	-638
純手数料及びコミッション収益	4,215	409	338	72	432	121	0	5,587
うち、カード手数料純額	415	27	40	0	0	-6		475

注記4 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2023年 第2四半 期	2023年 第1四半 期	変動	2022年 第2四半 期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
償却原価で計上	80	123	-35%	48	67%	203	109	86%	65
うち、貸出金	-16	1		57		-15	137		35
うち、利付証券									
うち、発行済証券	96	122	-21%	-8		218	-27		30
その他包括利益を通じて公正価値で計上	-1	0		0		-1	0		-1
うち、予想信用損失	0	0	0%	0	0%	0	0	0%	-1
うち、利付証券 - その他	-1					-1			
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	-606	121		-1,559	61%	-485	-3,370	86%	-4,710
うち、利付証券	-606	121		-1,559	61%	-485	-3,370	86%	-4,710
純損益を通じて公正価値で計上（強制）（外貨換算影響額を含む）	1,169	443	164%	1,373	-15%	1,612	3,377	-52%	5,975
うち、保険契約者に代わって保有する資産	58	64	-9%	-142		122	-310		-291
ヘッジ会計	-191	-21		11		-212	9		-80
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	-124	17		-3		-107	-1		-29
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	-67	-38	-76%	13		-105	9		-51
合計	452	666	-32%	-127		1,118	125		1,249
保険契約者に代わって保有する資産の収益の減少	-58	-64	9%	142		-122	310		291
金融取引による純損益	393	602	-35%	15		995	435	129%	1,540

注記5 保険事業による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2023年 第2四半 期	2023年 第1四半 期	変動	2022年 第2四半 期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
保険収益	291	302	-4%	304	-4%	593	617	-4%	1,208
保険サービス費用	-227	-268	-15%	-244	-7%	-495	-489	1%	-929
保険サービスによる損益	64	34	88%	60	7%	98	128	-23%	279
再保険契約からの損益							0		-18
保険金融収益及び費用	-6	-7	-14%	7		-13	17		19
保険事業による損益	58	27	115%	67	-13%	85	145	-41%	280
保険契約者に代わって保有する資産からの収益	58	64	-9%	-142		122	-310		-291
保険事業による純損益	116	91	27%	-74		207	-164		-11

注記6 その他費用

	2023年 第2四半 期	2023年 第1四半 期	変動	2022年 第2四半 期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
不動産及び建物設備	-183	-162	13%	-142	29%	-345	-273	26%	-599
IT関連費用	-799	-837	-5%	-737	8%	-1,636	-1,422	15%	-2,963
通信費	-74	-71	4%	-60	23%	-145	-129	12%	-255
旅費及びマーケティング費用	-81	-63	29%	-64	27%	-144	-102	41%	-236
購入したサービス	-653	-555	18%	-443	47%	-1,208	-912	32%	-1,836
備品費	-46	-52	-12%	-38	21%	-98	-73	34%	-170
その他諸費用	-117	-112	4%	-112	4%	-229	-245	-7%	-467
その他費用	-1,953	-1,852	5%	-1,597	22%	-3,805	-3,156	21%	-6,526

注記7 信用損失

	2023年 第2四半 期	2023年 第1四半 期	変動	2022年 第2四半 期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
貸借対照表項目に係る予想信用損失									
ステージ3に分類された貸出金に対する 当期の引当金	-60	-91	-34%	-61	-2%	-151	-70	116%	-182
ステージ3に分類された貸出金に対する 引当金の、過年度に他のステージに 分類された貸出金に対する引当金の 戻入	71	39	82%	59	20%	110	105	5%	223
ステージ3に分類された貸出金に対する 予想信用損失合計	11	-52		-1		-41	36		41
ステージ2に分類された貸出金に対する 当期の引当金純額	-87	-84	4%	-65	34%	-171	-78	119%	-99
ステージ1に分類された貸出金に対する 当期の引当金純額	22	14	57%	-36		36	-40		-109
ステージ1及びステージ2に分類された 貸出金に対する予想信用損失合計	-65	-70	-7%	-102	-36%	-135	-119	13%	-207
貸借対照表項目に係る予想信用損失合 計	-55	-121	-55%	-103	-47%	-176	-83	112%	-166
オフバランスシート項目に係る予想信 用損失									
ステージ3に分類されたオフバランス シート項目に対する当期の引当金純 額	1	6	-83%	0		7	6	17%	11
ステージ2に分類されたオフバランス シート項目に対する当期の引当金純 額	-57	35		5		-22	-39	-44%	-31
ステージ1に分類されたオフバランス シート項目に対する当期の引当金純 額	7	8	-13%	-22		15	-5		-4
オフバランスシート項目に係る予想信 用損失合計	-50	50		-17	194%	0	-38	-100%	-25
償却									
当期中の実際の信用損失	-55	-61	-10%	-90	-39%	-116	-632	-82%	-738
ステージ3に分類された貸出金に対する 従前の引当金の取崩	47	57	-18%	82	-43%	104	556	-81%	636

償却合計	-8	-4	100%	-7	14%	-12	-75	-84%	-102
回収	55	46	20%	72	-24%	101	134	-25%	245
正味信用損失	-58	-30	93%	-56	4%	-88	-62	42%	-47
うち、一般顧客への貸出金	-9	-79	-89%	-39	-77%	-88	-27	226%	-26

	2023年度 第2四半期	2023年度 第1四半期	2022年度 第4四半期	2022年度 第3四半期	2022年度 第2四半期
百万スウェーデン・クローネ					
1) ステージ3に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係る予想信用損失	12	-46	-15	25	-1
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの引当金の変動額:					
マクロ経済シナリオ及びリスク要因の更新	27	-2	-34	-47	-38
影響を受けた業種のエクスポージャーのステージ1からステージ2への振替*	1	-5	3	1	-1
期首現在のポートフォリオのデフォルト確率の変動(格付の正味変動)	-176	-46	-27	15	-14
エクスポージャーの変動の影響(既存/新規/終了したエクスポージャー)	11	10	10	11	17
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するその他の予想信用損失	17	17	0	8	14
除外: 非継続事業	-1	2	-1	8	-15
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの信用損失	-121	-24	-49	-4	-37
エキスパートベースの引当金					
エキスパートベースの引当金	-632	-637	-646	-672	-678
除外: 非継続事業	14	13	25	95	85
継続事業におけるエキスパートベースの引当金	-618	-624	-621	-577	-593
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する信用損失に影響を及ぼす引当金の四半期の変動額	6	-3	-44	16	-81
2) ステージ1及びステージ2に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係る予想信用損失	-115	-27	-93	12	-118
3) 償却	-8	-4	-21	-6	-7
4) 回収	55	46	76	35	72
正味信用損失 (1+2+3+4)	-58	-30	-54	69	-56

* 信用リスクの著しい増大に関するエキスパートベースの評価

ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する引当必要額合計は、第2四半期中に増加した。当該引当金は、マクロ経済リスク要因及び顧客の遷移により影響を受けるモデルベースの引当金と、エキスパートベースの引当金から構成される。モデルの基礎となるマクロ経済リスク要因の選択は、第1四半期から変更されていない。更新後のマクロ経済リスク要因の仮定には、失業率の低下を含む前四半期からのわずかな変更のみが反映されている。これらの変更の影響として、当四半期の引当金所要額が27百万スウェーデン・クローネ減少している。モデルベースの引当金増加の絶対的な要因は、顧客ポートフォリオの格付のマイナスへの遷移であり、これにより引当金所要額が176百万スウェーデン・クローネ増加したが、その他の要因が重なり、引当金所要額は微減となった。

当第2四半期において、当行は、当行のリスクモデルでは十分に考慮されていないと考えられる不確実性要因に関連する信用リスクの上昇を踏まえて、エキスパートベースの引当金を適用した。これらの不確実性要因は主に、サプライチェーンの大規模な混乱、投入財とエネルギーの不足及び特定のセクターでの労働力不足を招いたウクライナでの戦争を含む事業環境の不安定性に関連している。こうした課題を受け、当行は上記の不確実性要因が個々の企業レベルの信用リスクにどのように影響するか、またこれらの要因の進展を取り巻く不確実性を当四半期末に評価する際に、供給とアクセスの混乱への感応度が特に高くなるリスクがあるセクターにエキスパートベースのストレスを適用した。このストレスは、モデルベースの算定に加えて適用され、追加引当必要額は継続事業では618(624)百万スウェーデン・クローネ、非継続事業を含めた場合は632(637)百万スウェーデン・クローネとなっている。

ステージ3に分類された契約の減損テストプロセスは変更されておらず、個別評価の手続は従来通りに行われている。

一般顧客への貸出金 - 主要な数値

	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
信用損失率、ACC、継続事業、%	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00
信用損失引当率合計、%	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11
ステージ1に分類された貸出金に対する信用損失引当率、%	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
ステージ2に分類された貸出金に対する信用損失引当率、%	0.74	0.90	0.79	0.98	1.20
ステージ3に分類された貸出金に対する信用損失引当率、%	18.50	20.89	21.99	22.97	23.96
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.22	0.19	0.18	0.19	0.19

主要な数値の定義については、handelsbanken.com/irから入手可能なファクト・ブックを参照のこと。上表の引当率及び貸出金の割合には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるフィンランドが含まれている（注記10を参照のこと）。比較数値には、第4四半期中に売却されたデンマークの事業が2022年9月30日まで含まれている。

ECL算定における感応度分析及びマクロ経済予測

下表は、2023年6月30日現在のステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。英国の深刻な下降シナリオの確率を100%とした場合の影響は、合計には含まれていない。

	2023年6月30日		2022年12月31日	
	下降シナリオに おける引当金の増加	上昇シナリオに おける引当金の減少	下降シナリオに おける引当金の増加	上昇シナリオに おける引当金の減少
%				
スウェーデン	9.26	-6.33	10.95	-7.72
英国	1.41	-4.56	7.49	-7.19
英国、深刻な下降シナリオ	11.84		25.30	
ノルウェー	6.54	-5.57	7.54	-6.10
フィンランド	0.81	-0.27	-0.13	0.20
オランダ	4.04	-2.04	3.52	-2.56
米国	25.65	-19.79	27.06	-20.37
その他諸国	3.56	-2.05	3.64	-2.07
合計	6.10	-4.83	7.43	-5.60

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は、算定された予想の確率加重平均値である。3つのシナリオは英国以外のエクスポージャーに適用される。基本シナリオの予想確率加重は70(60)%としており、一方で景気上昇シナリオの予想確率加重は15(20)%、下降シナリオの予想確率加重は15(20)%としている。英国のエクスポージャーに対しては、2022年度第4四半期現在、4つ目のより深刻な下降シナリオを適用している。

英国に対する深刻な下降シナリオ/下降シナリオ/基本(中立)シナリオ/上昇シナリオの確率加重は15%/30%/50%/5%(15/20/60/5)である。これらのシナリオ及び確率加重は、2023年6月30日現在のステージ1及びステージ2の予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の要因	下降シナリオ			基本(中立)シナリオ			上昇シナリオ		
	2023年	2024年	2025年	2023年	2024年	2025年	2023年	2024年	2025年
GDP成長率、%									
スウェーデン	-2.72	-2.16	3.22	-0.72	0.44	2.57	1.28	2.44	2.27
英国	-1.94	-1.02	2.39	0.06	0.98	1.89	2.06	2.98	1.59
英国、深刻な下降シナリオ	-4.94	-5.02	2.89						
ノルウェー	-0.84	-2.11	1.89	1.16	0.49	1.24	3.16	2.49	0.94
フィンランド	-1.80	-1.60	2.05	0.20	1.00	1.40	2.20	3.00	1.10
EU諸国	-1.45	-1.80	2.26	0.55	0.80	1.61	2.55	2.80	1.31
米国	-1.06	-2.71	2.76	0.94	-0.11	2.11	2.94	1.89	1.81
失業率、%									
スウェーデン	8.54	10.04	9.80	7.54	8.14	7.90	7.04	7.20	7.20
英国	5.10	5.80	5.70	4.50	4.30	4.20	4.00	3.36	3.50
英国、深刻な下降シナリオ	6.50	8.30	8.70						
ノルウェー	3.00	4.20	4.28	2.00	2.30	2.38	1.50	1.36	1.68
フィンランド	7.90	8.70	8.48	6.90	6.80	6.58	6.40	5.86	5.88
EU諸国	7.77	8.78	8.58	6.77	6.88	6.68	6.27	5.94	5.98
米国	4.69	6.98	7.11	3.69	5.08	5.21	3.19	4.14	4.51
政策金利、%									
スウェーデン	2.75	1.00	1.00	3.75	3.50	2.75	4.50	4.75	3.75
英国	3.75	1.75	2.50	5.00	4.00	3.50	5.75	5.25	4.50
英国、深刻な下降シナリオ	2.75	0.25	0.50						
ノルウェー	2.75	1.25	1.25	3.75	3.75	3.00	4.50	5.00	4.00
フィンランド	2.75	0.75	0.75	3.75	3.25	2.50	4.50	4.50	3.50
EU諸国	2.75	0.75	0.75	3.75	3.25	2.50	4.50	4.50	3.50
米国	4.13	1.38	1.13	5.13	3.88	2.88	5.88	5.13	3.88
オフィス不動産価格の上昇率、%									
スウェーデン	-17.45	-3.04	1.17	-10.76	-0.94	2.54	-7.49	2.62	2.00
英国	-8.00	-2.00	4.41	-4.10	3.70	3.80	-2.14	-6.78	2.53
英国、深刻な下降シナリオ	-12.09	-12.49	4.71						
ノルウェー	-4.44	1.95	2.13	-1.55	-0.08	1.75	6.92	-0.13	0.69
フィンランド	-0.18	0.21	0.92	0.80	1.20	1.60	1.84	1.81	1.87
EU諸国	2.95	2.35	2.00	2.40	2.00	2.00	2.10	1.70	2.03
住宅価格の上昇率、%									
スウェーデン	-10.63	-6.29	3.11	-4.99	-0.04	4.05	-2.44	4.04	3.01
英国	-17.74	-8.94	4.77	-7.23	-5.39	-0.43	-5.22	-2.61	-0.91

英国、深刻な下降シ

ナリオ

-25.94

-19.49

6.08

ノルウェー

-10.50

-7.91

-2.19

-2.97

0.56

-1.82

-0.14

3.23

-2.75

フィンランド

-9.93

-6.61

3.43

-2.42

1.55

3.03

0.09

2.71

1.28

EU諸国

-11.75

-8.18

2.01

-3.78

0.40

2.35

-0.71

2.95

1.20

注記8 貸出金

下表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている（注記10を参照のこと）。比較数値には、第4四半期中に売却されたデンマークの事業が2022年9月30日まで含まれている。

減損テスト対象の貸出金及び利付証券、純額

百万スウェーデン・クローネ	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
現金及び中央銀行預け金	503,660	447,577	475,853	602,266	642,820
中央銀行へのその他の貸出金	38,776	40,569	32,620	40,181	11,037
中央銀行への担保として適格な利付証券			200	218	219
その他金融機関への貸出金	38,259	24,442	9,415	31,042	27,502
うち、リバース・レボ	22,325	6,790		17,988	16,349
一般顧客への貸出金	2,492,465	2,459,286	2,469,324	2,539,160	2,510,365
うち、リバース・レボ	14,233	14,350	12,917	18,300	13,175
債券及びその他の利付証券	12,531	8,588	9,882	9,593	9,664
合計	3,085,691	2,980,463	2,997,294	3,222,461	3,201,607

減損テスト対象の貸出金及び利付証券、ステージ別

百万スウェーデン・クローネ	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
取引高、総額	3,088,268	2,982,969	2,999,751	3,225,106	3,204,311
うち、ステージ1	2,959,699	2,888,415	2,902,686	3,144,555	3,135,265
うち、ステージ2	121,957	88,569	91,350	74,383	62,777
うち、ステージ3	6,612	5,985	5,716	6,168	6,269
引当金	-2,579	-2,508	-2,459	-2,648	-2,708
うち、ステージ1	-454	-463	-480	-503	-450
うち、ステージ2	-902	-795	-723	-727	-756
うち、ステージ3	-1,223	-1,250	-1,257	-1,417	-1,502

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、ステージ別

百万スウェーデン・クローネ	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
一般顧客への貸出金合計、総額	2,495,036	2,461,789	2,471,778	2,541,802	2,513,066
うち、ステージ1	2,366,466	2,367,255	2,374,713	2,461,251	2,444,020
うち、ステージ2	121,957	88,549	91,349	74,383	62,777
うち、ステージ3	6,612	5,985	5,716	6,168	6,269
引当金	-2,571	-2,503	-2,454	-2,642	-2,702
うち、ステージ1	-449	-459	-475	-498	-445
うち、ステージ2	-898	-794	-722	-727	-754
うち、ステージ3	-1,223	-1,250	-1,257	-1,417	-1,502

予想信用損失引当金の変動 - 貸出金及び利付証券

2023年6月30日現在

百万スウェーデン・クローネ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-480	-723	-1,257	-2,459
認識中止した資産	19	46	25	90
償却	0	0	115	115
信用リスクの変動による再測定	-143	39	3	-101
外貨換算影響額等	-15	-13	-27	-55
購入又は組成した資産	-24	-17	-1	-42
ステージ1への振替	-21	35	1	15
ステージ2への振替	92	-377	1	-284
ステージ3への振替	118	107	-83	142
期末現在引当金	-454	-902	-1,223	-2,579

2022年12月31日現在

百万スウェーデン・クローネ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-399	-693	-2,093	-3,185
認識中止した資産	71	165	301	536
償却	0	1	671	672
信用リスクの変動による再測定	-228	201	-21	-47
外貨換算影響額等	-11	-8	-24	-43
購入又は組成した資産	-53	-52	-9	-114
ステージ1への振替	-38	44	8	14
ステージ2への振替	70	-470	16	-384
ステージ3への振替	108	89	-106	92
期末現在引当金	-480	-723	-1,257	-2,459

予想信用損失引当金の変動 - 一般顧客への貸出金

2023年6月30日現在

百万スウェーデン・クローネ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-475	-722	-1,257	-2,454
認識中止した資産	18	46	25	90
償却	0	0	115	115
信用リスクの変動による再測定	-143	39	3	-101
外貨換算影響額等	-15	-13	-27	-55
購入又は組成した資産	-24	-17	-1	-42
ステージ1への振替	-21	35	1	15
ステージ2への振替	92	-374	1	-281
ステージ3への振替	118	107	-83	142
期末現在引当金	-449	-898	-1,223	-2,571

2022年12月31日現在

百万スウェーデン・クローネ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-395	-690	-2,093	-3,178
認識中止した資産	70	165	301	535
償却	0	1	671	672
信用リスクの変動による再測定	-227	199	-21	-49
外貨換算影響額等	-11	-8	-24	-43
購入又は組成した資産	-52	-52	-9	-113
ステージ1への振替	-38	44	8	14
ステージ2への振替	70	-470	16	-384
ステージ3への振替	108	89	-106	92
期末現在引当金	-475	-722	-1,257	-2,454

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は組成した資産及びステージ間で振り替えられた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表している。

一般顧客への貸出金 - セクター別

2023年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	引当金控除前			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	1,177,647	31,002	3,804	-163	-141	-573	1,211,576
うち、住宅抵当ローン	992,239	22,423	1,273	-40	-47	-37	1,015,811
うち、その他の貸出金（不動産抵当付）	148,265	6,923	1,263	-49	-40	-93	156,269
うち、その他の貸出金（個人）	37,143	1,656	1,268	-74	-54	-443	39,496
住宅協同組合	292,168	4,009	38	-15	-15	-9	296,176
うち、住宅抵当ローン	267,736	2,049	11	-5	-4	-6	269,781
不動産管理	691,822	64,296	1,796	-117	-242	-131	757,424
製造	26,152	5,731	108	-15	-155	-29	31,792
リテール	39,381	560	113	-14	-9	-56	39,975
ホテル及びレストラン	4,400	1,978	18	-5	-16	-7	6,368
海運	1,539	8	139	-1	0	-73	1,612
その他運輸及び通信	8,032	429	17	-8	-15	-17	8,438
建設	16,302	5,072	178	-67	-217	-72	21,196
電気、ガス及び水道	16,309	853	2	-3	-2	-2	17,157
農業、狩猟及び林業	19,777	2,725	40	-15	-56	-21	22,450
その他サービス	22,975	688	221	-12	-8	-125	23,739
持株会社、投資会社、保険会社、ファンド等	25,853	4,442	26	-8	-11	-12	30,290
ソブリン及び地方自治体	4,450	78		0	-1		4,527
うち、スウェーデン国債局	2,557						2,557
その他法人向け貸付	19,659	86	112	-6	-10	-96	19,745
合計	2,366,466	121,957	6,612	-449	-898	-1,223	2,492,465

2022年12月31日 百万スウェーデン・クローネ	引当金控除前			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	1,163,864	42,542	3,078	-161	-133	-568	1,208,622
うち、住宅抵当ローン	983,183	33,865	1,162	-35	-32	-38	1,018,105
うち、その他の貸出金（不動産抵当付）	144,073	6,931	912	-38	-44	-90	151,744
うち、その他の貸出金（個人）	36,608	1,746	1,004	-88	-57	-440	38,773
住宅協同組合	287,299	1,933	38	-9	-2	-8	289,251
うち、住宅抵当ローン	262,117	955	11	-5	0	-6	263,072
不動産管理	705,567	27,035	1,434	-109	-105	-124	733,698
製造	34,186	2,807	49	-30	-116	-26	36,870
リテール	39,858	649	104	-13	-10	-56	40,532
ホテル及びレストラン	4,296	1,978	19	-5	-30	-7	6,251
海運	2,581	11	221	-2	-2	-77	2,732
その他運輸及び通信	8,599	1,088	36	-17	-36	-33	9,637
建設	17,219	3,549	119	-65	-175	-72	20,575
電気、ガス及び水道	15,331	968	4	-5	-2	-3	16,293
農業、狩猟及び林業	19,997	2,223	40	-25	-75	-14	22,146
その他サービス	21,030	577	180	-14	-7	-139	21,627
持株会社、投資会社、保険会社、ファンド等	32,820	5,748	34	-9	-14	-24	38,555
ソブリン及び地方自治体	4,520	84		0	-1		4,603
うち、スウェーデン国債局	1,566						1,566

その他法人向け貸付	17,546	157	360	-11	-14	-106	17,932
合計	2,374,713	91,349	5,716	-475	-722	-1,257	2,469,324

一般顧客への貸出金 - 不動産管理の内訳

2023年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	引当金控除前			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	11,206			0			11,206
地方自治体が所有する不動産会社	7,651	370		0	0		8,021
住宅用不動産会社	130,744	24,662	40	-6	-92	-11	155,337
うち、住宅抵当ローン	122,047	22,926	32	-6	-90	-6	144,903
その他の不動産管理	139,620	18,289	204	-17	-23	-51	158,022
うち、住宅抵当ローン	76,456	7,807	77	-4	-10	-13	84,313
スウェーデンにおける貸出金合計	289,221	43,321	244	-23	-115	-62	332,586
スウェーデン国外における貸出金							
英国	146,937	11,854	950	-61	-100	-31	159,549
ノルウェー	133,966	6,625	50	-17	-13	-10	140,601
フィンランド	50,887	1,967	540	-5	-12	-23	53,354
オランダ	69,856	526		-11	-2		70,369
その他諸国	955	3	12	0	0	-5	965
スウェーデン国外における貸出金合計	402,601	20,975	1,552	-94	-127	-69	424,838
貸出金合計 - 不動産管理	691,822	64,296	1,796	-117	-242	-131	757,424

2022年12月31日 百万スウェーデン・クローネ	引当金控除前			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	11,198			0			11,198
地方自治体が所有する不動産会社	8,212			0			8,212
住宅用不動産会社	148,992	3,851	22	-6	-5	-8	152,846
うち、住宅抵当ローン	137,576	3,661	18	-5	-5	-4	141,241
その他の不動産管理	145,098	6,376	171	-15	-15	-47	151,568
うち、住宅抵当ローン	77,194	1,656	32	-3	-4	0	78,875
スウェーデンにおける貸出金合計	313,500	10,227	193	-21	-20	-55	323,824
スウェーデン国外における貸出金							
英国	138,506	8,972	647	-51	-60	-32	147,982
ノルウェー	138,171	4,684	62	-22	-10	-9	142,876
フィンランド	48,458	2,383	521	-5	-12	-23	51,322
オランダ	65,913	765		-10	-3		66,665
その他諸国	1,019	4	11	0	0	-5	1,029
スウェーデン国外における貸出金合計	392,067	16,808	1,241	-88	-85	-69	409,874
貸出金合計 - 不動産管理	705,567	27,035	1,434	-109	-105	-124	733,698

一般顧客への貸出金 - 不動産管理：種類及び国別の担保の内訳

2023年6月30日

百万スウェーデン・クローネ、総額	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	合計
政府保証	3,552	6	1,399	18,862	0	23,819
住宅	189,910	90,123	26,136	20,871	35,629	362,669
オフィス、リテール、ホテル	100,430	51,727	101,673	8,037	13,781	275,648
その他の不動産	5,513	293	862	1,299	19,799	27,766
製造、物流	18,005	15,537	87	3,167	719	37,515
農業、林業	4,077	1,234	97	5	16	5,429
その他の担保	3,476	227	263	553	329	4,848
無担保	7,823	594	8,036	248	83	16,784
未開発物件			2,088	352	26	2,466
合計	332,786	159,741	140,641	53,394	70,382	756,944

2022年12月31日

百万スウェーデン・クローネ、総額	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	合計
政府保証	1,306		25	30,036		31,367
住宅	176,776	82,997	22,904	6,789	44,883	334,349
オフィス、リテール、ホテル	83,037	47,102	99,019	8,686	6,437	244,281
その他の不動産	17,219	601	66	1,214	14,068	33,168
製造、物流	17,172	12,865	92	3,038	555	33,722
農業、林業	1,668	885	76	3		2,632
その他の担保	10,923	459	1,710	690	498	14,280
無担保	15,819	2,988	18,267	534	237	37,845
未開発物件		228	758	372		1,358
合計	323,920	148,125	142,917	51,362	66,678	733,002

一般顧客への貸出金 - 不動産管理：国別の商業不動産の借入金比率（LTV）の内訳

2023年6月30日

借入金比率（LTV）、％	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	合計
0-40	84.7	90.0	78.4	75.2	88.2	83.6
41-60	14.6	9.8	18.8	16.6	11.6	14.8
61-75	0.7	0.2	2.5	6.6	0.2	1.4
75超	0.0	0.0	0.3	1.7	0.0	0.2
平均借入金比率	43	40	52	47	45	44

2022年12月31日

借入金比率（LTV）、％	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	合計
0-40	84.9	88.9	80.4	80.9	85.0	84.2
41-60	14.4	10.8	17.5	12.5	13.7	14.4
61-75	0.6	0.2	1.5	3.0	0.7	0.9
75超	0.1	0.1	0.7	3.6	0.6	0.5
平均借入金比率	45	42	51	46	47	46

借入金比率（LTV）は担保の市場価値に対する融資額を表す。

一般顧客への貸出金 - 不動産管理：国別の住宅用不動産の借入金比率（LTV）の内訳

2023年6月30日

借入金比率（LTV）、％	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	合計
0-40	79.7	86.3	76.6	61.5	81.1	80.3
41-60	18.0	13.6	19.7	20.7	16.2	16.9
61-75	2.2	0.1	2.9	10.3	2.1	2.2
75超	0.1	0.0	0.8	7.5	0.6	0.6
平均借入金比率	48	45	54	52	51	48

2022年12月31日

借入金比率（LTV）、％	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	合計
0-40	79.6	84.5	77.0	54.6	79.3	78.9
41-60	17.8	14.9	19.3	20.0	18.3	17.4
61-75	2.5	0.5	2.3	9.9	1.7	2.4
75超	0.2	0.1	1.3	15.4	0.7	1.3
平均借入金比率	49	46	53	84	52	51

借入金比率（LTV）は担保の市場価値に対する融資額を表す。

注記9 信用リスク・エクスポージャー

	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
百万スウェーデン・クローネ					
現金及び中央銀行預け金	503,684	447,601	475,882	602,279	642,833
中央銀行へのその他の貸出金	38,776	40,569	32,620	40,181	11,037
中央銀行への担保として適格な利付証券	265,238	233,751	132,778	130,114	114,356
その他金融機関への貸出金	38,259	24,442	9,415	31,042	27,502
うち、リバース・レボ	22,325	6,790		17,988	16,349
一般顧客への貸出金	2,492,465	2,459,286	2,469,324	2,539,160	2,510,365
うち、リバース・レボ	14,233	14,350	12,917	18,300	13,175
債券及びその他の利付証券	57,611	41,231	32,697	43,865	38,971
デリバティブ商品 [*]	56,729	39,500	36,261	81,990	55,088
偶発債務	63,568	60,467	60,975	67,456	69,517
コミットメント	459,305	450,498	459,114	482,570	491,180
合計	3,975,634	3,797,345	3,709,066	4,018,657	3,960,849

^{*} 正の市場価値合計を示している。上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている（注記10を参照のこと）。比較数値には、デンマークの売却事業が2022年9月30日まで含まれている。

注記10 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業

当行のフィンランドにおける事業の資産及び負債は、売却目的で保有する資産及び負債を構成し、IFRS第5号に準拠する処分グループである。2023年度第2四半期に、資産運用及び投資サービスを含む個人顧客業務、中小企業の事業及び生命保険事業など、フィンランドにおける事業の一部を譲渡する契約が締結された。かかる取引は2024年度下半期に完了する予定である。当行のフィンランドにおける残りの事業の売却プロセスは計画通りに進んでいる。デンマークにおけるハンデルスバンケンの事業は2022年度第4四半期に売却されている。

フィンランドの処分グループ及び非継続事業は以下のユニットから成る。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店
- ・Handelsbanken Asuntoluottopankki (スタッドフィボテック・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店)
- ・ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビーのフィンランド支店
- ・フィンランドにおけるハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー

売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のいずれか低い方の額による各処分グループの評価では、減損損失は一切生じていない。

売却目的で保有する資産及び負債

2023年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	フィンランド	売却目的で保有する その他資産	合計
資産			
現金及び中央銀行預け金	11		11
中央銀行へのその他貸出金	33,613		33,613
中央銀行への担保として適格な利付証券	0		0
その他金融機関への貸出金	12		12
一般顧客への貸出金	156,506	317	156,823
うち、個人	44,087		44,087
うち、企業	112,419	317	112,736
債券及びその他の利付証券			
株式 [*]	1		1
顧客が価値変動リスクを負う資産	10,088		10,088
無形資産	130		130
不動産及び器具備品	478		478
その他資産	322		322
資産合計	201,162	317	201,478
負債			
金融機関からの預り金	930		930
一般顧客からの預金及び借入金	60,041		60,041
うち、個人	20,468		20,468
うち、企業	39,573		39,573
顧客が価値変動リスクを負う負債	10,088		10,088
引当金	237		237
その他負債	1,646		1,646
負債合計	72,942		72,942

売却目的で保有するその他資産317(310)百万スウェーデン・クローネは、Handelsbanken Rahoitus Oyにおけるファイナンス・リースから構成され、貸借対照表上、貸出金として認識されている。計画では、2023年度中に当該リース契約を売却する予定である。

2022年12月31日

百万スウェーデン・クローネ

資産

	フィンランド	売却目的で保有 するその他資産	合計
現金及び中央銀行預け金	14		14
中央銀行へのその他貸出金	28,015		28,015
中央銀行への担保として適格な利付証券			
その他金融機関への貸出金	5		5
一般顧客への貸出金	153,506	310	153,816
うち、個人	43,922		43,922
うち、企業	109,584	310	109,894
債券及びその他の利付証券			
株式*	3		3
顧客が価値変動リスクを負う資産	9,145		9,145
無形資産	123		123
不動産及び器具備品	407		407
その他資産	388		388
資産合計	191,606	310	191,916

負債

金融機関からの預り金	679		679
一般顧客からの預金及び借入金	57,361		57,361
うち、個人	20,297		20,297
うち、法人	37,064		37,064
顧客が価値変動リスクを負う負債	9,145		9,145
引当金	210		210
その他負債	1,543		1,543
負債合計	68,938		68,938

デンマーク及びフィンランドの非継続事業からの収益、費用及び利益

百万スウェーデン・クローネ	2023年 第2 四半期	2023年 第1 四半期	変動	2022年 第2 四半期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
純利息収益	588	530	11%	732	-20%	1,118	1,378	-19%	3,434
純手数料及びコミッション収益	106	100	6%	294	-64%	206	598	-66%	1,096
金融取引による純損益	7	6	17%	-15		13	22	-41%	-12
保険事業による純損益	4	5	-20%	1	300%	9	5	80%	13
その他収益	0			13	-100%	0	18	-100%	68
収益合計	707	641	10%	1,024	-31%	1,348	2,021	-33%	4,600
人件費	-175	-213	-18%	-362	-52%	-388	-700	-45%	-1,681
その他費用	-108	-121	-11%	-533	-80%	-229	-758	-70%	-1,543
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用				-1			-2		-2
費用合計	-283	-334	-15%	-896	-68%	-617	-1,460	-58%	-3,226
正味信用損失	-1	16		58		15	74	-80%	29
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1			0	0%	-1	0	0%	2
リスク税及び破綻処理手数料	-18	-30	-40%	-44	-59%	-48	-82	-41%	-160
非継続事業からの税引前当期利益	404	292	38%	143	183%	696	554	26%	1,245
法人税等	-58	-35	66%	-69	-16%	-93	-174	-47%	-617
非継続事業からの税引後当期利益	348	256	36%	73	377%	604	380	59%	629
非継続事業に関連するその他費用	-22	-31	-29%			-53			-27
法人税等	5	6	-17%			11			6
非継続事業からの税引後当期利益	329	232	42%	73	351%	561	380	48%	608
非継続事業の売却に係るキャピタルゲイン（税引前）									235
法人税等									-561
非継続事業の売却に係るキャピタルゲイン（税引後）									-326
非継続事業からの税引後当期利益	329	232	42%	73	351%	561	380	48%	280

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引**：

収益合計	25	23		24		48	164		-287
費用合計	-26	-22		-57		-48	-118		-202

* スウェーデンにおいて、非継続事業に起因し、非継続事業の売却に関連した追加費用が発生している。これには、コンサルタント料や弁護士費用などが含まれる。

** 継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

2023年1月1日から、当行はフィンランドの処分グループとグループ・トレジャリー部との間の純利息収益に関連する内部取引に対し新たな消去方法を適用しているため、内部利息収益及び内部利息費用を、継続事業及び非継続事業にそれぞれ表示している。比較数値は再計算されていない。

デンマークの非継続事業からの収益、費用及び利益

百万スウェーデン・クローネ	2023年 第2 四半期	2023年 第1 四半期	変動	2022年 第2 四半期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
純利息収益				407			818		1,712
純手数料及びコミッション収益				188			390		701
金融取引による純損益				-23			4		-49
保険事業による純損益				1			1		1
その他収益				1			3		49
収益合計				574			1,216		2,413
人件費				-212			-418		-1,035
その他費用				-154			-289		-768
不動産及び器具備品並びに無形資産の減 価償却費、償却費及び減損費用				-1			0		
費用合計				-367			-707		-1,803
正味信用損失				46			63		38
不動産及び器具備品並びに無形資産の処 分損益				0			0		2
リスク税及び破綻処理手数料				-17			-31		-58
非継続事業からの税引前当期利益				237			541		593
法人税等				-42			-109		-57
非継続事業からの税引後当期利益				194			432		536
非継続事業の売却に係るキャピタルゲイ ン（税引前）									235
法人税等									-561
非継続事業の売却に係るキャピタルゲイ ン（税引後）									-326
非継続事業に係る当期利益（税引後）				194			432		210
上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引*：									
収益合計				-23			-45		-177
費用合計				-23			-47		-89

フィンランドの非継続事業からの収益、費用及び利益

百万スウェーデン・クローネ	2023年 第2 四半期	2023年 第1 四半期	変動	2022年 第2 四半期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
純利息収益	588	530	11%	324	81%	1,118	559	100%	1,722
純手数料及びコミッション収益	106	100	6%	105	1%	206	208	-1%	396
金融取引による純損益	7	6	17%	8	-13%	13	18	-28%	37
保険事業による純損益	4	5	-20%	0		9	4	125%	12
その他収益	0	0		12	-100%	0	15	-100%	19
収益合計	707	641	10%	450	57%	1,348	806	67%	2,186
人件費	-175	-213	-18%	-149	17%	-388	-281	38%	-647
その他費用	-108	-121	-11%	-379	-72%	-229	-469	-51%	-775
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用							-2		-2
費用合計	-283	-334	-15%	-529	-47%	-617	-753	-18%	-1,423
正味信用損失	-1	16		12		15	11	36%	-10
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1			0		-1	0	0%	0
リスク税及び破綻処理手数料	-18	-30	-40%	-28	-36%	-48	-51	-6%	-102
非継続事業からの税引前当期利益	404	292	38%	-94		696	13		652
法人税等	-58	-35	66%	-27	115%	-93	-65	43%	-560
非継続事業からの税引後当期利益	348	256	36%	-121		604	-52		91

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引*：

収益合計	25	23		47		48	209		-110
費用合計	-26	-22		-34		-48	-71		-113

* 継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、フィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。2023年1月1日から、当行はフィンランドの処分グループとグループ・トレジャリー部との間の純利息収益に関連する内部取引に対し新たな消去方法を適用しているため、内部利息収益及び内部利息費用を、継続事業及び非継続事業にそれぞれ表示している。比較数値は再計算されていない。

デンマークの非継続事業からの手数料及びコミッション収益

	2023年 第2 四半期	2023年 第1 四半期	変動	2022年 第2 四半期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
仲介及びその他証券コミッション				10			23		41
ミューチュアル・ファンド				39			82		147
カストディ及びその他資産管理手数料				40			87		148
アドバイザーサービス				4			15		22
保険				6			18		22
決済				42			81		205
貸出金及び預金				18			33		55
保証				21			39		65
その他				16			38		64
手数料及びコミッション収益合計				196			416		768

フィンランドの非継続事業からの手数料及びコミッション収益

	2023年 第2 四半期	2023年 第1 四半期	変動	2022年 第2 四半期	変動	2023年度 上半期	2022年度 上半期	変動	2022年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
仲介及びその他証券コミッション	2	2	0%	2	0%	4	5	-20%	8
ミューチュアル・ファンド	2	2	0%	2	0%	4	4	0%	8
カストディ及びその他の資産管理手数料	11	10	10%	11	0%	21	24	-13%	44
アドバイザーサービス									
保険	19	19	0%	21	-10%	38	43	-12%	84
決済	54	54	0%	60	-10%	108	108	0%	203
貸出金及び預金	22	22	0%	18	22%	44	38	16%	79
保証	5	5	0%	5	0%	10	10	0%	20
その他	3	3	0%	3	0%	6	7	-14%	13
手数料及びコミッション収益合計	118	116	2%	122	-3%	234	239	-2%	458

非継続事業からのキャッシュ・フロー

百万スウェーデン・クローネ	2023年度上半期	2022年度上半期	2022年度通期
営業活動からのキャッシュ・フロー	1,466	-74,764	-123,159
投資活動からのキャッシュ・フロー	-5	-17	-11
財務活動からのキャッシュ・フロー		-3,494	
非継続事業からの当期キャッシュ・フロー	1,461	-78,275	-123,171

デンマークにおける事業は2022年度第4四半期に売却されているため、非継続事業に係るキャッシュ・フロー計算書はフィンランドにおける事業のみを対象としている。デンマークにおける事業の売却にともなうキャッシュ・フローは、要約キャッシュ・フロー計算書当行グループ(27ページ参照(注：原文のページ番号である。))の投資からのキャッシュ・フローの比較数値に含まれる。

注記11 デリバティブ

百万スウェーデン・クローネ	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
正の市場価値					
トレーディング	83,902	67,692	74,801	106,788	82,854
公正価値ヘッジ	16,973	15,946	16,972	21,285	15,482
キャッシュフロー・ヘッジ	36,933	28,765	25,600	38,298	24,507
相殺されている金額	-81,079	-72,903	-81,112	-84,395	-67,765
合計	56,729	39,500	36,261	81,976	55,078
負の市場価値					
トレーディング	69,463	67,329	78,199	75,024	62,347
公正価値ヘッジ	28,853	24,935	27,349	27,077	17,955
キャッシュフロー・ヘッジ	6,321	6,226	6,050	5,337	3,287
相殺されている金額	-82,330	-74,350	-82,558	-80,504	-61,807
合計	22,307	24,140	29,040	26,934	21,782
想定元本					
トレーディング	3,586,661	3,694,500	3,762,560	4,007,177	4,297,270
公正価値ヘッジ	695,882	617,484	578,034	597,717	551,758
キャッシュフロー・ヘッジ	526,301	517,162	562,999	592,710	578,984
相殺されている金額	-2,897,069	-2,797,234	-2,826,362	-2,827,030	-2,784,212
合計	1,911,775	2,031,912	2,077,231	2,370,574	2,643,800

本注記のデリバティブ契約は総額で表示されている。貸借対照表上相殺されている金額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約(中央清算される契約を含む)の市場価値のうち相殺されているものを表している。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

注記12 金融商品の相殺

2023年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	レボ契約、証券借入 及び類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融資産			
総額	137,808	37,432	175,240
相殺される金額	-81,079	-7,687	-88,766
貸借対照表計上額	56,729	29,745	86,474
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-6,368		-6,368
担保として受領した金融資産	-45,466	-29,734	-75,200
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-51,834	-29,734	-81,568
純額	4,895	11	4,906
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融負債			
総額	104,637	18,993	123,630
相殺される金額	-82,330	-7,687	-90,017
貸借対照表計上額	22,307	11,306	33,613
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-6,368		-6,368
担保として差し入れた金融資産	-3,046	-11,306	-14,352
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-9,414	-11,306	-20,720
純額	12,893		12,893
2022年12月31日 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	レボ契約、証券借入 及び類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融資産			
総額	117,373	18,416	135,789
相殺される金額	-81,112	-4,833	-85,945
貸借対照表計上額	36,261	13,583	49,844
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-11,031		-11,031
担保として受領した金融資産	-21,972	-13,568	-35,540
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-33,003	-13,568	-46,571
純額	3,258	15	3,273
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融負債			
総額	111,598	4,838	116,436
相殺される金額	-82,558	-4,833	-87,391
貸借対照表計上額	29,040	5	29,045
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-11,031		-11,031
担保として差し入れた金融資産	-5,897	-5	-5,902
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-16,928	-5	-16,933

純額	12,112	12,112
----	--------	--------

デリバティブ商品は、2つ以上の契約の決済から当行により予想されるキャッシュ・フローを反映する場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関とのレポ及びリバース・レポは、2つ以上の契約の決済から当行により予想されるキャッシュ・フローを反映する場合に、貸借対照表上で相殺される。これは、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、支払が行われなかった場合に、ネットティング契約を通じて（すなわち、倒産時に単一かつ同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって）軽減される。当行は、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、場合によっては国債も使用される。買戻契約並びに有価証券貸借契約に関する担保には、原則として、現金又は他の有価証券が利用される。

デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保11,878(11,346)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保13,129(12,791)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

注記13 のれん及びその他無形資産

	のれん			その他無形資産			合計		
	2023年度 上半期	2022年度 上半期	2022年度 通期	2023年度 上半期	2022年度 上半期	2022年度 通期	2023年度 上半期	2022年度 上半期	2022年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
期首現在残存価値	4,397	4,357	4,357	4,005	3,945	3,945	8,402	8,302	8,302
当期中の増加				485	301	703	485	301	703
売却目的で保有する資産への分類変更									
当期中の償却				-376	-328	-661	-376	-328	-661
当期中の減損						-21			-21
外貨換算影響額	-8	18	41	50	24	38	42	42	79
期末現在残存価値	4,389	4,375	4,397	4,164	3,942	4,005	8,553	8,317	8,402

注記14 金融機関からの預り金、一般顧客からの預金及び借入金

	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
百万スウェーデン・クローネ					
金融機関からの預り金	143,863	97,306	81,693	120,251	121,449
うち、レボ	619	13			
一般顧客からの預金及び借入金	1,433,843	1,435,563	1,318,925	1,459,240	1,442,548
うち、レボ	2,255	926	5	12,182	11,306

注記15 発行済証券

	2023年度上半期	2022年度上半期	2022年度通期
百万スウェーデン・クローネ			
期首現在発行済証券	1,474,801	1,353,768	1,353,768
発行済	663,736	567,376	1,064,019
買戻	-30,261	-27,614	-57,759
満期が到来したもの	-589,074	-461,016	-926,079
外貨換算影響額等	44,673	51,639	40,852
期末現在発行済証券	1,563,875	1,484,153	1,474,801

注記16 担保として差し入れた資産及び偶発債務

	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
百万スウェーデン・クローネ					
自己の債務の担保として差し入れた資産	1,004,096	978,609	979,378	953,571	954,996
その他担保資産	75,418	76,358	15,850	14,978	16,629
偶発債務	63,568	60,467	60,975	67,456	69,517
コミットメント	459,305	450,498	459,114	482,570	491,180

注記17 金融資産及び負債の分類

2023年6月30日	純損益を通じて公正価値で計上				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じて 公正価値で測 定			
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					503,684	503,684	503,684
中央銀行へのその他の貸出金					38,776	38,776	38,776
中央銀行への担保として適格な利 付証券	4,265	260,973				265,238	265,238
その他金融機関への貸出金					38,259	38,259	38,251
一般顧客への貸出金					2,492,465	2,492,465	2,448,615
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動					-16,046	-16,046	
債券及びその他の利付証券	22,587	22,492		12,531		57,611	57,611
株式	21,804			605		22,409	22,409
顧客が価値変動リスクを負う資産	248,636				78	248,714	248,714
デリバティブ商品	24,110		32,619			56,729	56,729
その他資産	34				12,503	12,537	12,537
合計	321,436	283,465	32,619	13,136	3,069,719	3,720,376	3,692,564
関連会社に対する投資						606	
非金融資産						34,460	
資産合計						3,755,442	
負債							
金融機関からの預り金					144,793	144,793	144,866
一般顧客からの預金及び借入金					1,493,884	1,493,884	1,492,574
顧客が価値変動リスクを負う負債		248,637			78	248,715	248,715
発行済証券	995				1,562,880	1,563,875	1,520,649
デリバティブ商品	11,846		10,461			22,307	22,307
ショートポジション	13,459					13,459	13,459
その他負債	27				17,266	17,293	17,293
劣後負債					35,085	35,085	34,492
合計	26,327	248,637	10,461		3,253,986	3,539,410	3,494,355
非金融負債						19,746	
負債合計						3,559,156	
2022年12月31日	純損益を通じて公正価値で計上				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じて 公正価値で測 定			
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					475,882	475,882	475,882
中央銀行へのその他の貸出金					32,620	32,620	32,620
中央銀行への担保として適格な 利付証券	1,465	131,113		200		132,778	132,778

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
半期報告書

その他金融機関への貸出金				9,415	9,415	9,410
一般顧客への貸出金				2,469,324	2,469,324	2,422,795
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動				-16,616	-16,616	
債券及びその他の利付証券	5,328	17,487		9,882	32,697	32,697
株式	12,272			544	12,815	12,815
顧客が価値変動リスクを負う資産	222,038			73	222,111	222,111
デリバティブ商品	14,912		21,349		36,261	36,261
その他資産	14			14,797	14,811	14,811
合計	256,028	148,600	21,349	10,626	2,985,494	3,422,097
関連会社に対する投資					561	
非金融資産					31,060	
資産合計					3,453,718	
負債						
金融機関からの預り金				82,372	82,372	82,395
一般顧客からの預金及び借入金				1,376,286	1,376,286	1,375,504
顧客が価値変動リスクを負う負債		222,038		73	222,111	222,111
発行済証券	1,635			1,473,167	1,474,801	1,431,925
デリバティブ商品	16,648		12,392		29,040	29,040
ショートポジション	1,939				1,939	1,939
その他負債	11			11,227	11,238	11,238
劣後負債				42,404	42,404	42,430
合計	20,233	222,038	12,392	2,985,529	3,240,192	3,196,582
非金融負債					19,502	
負債合計					3,259,694	

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている（注記10を参照のこと）。

注記18 金融商品の公正価値測定

2023年6月30日

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
中央銀行への担保として適格な利付証券	264,395	843		265,238
債券及びその他の利付証券	53,521	4,090		57,611
株式	21,525	700	184	22,409
顧客が価値変動リスクを負う資産	246,834	1,246	556	248,636
デリバティブ商品	74	56,651	4	56,729
合計	586,349	63,530	744	650,623

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	246,835	1,246	556	248,637
発行済証券		995		995
デリバティブ商品	113	22,190	4	22,307
ショートポジション	13,184	275		13,459
合計	260,132	24,706	560	285,398

2022年12月31日

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
中央銀行への担保として適格な利付証券	132,778			132,778
債券及びその他の利付証券	31,939	758		32,697
株式	12,141	501	173	12,815
顧客が価値変動リスクを負う資産	220,766	747	525	222,038
デリバティブ商品	49	36,173	39	36,261
合計	397,673	38,179	737	436,589

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	220,766	747	525	222,038
発行済証券		1,635		1,635
デリバティブ商品	54	28,947	39	29,040
ショートポジション	1,858	81		1,939
合計	222,678	31,410	564	254,652

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている（注記10を参照のこと）。

評価プロセス

リスク・コントロール部門は、当行グループの金融商品が正確に評価されていることを確認している。可能な限り外部データに基づいて行われる。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、受領した価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。最新の市場価格は、買呼値と売呼値の範囲内で、その状況において公正価値を最もよく表す価格である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味ポジションが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

金融商品の市場価格に関して信頼できる情報が存在しない場合には、公正価値は評価モデルを用いて算定されている。これらのモデルは、その商品の性質に応じて、例えば、価格比準法、現在価値技法、オプション価格算定モデルを基礎とすることができる。

評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に使用した市場データの透明性の程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。直接的かつ流動性が高い市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応する短期ポジションで構成されている。レベル1にはまた、ミューチュアル・ファンドにおける大部分の株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、並びに金利及び通貨関連デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その評価に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。レベル3には、非上場の株式、プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有及び特定のデリバティブが含まれる。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日（2022年12月31日）以降に変更された場合には、その金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。2.1十億スウェーデン・クローネ相当の債券及びその他の利付証券が当期中にレベル1からレベル2へ振り替えられ、0.5十億スウェーデン・クローネ相当の債券及びその他の利付証券がレベル2からレベル1へ振り替えられた。また、顧客が価値変動リスクを負う資産であるコマーシャル・ペーパーのうち0.2十億スウェーデン・クローネ相当が、レベル1からレベル2へ振り替えられた。これにより、0.2十億スウェーデン・クローネ相当の顧客が価値変動リスクを負う負債もレベル1からレベル2へ振り替えられた。レベル間の振替は、市場取引を改めて評価した上で実施している。通期のレベル3の保有金融商品の変動は、下表に別途表示されている。

レベル3の保有商品は、主に非上場の株式で構成されている。当行グループが保有している非上場株式は、主に当行に対して業務支援を行っている会社に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、一般に当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式はすべての重要な点から見て、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。したがって、これらの保有持分の価値変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有は、レベル3に分類されている。これらは主に、同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率）に基づいて評価される。

当行が発行した特定の仕組債におけるデリバティブ部分及び関連するヘッジ目的デリバティブも、レベル3に分類されている。これらのデリバティブでは、内部による仮定が公正価値の算定に大きな影響を与える。レベル3のヘッジ目的デリバティブは、当行の取引相手との間で市場価値が日次で検証され確認されるクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）に基づいて取引される。

取引価格と評価モデルを用いて測定された価値との差額

評価モデルでは、市場価格及び価格設定に影響を及ぼすとみなされるその他の変数のインプット・データを使用する。評価の基礎を成すモデル及びインプット・データは、市場慣行及び確立されている金融理論と一致するよう、定期的に検証される。当初認識時の評価モデルを用いて計算された価値と取引価格との間に正の差額（取引日利得/損失）がある場合、その差額は当該金融商品の残存期間にわたって計上される。こうした差額は、金融商品の価値に影響を及ぼすすべての構成要素を、適用した評価モデルが十分に捕捉していない場合に発生する。取引日利得/損失は、当行の利鞘のほか、資本コストや管理費用などの対価である。上半期において56(87)百万スウェーデン・クロネが金融取引における純損益に計上された。当期末現在、未認識の取引日利得/損失合計は442百万スウェーデン・クロネであり、これに対し、2022年度末は447百万スウェーデン・クロネであった。

レベル3の保有金融商品の変動

2023年度上半期 百万スウェーデン・クロネ	株式	デリバティブ資 産	デリバティブ負 債	顧客が価値変動 リスクを負う資 産	顧客が価値変動 リスクを負う負 債
期首現在帳簿価額	173	39	-39	525	-525
取得					
買戻/売却					
当期中に満期が到来したもの					
未実現評価差額（損益計算書に計上）	11	-3	3	31	-31
未実現評価差額（その他包括利益に計上）					
レベル1又は2からの振替					
レベル1又は2への振替		-32	32		
期末現在帳簿価額	184	4	-4	556	-556

2022年度通期 百万スウェーデン・クロネ	株式	デリバティブ資 産	デリバティブ負 債	顧客が価値変動 リスクを負う資 産	顧客が価値変動 リスクを負う負 債
期首現在帳簿価額	639	43	-43	484	-484
取得		34	-39		
買戻/売却	-472	-43	41		
当期中に満期が到来したもの					
未実現評価差額（損益計算書に計上）	6	-32	39	41	-41
未実現評価差額（その他包括利益に計上）					
レベル1又は2からの振替		29	-29		
レベル1又は2への振替		8	-8		
期末現在帳簿価額	173	39	-39	525	-525

注記19 通貨別資産及び負債

2023年6月30日 百万スウェーデン・ク ローネ	スウェーデ ン・クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ク ローネ	デンマー ク・クロ ーネ	英ポンド	米ドル	その他の通 貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	51,430	148,261	4,047	0	104,873	194,954	118	503,684
中央銀行へのその他の貸 出金		37,492			1,283		0	38,776
その他金融機関への貸出 金	1,689	3,170	22,356	2	845	9,787	411	38,259
一般顧客への貸出金	1,590,029	308,236	315,134	4,931	259,096	12,913	2,126	2,492,465
うち、法人	603,958	197,005	201,817	4,908	183,841	12,744	859	1,205,131
うち、個人	986,071	111,231	113,317	22	75,256	170	1,268	1,287,334
中央銀行への担保として 適格な利付証券	246,461	7,798	863	1		10,115		265,238
債券及びその他の利付証 券	42,444	646	13,982			540		57,611
その他項目（通貨別内訳 なし）	359,410							359,410
資産合計	2,291,462	505,603	356,381	4,933	366,098	228,309	2,655	3,755,442
負債								
金融機関からの預り金	27,684	73,492	23,302	17	108	20,269	-79	144,793
一般顧客からの預金及び 借入金	855,346	149,706	99,794	2,605	272,431	110,426	3,576	1,493,884
うち、法人	362,780	116,180	66,191	2,468	199,131	106,735	2,724	856,209
うち、個人	492,567	33,526	33,603	137	73,300	3,690	852	637,675
発行済証券	522,522	386,559	19,522		34,561	573,033	27,679	1,563,875
劣後負債	0	14,473			6,238	14,374	0	35,085
その他項目（通貨別内訳 なし、資本含む）	517,805							517,805
負債及び資本合計	1,923,357	624,230	142,617	2,622	313,338	718,101	31,176	3,755,442
通貨別その他資産及び負 債（純額）		118,419	-213,747	-2,334	-52,655	489,937	28,585	
正味外貨ポジション		-208	17	-23	106	145	64	101

2022年12月31日 百万スウェーデン・ク ローネ	スウェーデ ン・クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ク ローネ	デンマー ク・クロ ーネ	英ポンド	米ドル	その他の通 貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	100,413	136,928	8,962	0	99,872	129,674	34	475,882
中央銀行へのその他の貸 出金		31,364			1,256		0	32,620
その他金融機関への貸出 金	480	3,709	2	1	903	3,894	424	9,415
一般顧客への貸出金	1,586,449	292,228	324,563	9,901	242,246	11,704	2,233	2,469,324
うち、法人	602,504	183,963	206,027	9,884	169,380	11,517	847	1,184,121
うち、個人	983,946	108,265	118,537	17	72,867	187	1,385	1,285,204
中央銀行への担保として 適格な利付証券	117,546	5,483	36	1		9,712		132,778

債券及びその他の利付証券	22,353	1,472	8,352			519		32,697
その他項目(通貨別内訳なし)	301,002							301,002
資産合計	2,128,244	471,184	341,916	9,902	344,277	155,503	2,691	3,453,718
負債								
金融機関からの預り金	17,760	50,548	29	1,906	115	11,990	23	82,372
一般顧客からの預金及び借入金	854,602	136,375	91,473	1,201	252,592	43,167	3,011	1,382,422
うち、法人	370,568	103,155	58,072	1,110	179,920	39,354	2,184	754,362
うち、個人	484,035	33,220	33,401	91	72,672	3,814	828	628,060
発行済証券	511,251	342,123	25,828		39,407	536,118	20,076	1,474,801
劣後負債	0	22,266	-	-	5,930	14,208		42,404
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	471,719							471,719
負債及び資本合計	1,855,332	551,311	117,330	3,107	298,044	605,483	23,110	3,453,718
通貨別その他資産及び負債(純額)		80,111	-224,480	-6,820	-46,235	449,902	20,487	
正味外貨ポジション		-16	105	-24	-2	-78	68	53

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている(注記10を参照のこと)。

注記20 連結ベースの自己資本及び所要自己資本

自己資本及び所要自己資本に関する要件は、EUによる国際的なバーゼル 規制の導入を包含する、規制(EU)第575/2013号(CRR)及び指令2013/36/EUに定められている。本報告書におけるCRRへの言及はすべて、法律上の形式(規制、指令、行政命令又は国内における導入)に関わらず、新規制全体を指している。本セクションで報告されている数値は第一の柱に基づく最低所要自己資本であり、CRR第8章及びスウェーデン金融監督庁の規制(FFFS 2014年第12号)の中の、自己資本比率に関する情報の公表に関する要件を満たしている。第二の柱における所要自己資本合計及び普通株式等Tier1所要自己資本に関する情報は「グループ - 業績」のセクションに記載されている。これらはスウェーデン金融監督庁が公表した規定及び一般指針(FFFS 2008年第25号「信用機関及び証券会社における年次報告」)に規定された要件を満たしている。

本セクション中の情報は、本報告書の公表日現在の、ハンデルスバンケンの重要なリスク及び所要自己資本に関している。当行のリスク及び資本管理に関する記述はすべて、ハンデルスバンケンの年次報告書及びハンデルスバンケンの「リスク及び資本管理 - 第三の柱に関する情報」に記載されている。

主要な数値

	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
百万スウェーデン・クローネ					
利用可能な自己資本					
普通株式等Tier1(CET1)資本	166,003	160,582	158,551	157,550	155,434
Tier1資本	182,123	176,038	174,134	174,119	170,775
資本合計	202,556	195,398	193,186	192,695	194,039
リスク加重エクスポージャー額					
リスク加重エクスポージャー合計額	837,505	827,075	810,144	829,860	830,705
自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)					
普通株式等Tier1比率(%)	19.8%	19.4%	19.6%	19.0%	18.7%
Tier1比率(%)	21.7%	21.3%	21.5%	21.0%	20.6%
総自己資本比率(%)	24.2%	23.6%	23.8%	23.2%	23.4%
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)					
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	1.9%
うち、CET1資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.2%
うち、Tier1資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.5%
SREPに基づく所要自己資本合計(%)	10.1%	10.1%	10.1%	10.1%	9.9%
結合バッファー要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)					
資本保全バッファー(%)	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又はシステムミック・リスクに対する保全バッファー(%)					
金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファー(%)	1.7%	1.1%	1.0%	0.8%	0.2%
システムミック・リスク・バッファー(%)	3.2%	3.1%	3.2%	3.0%	3.0%
グローバルにシステム上重要な金融機関バッファー(%)					
その他の金融システム上重要な金融機関バッファー	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
結合バッファー要件(%)	8.4%	7.7%	7.7%	7.3%	6.7%
所要自己資本合計(%)	18.4%	17.8%	17.8%	17.4%	16.6%
SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET1(%)	14.0%	13.6%	13.7%	13.2%	13.0%
レバレッジ比率					
レバレッジ比率エクスポージャー合計	3,602,883	3,453,723	3,341,332	3,604,416	3,589,683
レバレッジ比率	5.1%	5.1%	5.2%	4.8%	4.8%
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(エクスポージャー合計額に対する割合)					
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)					
うち、CET1資本の割合(パーセンテージ・ポイント)					
SREPに基づくレバレッジ比率要件合計(%)	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
流動性カバレッジ比率(LCR)*					
高品質な流動資産合計(HQLA)(加重平均)	889,405	889,352	885,096	860,570	815,978

資金流出額(加重平均)	652,947	660,672	645,218	634,114	600,174
資金流入額(加重平均)	91,583	88,477	83,191	73,621	72,202
純資金流出額(調整額)	561,364	572,195	562,026	560,493	527,972
流動性カバレッジ比率	159%	156%	159%	154%	156%

安定調達比率(NSFR)

利用可能な安定調達資金	2,165,163	2,052,855	2,036,932	2,138,889	2,125,152
所要安定調達額	1,827,178	1,785,899	1,793,937	1,845,855	1,836,823
NSFR	118%	115%	114%	116%	116%

* 高品質な流動資産及びキャッシュ・フローは、直近12ヶ月間の各月末時点の観測値の平均であり、比率はこれらの平均値から算出されている。

リスク加重エクスポージャー額の概要

	RWEA		所要自己資本	
	2023年6月30日	2023年3月31日	2023年6月30日	2023年3月31日
百万スウェーデン・クローネ				
信用リスク（CCRを除く）	731,733	701,864	58,539	56,149
うち、標準的手法	194,182	189,514	15,535	15,161
うち、基礎的IRB手法（FIRB手法）	58,807	53,008	4,705	4,241
うち、スロットティング手法				
うち、簡便なリスク加重手法	2,240	2,096	179	168
うち、先進的IRB手法（AIRB手法）	277,177	255,171	22,174	20,414
うち、リスク加重フロア	199,327	202,075	15,946	16,166
カウンターパーティ信用リスク - CCR	10,311	13,329	825	1,066
うち、標準的手法	7,427	8,851	594	708
うち、内部モデル方式（IMM）				
うち、CCPIに対するエクスポージャー	166	186	13	15
うち、信用評価調整 - CVA	1,982	3,375	159	270
うち、他のCCR	736	917	59	73
決済リスク				

非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）

うち、SEC-IRBA手法				
うち、SEC-ERBA手法（IAAを含む）				
うち、SEC-SA手法				
うち、1,250%/控除				
ポジション、為替、コモディティリスク（市場リスク）	20,245	36,666	1,620	2,933
うち、標準的手法	20,245	36,666	1,620	2,933
うち、内部モデル方式（IMA）				
大口エクスポージャー				
オペレーショナル・リスク	75,216	75,216	6,017	6,017
うち、基礎的指標手法				
うち、標準的手法	75,216	75,216	6,017	6,017
うち、先進的計測手法				
控除の基準値未満の額（リスク加重は250%）				
合計	837,505	827,075	67,000	66,166

信用リスクに関する所要自己資本

信用リスクに関する所要自己資本は、CRRに従い、標準的手法及びIRB手法に基づいて計算される。IRB手法では、自行推計による債務不履行時の損失（以下、「LGD」という。）及び掛目（以下、「CCF」という。）を用いないIRB手法（基礎的手法）と、自行推計のLGD及びCCFを用いるIRB手法（先進的手法）の2つの異なる手法が用いられる。

自行推計のLGDとCCFを用いないIRB手法では、当行は1年以内に顧客が債務不履行に陥る可能性（以下、「PD」という。）を判断するために当行独自の手法を用いるが、他のパラメーターはCRRによって指定される。LGDとCCFを独自に推計するIRB手法において、当行は、債務不履行時の損失（LGD）及びエクスポージャーの算定に当行独自の手法を用いる。

ハンデルスバンケンは、ソブリン・エクスポージャー及び金融機関に対するエクスポージャーに加え、支店業務全体及び以下の子会社の法人エクスポージャーのうちの特定の商品並びに担保及び取引相手の種類に対して、自行推計のLGDとCCFを用いないIRB手法を使用している。対象となる子会社は、スタッドフィボテック・エイ・ビー、ハンデルスバンケン・ファイナンス・エイ・ビー及びエクスター・エイ・ビーの各社である。ハンデルスバンケン・ピーエルシーにおけるエクスポージャーは、標準的手法に基づいて報告されている。

自行推計のLGDとCCFを用いるIRB手法は、大企業、中規模企業、不動産企業及び住宅協同組合の支店業務（オランダを除く）、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、スタッドフィボテックAB及びHandelsbanken Finans AB、Ecster AB、及びスウェーデン、ノルウェー、フィンランド及びデンマークのリテール・エクスポージャーのほか、子会社のスタッドフィボテックAB、Handelsbanken Finans AB及びEcster ABに対するエクスポージャーの大部分に対して適用されている。リスク加重フロアは、スウェーデン及びノルウェーの抵当貸付、つまり住宅ローン及び不動産を担保とする法人エクスポージャーの両方に適用されている。

当四半期末現在、IRB手法は、リスク加重フロアによる影響を含む、信用リスクに関するリスク・エクスポージャー合計額の74%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーに関して、所要自己資本は標準的手法を用いて算定されている。

ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、97%は返済能力が正常又は正常より良い（すなわち、当行の9段階のリスク格付けで1から5の間の格付）と査定された顧客向けである。IRB手法は、近年の金融危機及び1990年台初頭のスウェーデンの銀行危機の双方によって生じた過去の損失に基づいている。これらのリスク加重は、ハンデルスバンケンが長期にわたって計上している信用損失が少ないという事実を反映している。適用されているリスク測定は、リスクが過小評価されないようにするための安全余裕率を含んでいる。

IRB手法における株式エクスポージャーに関する所要自己資本は、簡便リスク加重法に従い計算されている。

市場リスクに係る所要自己資本

市場リスクに係る所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに係る所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに係る所要自己資本の計算では、標準的手法が用いられる。

オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本の計算に標準的手法を使用している。所要自己資本は、標準的手法に従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

注記21 リスク及び流動性

本セクションで報告されている数値は、CRR第8章の中の、リスク及び資本管理に関する情報の公表に関する要件を満たしている。

リスク及び不確実性要因

ハンデルスバンケンは、支店業務を通じて融資を行っており、リスク許容度は低い。与信プロセスは、現地に密着した分散型組織が高品質な与信判断を確実に行うという理念に基づいている。当行の事業活動においては、基本的に顧客の投資ニーズ及びリスク管理ニーズへの対応の一環となる場合に限り市場リスクを負担する。ハンデルスバンケンの市場リスクに対するエクスポージャーは低い。当行の低いリスク許容度により、当行は厳しい市況でも事業の遂行に必要な体制を備えている。これは、ロシアのウクライナ侵攻の結果、欧州経済及び世界経済の不確実性が高まったことなどを受けて、金利及びインフレ環境が変化した場合にも当てはまる。ハンデルスバンケンは、ロシア、ウクライナ、ベラルーシのいずれに対しても直接的なエクスポージャーを有していない。しかしながら、地政学的な動向は当行にとって間接的なリスクとなる可能性がある。ロシアのウクライナ侵攻により、重要なインフラに対する様々な種類のサイバー攻撃のリスクが高まっている。当行のセキュリティ部門は動向を注視し、様々なシナリオに応じたリスク評価を継続的に行っている。通期の金利環境の大幅な変化及び金融市場の混乱を受けて、不動産セクターをはじめとした当行の取引相手方の今後の状況はより厳しくなりつつある。この状況を踏まえ、ハンデルスバンケンは、信用リスクに対する厳格な姿勢と当行で策定された通常の信用供与プロセスを維持している。

流動性及び資金調達

ハンデルスバンケンの流動性リスクの許容度は低く、全体レベルでも個別通貨でも、流動性リスクの低減に積極的に取り組んでいる。この目的は、十分な流動性を確保し、業績の変動を抑制するとともに、困難な時代にあっても顧客の資金需要を満たすために十分な資金調達力を確保することにある。これは、当行に重要な全通貨のキャッシュ・インフロー及びキャッシュ・アウトフローを経時的に詳細にマッチングさせること、並びに良質な多額の流動性準備金を維持することにより達成される。これによって当行は資金調達における経済的リスクを低減し、事業部門向けに長期に安定した資金調達を維持することが可能となる。

さらに、当行は資金調達プログラム及びその用途の拡充を目指している。これにより、金融市場の混乱が拡大しても、当行は長期にわたり中核事業を維持することが確実となる。

ストレス状況下においても中核事業に対応できる十分な流動性を確保するため、当行は取り扱っているすべての通貨で多額の流動性準備金を保有している。当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債やカバード・ボンド等の極めて信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券より構成され、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金のこれらの部分は以下の表に記載されており、2023年6月30日現在で880十億スウェーデン・クローネとなっている。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出対策より構成される。

中央銀行及び銀行預け金並びに流動性準備金における有価証券保有残高

市場価値 百万スウェーデン・クローネ	2023年6月30日	2023年3月31日	2022年12月31日	2022年9月30日	2022年6月30日
レベル1資産	876,922	759,832	675,238	839,101	824,191
現金及び中央銀行預け金	539,119	484,816	505,339	639,308	651,029
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関発行 債又は保証債	263,339	226,416	135,491	139,826	127,402
地方債及び公的機関発行債	421	329	447	449	517
きわめて高品質なカバード・ボンド	74,044	48,270	33,962	59,518	45,244
レベル2資産	3,005	4,837	1,139	6,213	2,125
レベル2A資産	2,844	4,635	1,047	6,030	1,945
ソブリン、中央銀行、地方及び公的機関発行債又は保証 債	1,126	3,604	36	3,744	501
高品質なカバード・ボンド	1,718	1,031	1,011	2,286	1,444
社債（格付AA-以上）					
レベル2B資産	161	202	91	183	179
資産担保証券					
高品質なカバード・ボンド					
社債（格付A+～BBB-）	161	202	91	183	179
株式（主要株価指数）					
流動資産合計	879,927	764,668	676,377	845,314	826,316
うち、スウェーデン・クローネ建て	330,391	278,473	238,066	300,841	274,225
うち、ユーロ建て	192,609	158,679	175,457	207,206	214,108
うち、米ドル建て	200,591	190,849	138,867	158,275	163,140
うち、その他の通貨建て	156,335	136,667	123,987	178,992	174,843
2023年6月30日 市場価値、百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
レベル1資産	329,780	192,218	200,059	154,865	876,922
現金及び中央銀行預け金	50,349	185,574	194,868	108,328	539,119
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関発行 債又は保証債	247,618	6,632	5,191	3,898	263,339
地方債及び公的機関発行債	357			64	421
きわめて高品質なカバード・ボンド	31,456	12		42,576	74,044
レベル2資産	612	391	532	1,470	3,005
レベル2A資産	612	230	532	1,470	2,844
ソブリン、中央銀行、地方及び公的機関発行債又は保証 債				1,126	1,126
高品質なカバード・ボンド	612	230	532	344	1,718
社債（格付AA-以上）					
レベル2B資産		161			161
資産担保証券					
高品質なカバード・ボンド					
社債（格付A+～BBB-）		161			161
株式（主要株価指数）					
流動資産合計	330,391	192,609	200,591	156,335	879,927

金融資産及び負債の満期分析

2023年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月以内	6ヶ月超 12ヶ月以内	1年超 2年以内	2年超 5年以内	5年超	満期の 指定なし	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	542,459							542,459
中央銀行への担保として適格な 利付証券*	265,238							265,238
債券及びその他の利付証券*	57,611							57,611
金融機関への貸出金	35,897	203	78	217	1,164	700		38,259
うち、リバース・レボ	22,321							22,321
一般顧客への貸出金	54,366	291,439	224,959	224,673	476,834	1,220,194		2,492,465
うち、リバース・レボ	14,225							14,225
その他**	32,708						326,702	359,410
うち、株式及び参加持分	22,409							22,409
うち、投資銀行業務の決済に 係る債権	10,299							10,299
合計	988,279	291,643	225,037	224,891	477,998	1,220,894	326,702	3,755,442
負債								
金融機関からの預り金***	68,903	45,300	22,255	337	103	521	7,374	144,793
うち、レボ	619							619
うち、中央銀行からの預り金	8,387	31,315	7,370					47,072
一般顧客からの預金及び借入 金***	126,365	165,178	42,491	11,171	2,502	163	1,146,015	1,493,885
うち、レボ	2,254							2,254
発行済証券	82,373	452,647	263,916	114,232	496,450	154,257		1,563,875
うち、カバード・ボンド		6,234	70,797	80,251	363,677	101,525		622,484
うち、当初満期が1年未満の 譲渡性預金(CD)	29,065	198,819	53,365					281,249
うち、当初満期が1年未満の コマーシャル・ペーパー (CP)	38,738	226,133	95,854					360,725
うち、当初満期が1年超の譲 渡性預金(CD)及び コマー シャル・ペーパー(CP)	9,196		19,042	541				28,779
うち、非優先シニア債					36,400	25,390		61,790
うち、当初満期が1年超のシ ニア債及びその他の証券	5,373	21,460	24,859	33,440	96,373	27,342		208,847
劣後負債			13,475		16,819	4,791		35,085
その他**	20,666						497,139	517,805
うち、ショートポジション	13,459							13,459
うち、投資銀行業務の決済に 係る債務	7,207							7,207
合計	298,307	663,125	342,137	125,740	515,874	159,732	1,650,528	3,755,442

* 上表は、担保に供するか又は売却することで流動資産に転換可能な債券及びその他の利付証券の残高を期間毎に表したものである。これは、上表が、ここに含まれている証券の実際の満期を反映していないことを意味する。「その他」には、契約上の満期日に対応する期間に満期を迎える資産及び負債が計上されており、契約上の返済計画が考慮されている。

** 「その他」には、デリバティブ取引の市場価値が含まれている。

*** 要求払預金は「満期の指定なし」の欄に計上されている。

流動性カバレッジ比率 (LCR)

流動性カバレッジ比率 (LCR) - 内訳 百万スウェーデン・クローネ	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
高品質な流動資産	874,237	760,493	673,796	840,152	822,767
現金流出					
一般顧客及び中小企業からの預金	57,445	57,720	65,380	70,478	72,154
資本市場からの無担保資金調達	351,101	407,876	293,008	415,380	368,990
資本市場からの有担保資金調達	8,476	7,330	7,351	14,003	16,041
他の現金流出	112,288	115,562	124,709	78,856	65,123
現金流出合計	529,310	588,488	490,448	578,717	522,308
現金流入					
正常なエクスポージャーからの流入	26,458	27,603	27,209	28,025	24,960
他の現金流入	37,658	56,694	50,293	31,494	40,613
現金流入合計	64,116	84,297	77,502	59,519	65,573
流動性カバレッジ比率(LCR)	188%	151%	163%	162%	180%

安定調達比率 (NSFR)

安定調達比率 (NSFR) - 内訳 百万スウェーデン・クローネ	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
利用可能な安定調達資金 (ASF)					
資本項目及び資本調達手段	212,166	203,660	214,134	229,506	218,869
一般顧客からの預金	735,085	715,995	724,112	749,894	752,687
資本市場からの調達資金	1,211,435	1,127,120	1,092,732	1,152,859	1,147,415
その他負債	6,478	6,081	5,954	6,630	6,180
利用可能な安定調達資金 (ASF) 合計	2,165,163	2,052,855	2,036,932	2,138,889	2,125,152
所要安定調達額 (RSF)					
高品質な流動資産合計 (HQLA)	9,932	8,768	4,918	8,759	7,706
カバー・プールに対して12ヶ月超処分制約のある資産	493,384	452,064	483,554	454,427	426,639
正常貸出金及び証券	1,237,569	1,244,819	1,232,720	1,302,501	1,312,824
その他資産	62,996	57,342	48,935	55,797	64,867
オフバランスシート項目	23,296	22,905	23,811	24,371	24,788
所要安定調達額 (RSF) 合計	1,827,178	1,785,899	1,793,937	1,845,855	1,836,823
安定調達比率 (NSFR)	118%	115%	114%	116%	116%

欧州委員会が委任規則を導入後、流動性カバレッジ比率（以下、「LCR」という。）は、EUにおける銀行に対する拘束力のある要件となっている。かかる数値は、当行の流動性バッファと30日間の厳しいストレス・シナリオにおける正味キャッシュ・フローとの比率を規定する。かかる要件は総計レベルでLCRに適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。構造的流動性指標の最低要件であるNSFR（安定調達比率）は、利用可能な安定調達資金と所要安定調達額の比率であり、これにより、当行は1年間にわたり、通常時及びストレス下の両方の状況において資金需要を満たすのに十分な安定調達を確保する必要がある。最低要件は総計レベルでLCRに適用され、比率は100%以上でなければならない。

当四半期末現在、当行グループの総LCRは188%であった。これは、当行が資金調達市場における短期の混乱に対して著しく耐性があることを示している。同日現在の当行グループのNSFRは118%であった。

流動性創出策を伴うストレス・テスト

当行の流動性管理はストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対しては個別にも行われる。ストレス・テストは、当行が様々なストレス下において、当行の再建計画にも含まれている様々な施策を講じることで十分な流動性を確保する目的で設計されている。ストレス・テストは一般的なストレスと特異なストレスの双方を、定期的及び個別に適用して実施される。これらは住宅価格の大幅な下落を考慮したシナリオ分析によっても補完される。

より長期的な市場の混乱に対する耐性は、特定の仮定に基づくキャッシュ・フローのストレス・テストを通じて日次で測定される。例えば、当行が金融市場での資金調達ができないと同時に、個人及び法人の定期預金以外の預金の10%が1ヶ月以内に徐々に解約されることを仮定している。さらに、当行は中核事業を継続する、すなわち、個人及び法人からの定期預金並びに個人及び法人への貸出金が満期時に継続され、貸出金コミットメント及び与信枠の一部が顧客によって使用されると仮定する。同時に、現金並びに中央銀行への預け金及びその他の貸出が当行に緊急の流動性を確保可能な部分であることも考慮に入れている。当行に緊急の流動性を提供可能な国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が非常に高い有価証券など、流動性の高い有価証券も考慮に入れている。さらに、当行はカバード・ボンドの未使用発行額を活用することや、流動性を徐々に供給する他の流動性創出策を実施することにより、流動性の創出が可能である。このような状況により、当行の流動性は3年を超えて高水準に保たれる。

担保負担がない資産 (NEA)

2023年6月30日 十億スウェーデン・クローネ	NEA	無担保資金調達*に対する 累計カバー率 (%)
中央銀行に対する残高及び流動性ポートフォリオにおける有価証券	880	83%
住宅抵当ローン	816	159%
その他個人向け貸付	159	174%
低リスク・クラス (1-3) の不動産会社への貸出金	304	203%
低リスク・クラス (1-3) のその他の法人向け貸出金	127	215%
低リスク・クラス (1-3) の金融機関への貸出金	5	215%
その他の法人向け貸出金	343	247%
その他資産	42	251%
担保負担がない資産 (NEA) 合計	2,676	251%
裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産**	72	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	1,008	
資産合計、当行グループ	3,756	

2022年12月31日 十億スウェーデン・クローネ	NEA	無担保資金調達*に対する 累計カバー率 (%)
中央銀行に対する残高及び流動性ポートフォリオにおける有価証券	676	75%
住宅抵当ローン	800	163%
その他個人向け貸付	155	181%
低リスク・クラス (1-3) の不動産会社への貸出金	311	215%
低リスク・クラス (1-3) のその他の法人向け貸出金	137	230%
低リスク・クラス (1-3) の金融機関への貸出金	4	231%
その他の法人向け貸出金	321	266%
その他資産	55	272%
担保負担がない資産 (NEA) 合計	2,459	272%
裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産**	75	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	920	
資産合計、当行グループ	3,454	

* 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

** カバー・プールにおける超過担保額 (OC) 及び英国の破綻処理時の業務継続要件に対応する資産

本セクション中の情報は、本中間報告書の公表時点における、当行の重要なリスク及びリスク管理に関するものである。当行のリスク及び資本管理に関する記述はすべて、当行の年次報告書及び、当行の「リスク及び資本管理 - 第三の柱に関する情報」の中に記載されている。

注記22 関連当事者取引

当期中に、重要性の高い関連当事者との取引はなかった。

注記23 セグメント報告

当行のセグメント報告に関する情報は、11ページから19ページ (訳注：原文のページ番号) に記載されている。

注記24 後発事象

重要な後発事象はない。

[次へ](#)

要約財務書類 - 親会社

損益計算書（親会社）

	2023年度上半期		2022年度上半期	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
純利息収益	12,208	162,366	7,561	100,561
受取配当金	3,971	52,814	261	3,471
純手数料及びコミッション収益	2,258	30,031	2,669	35,498
金融取引による純損益	467	6,211	-677	-9,004
その他営業収益	1,990	26,467	1,627	21,639
収益合計	20,894	277,890	11,441	152,165
人件費	-5,990	-79,667	-5,727	-76,169
その他管理費用	-3,642	-48,439	-3,606	-47,960
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-1,209	-16,080	-1,200	-15,960
信用損失控除前費用合計	-10,842	-144,199	-10,533	-140,089
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益	10,052	133,692	908	12,076
正味信用損失	-82	-1,091	-49	-652
金融資産の減損	-98	-1,303	-25	-333
リスク税及び破綻処理手数料	-811	-10,786	-666	-8,858
営業利益	9,060	120,498	169	2,248
繰入			1	13
税引前利益	9,060	120,498	170	2,261
法人税等	-1,312	-17,450	-98	-1,303
当期利益	7,749	103,062	72	958

包括利益計算書（親会社）

	2023年度上半期		2022年度上半期	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	7,749	103,062	72	958
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	66	878	16	213
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-10	-133	-1	-13
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-10	-133	-1	-13
損益計算書に組み替えられない項目合計	56	745	15	200
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	328	4,362	2,320	30,856
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-2	-27	-73	-971
当期為替換算差額	167	2,221	757	10,068
うち、在外営業活動体に対する純投資のヘッジ	5	67	-50	-665

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金

-94 -1,250 -461 -6,131

うち、キャッシュフロー・ヘッジ

-68 -904 -478 -6,357

うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品

9 120

うち、在外営業活動体に対する純投資のヘッジ

-1 -13 10 133

うち、為替換算差額

-22 -293

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計

403 5,360 2,543 33,822

当期その他包括利益合計

458 6,091 2,561 34,061

当期包括利益合計

8,207 109,153 2,633 35,019

親会社の業績に関するコメント - 2023年度上半期と2022年度上半期との比較

親会社の財務書類は、組織の観点から、スウェーデン国内外の支店業務、キャピタル・マーケット並びに中央部門及びスタッフ機能に含まれる業務の一部をカバーしている。ハンデルスバンケンの事業の大半は地域支店から生じ、地域支店において対応されているが、法的には、取引高のかなりの部分が親会社以外の完全所有子会社、特にスタッドフィポテック・エイ・ピーの住宅金融専門機関及びハンデルスバンケン・ピーエルシーにおいて行われている。そのため、親会社の経営成績はグループ全体の事業活動による経営成績に相当するものではない。

デンマークの事業は2022年度第4四半期中に売却された。フィンランドの事業売却プロセスは計画通り継続中である。詳細については注記10を参照のこと。

親会社の営業利益は前年度に比べ169百万スウェーデン・クローネ増加し、9,060(8,891)百万スウェーデン・クローネとなった。金融取引による純損益が前年度比169%増の467(-677)百万スウェーデン・クローネとなったのは、貸借対照表および損益計算書において公正価値で評価されている、子会社であるスタッドフィポテックが発行し当行が保有する劣後ローンの市場でのスプレッドが低下したプラスの影響によるものである。受取配当金が3,710百万スウェーデン・クローネ増加し3,971(261)百万スウェーデン・クローネとなったのは、主に親会社が子会社のハンデルスバンケン・ピーエルシーから約3,400百万スウェーデン・クローネの配当金を受領したことによる。純利息収益は61%増の12,208(7,561)百万スウェーデン・クローネ、純手数料及びコミッション収益は15%減の2,258(2,669)百万スウェーデン・クローネであった。当期利益は72百万スウェーデン・クローネ増加し、7,749(7,677)百万スウェーデン・クローネとなった。2022年度末以降、親会社の資本は146,253(153,887)百万スウェーデン・クローネに減少している。

貸借対照表（親会社）

	2023年6月30日		2022年12月31日	
	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）
資産				
現金及び中央銀行預け金	398,811	5,304,186	376,010	5,000,933
中央銀行への担保として適格な利付証券	265,238	3,527,665	132,778	1,765,947
金融機関への貸出金	1,098,040	14,603,932	1,025,664	13,641,331
一般顧客への貸出金	633,301	8,422,903	637,721	8,481,689
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対 象の価値変動	-16,042	-213,359	-16,611	-220,926
債券及びその他の利付証券	59,185	787,161	33,339	443,409
株式	16,206	215,540	7,112	94,590
子会社株式及び関連会社に対する投資	70,855	942,372	70,483	937,424
顧客が価値変動リスクを負う資産	2,475	32,918	2,387	31,747
デリバティブ商品	73,212	973,720	52,360	696,388
無形資産	3,196	42,507	3,144	41,815
不動産、器具備品及びリース資産	6,480	86,184	6,530	86,849
当期税金資産	1,055	14,032	30	399
繰延税金資産	648	8,618	617	8,206
その他資産	8,025	106,733	30,166	401,208
前払費用及び未収金	1,702	22,637	1,159	15,415
資産合計	2,622,388	34,877,760	2,362,889	31,426,424
負債及び資本				
金融機関からの預り金	245,534	3,265,602	169,617	2,255,906
一般顧客からの預金及び借入金	1,236,513	16,445,623	1,137,272	15,125,718
顧客が価値変動リスクを負う負債	2,475	32,918	2,387	31,747
発行済証券	892,268	11,867,164	806,013	10,719,973
デリバティブ商品	34,406	457,600	36,985	491,901
ショートポジション	13,459	179,005	1,939	25,789
当期税金負債				
繰延税金負債	1,324	17,609	1,193	15,867
引当金	623	8,286	646	8,592
その他負債	11,817	157,166	6,779	90,161
未払費用及び繰延収益	1,764	23,461	2,901	38,583
劣後負債	35,085	466,631	42,404	563,973
負債合計	2,475,267	32,921,051	2,208,135	29,368,196
非課税剰余金	867	11,531	867	11,531
株式資本	3,069	40,818	3,069	40,818
資本剰余金	8,758	116,481	8,758	116,481
その他積立金	11,740	156,142	11,196	148,907
利益剰余金	114,938	1,528,675	115,409	1,534,940
当期利益	7,749	103,062	15,455	205,552
資本合計	146,253	1,945,165	153,887	2,046,697
負債及び資本合計	2,622,388	34,877,760	2,362,889	31,426,424

持分変動計算書（親会社）

制限資本

非制限資本

2023年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフト ウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金*	公正価 値評価 差額 準備金*	為替換 算調整 準備金*	当期利益 を含む 利益 剰余金	合計
2023年度期首資本	3,069	2,682	3,010	8,758	3,531	126	1,847	130,864	153,887
当期利益								7,749	7,749
その他包括利益					260	54	144		458
うち、資本の中での分類 変更									
当期包括利益合計					260	54	144	7,749	8,207
利益剰余金への振替									
配当金								-15,840	-15,840
内部開発ソフトウェア積立 金			85					-85	
期末資本	3,069	2,682	3,095	8,758	3,792	181	1,991	122,687	146,253

2022年度 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換 算調整 準備金	当期利益 を含む 利益 剰余金	非支配 株主持分	合計
2022年度期首資本	3,069	2,682	2,913		8,758	823	158	1,075	124,742	144,220
当期利益									15,455	15,455
その他包括利益						2,708	-33	771		3,447
うち、資本の中 での分類変更							-91	-573		-664
当期包括利益合計						2,708	-33	771	15,455	18,902
利益剰余金への振 替									664	664
配当金*									-9,900	-9,900
内部開発ソフト ウェア積立金			98						-98	
期末資本	3,069	2,682	3,010		8,758	3,531	126	1,847	130,864	153,887

2022年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	保険契約	為替換 算調整 準備金	当期利益 を含む 利益 剰余金	非支配 株主持分	合計
2022年度期首資本	3,069	2,682	2,913		8,758	823	158	1,075	124,742	144,220
当期利益									72	72
その他包括利益						1,842	-49	767		2,561
うち、資本の中 での分類変更								-505		-505
当期包括利益合計						1,842	-49	767	72	2,632
利益剰余金への振 替									505	505
配当金									-9,900	-9,900
内部開発ソフト ウェア積立金			3						-3	
期末資本	3,069	2,682	2,915		8,758	2,665	110	1,843	115,416	137,458

* 公正価値ファンドに含まれる。

	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金*	公正価値評価差額準備金*	為替換算調整準備金*	当期利益を含む利益剰余金	
2023年度上半期 百万円									
2023年度期首資本	40,818	35,671	40,033	116,481	46,962	1,676	24,565	1,740,491	2,046,697
当期利益								103,062	103,062
その他包括利益					3,458	718	1,915		6,091
うち、資本の中での分類変更									
当期包括利益合計					3,458	718	1,915	103,062	109,153
利益剰余金への振替									
配当金								-210,672	-210,672
内部開発ソフトウェア積立金			1,131					-1,131	
期末資本	40,818	35,671	41,164	116,481	50,434	2,407	26,480	1,631,737	1,945,165

	株式資本	資本剰余金	確定給付年金制度	ヘッジ準備金	公正価値評価差額準備金	保険契約	為替換算調整準備金	当期利益を含む利益剰余金	非支配株主持分	合計
2022年度 百万円										
2022年度期首資本	40,818	35,671	38,743		116,481	10,946	2,101	14,298	1,659,069	1,918,126
当期利益									205,552	205,552
その他包括利益						36,016	-439	10,254		45,845
うち、資本の中での分類変更							-1,210	-7,621		-8,831
当期包括利益合計						36,016	-439	10,254	205,552	251,397
利益剰余金への振替									8,831	8,831
配当金*									-131,670	-131,670
内部開発ソフトウェア積立金			1,303						-1,303	
期末資本	40,818	35,671	40,033		116,481	46,962	1,676	24,565	1,740,491	2,046,697

	株式資本	資本剰余金	確定給付年金制度	ヘッジ準備金	公正価値評価差額準備金	保険契約	為替換算調整準備金	当期利益を含む利益剰余金	非支配株主持分	合計
2022年度上半期 百万円										
2022年度期首資本	40,818	35,671	38,743		116,481	10,946	2,101	14,298	1,659,069	1,918,126
当期利益									958	958
その他包括利益						24,499	-652	10,201		34,061
うち、資本の中での分類変更								-6,717		-6,717
当期包括利益合計						24,499	-652	10,201	958	35,006
利益剰余金への振替									6,717	6,717
配当金									-131,670	-131,670
内部開発ソフトウェア積立金			40						-40	

期末資本	40,818	35,671	38,770		116,481	35,445	1,463	24,512	1,535,033	1,828,191
------	--------	--------	--------	--	---------	--------	-------	--------	-----------	-----------

* 公正価値ファンドに含まれている。

要約キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2023年度上半期		2022年度上半期	
	（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）
営業利益	9,060	120,498	169	2,248
営業活動から投資活動への調整				
損益に含まれる非現金項目の調整	2,336	31,069	1,556	20,695
法人税の支払	-2,318	-30,829	-2,844	-37,825
営業活動による資産及び負債の変動	9,281	123,437	169,247	2,250,985
営業活動からのキャッシュ・フロー	18,358	244,161	168,129	2,236,116
事業及び子会社の処分				
株式の変動	-53	-705	-101	-1,343
不動産及び器具備品の変動	-910	-12,103	-697	-9,270
無形資産の変動	-369	-4,908	-236	-3,139
投資活動からのキャッシュ・フロー	-1,332	-17,716	-1,033	-13,739
劣後ローンの返済	-8,351	-111,068		
劣後ローンの発行			5,260	69,958
配当金の支払	-15,840	-210,672	-9,900	-131,670
当行グループ会社からの受取配当金	16,249	216,112	16,685	221,911
財務活動からのキャッシュ・フロー	-7,943	-105,642	12,045	160,199
期首流動資金	376,010	5,000,933	338,768	4,505,614
当期キャッシュ・フロー	9,083	120,804	179,141	2,382,575
流動資金の為替換算差額	13,718	182,449	22,781	302,987
期末流動資金*	398,811	5,304,186	540,690	7,191,177

* 流動資金は現金及び中央銀行預け金である。

自己資本及び所要自己資本（親会社）

主な指標

	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2022年 12月31日	2022年 9月30日	2022年 6月30日
百万スウェーデン・クローネ					
利用可能な自己資本					
普通株式等Tier1(CET1)資本	133,640	131,789	130,069	130,995	130,214
Tier1資本	149,759	147,244	145,652	147,564	145,555
資本合計	170,192	166,604	164,704	166,140	168,819
リスク加重エクスポージャー額					
リスク加重エクスポージャー合計額	447,494	449,408	442,406	460,099	471,791
自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)					
普通株式等Tier1比率(%)	29.9%	29.3%	29.4%	28.5%	27.6%
Tier1資本比率(%)	33.5%	32.8%	32.9%	32.1%	30.9%
総自己資本比率(%)	38.0%	37.1%	37.2%	36.1%	35.8%
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）					
レバレッジ(%)	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.6%
うち、CET1資本の割合（パーセンテージ・ポイント）	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.9%
うち、Tier1資本の割合（パーセンテージ・ポイント）	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.2%
SREPに基づく所要自己資本合計(%)	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%	9.6%
結合バッファー要件（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）					
資本保全バッファー(%)	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
加盟国単位で特定されたマクロ・プルーデンスのリスク又はシステミック・リスクに対する保全バッファー(%)					
金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファー(%)	1.7%	1.1%	1.0%	0.8%	0.3%
システミック・リスク・バッファー(%)					
グローバルにシステム上重要な金融機関バッファー(%)					
その他の金融システム上重要な金融機関バッファー					
結合バッファー要件(%)	4.2%	3.6%	3.5%	3.3%	2.8%
所要自己資本合計(%)	13.9%	13.3%	13.2%	13.0%	12.3%
SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET1(%)	24.3%	23.8%	23.9%	26.4%	22.2%
レバレッジ比率					
レバレッジ比率エクスポージャー合計	1,812,374	1,687,857	1,575,111	1,806,127	1,805,514
レバレッジ比率	8.3%	8.7%	9.2%	8.2%	8.1%
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額に対する割合）					
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)					
うち、CET1資本の割合（パーセンテージ・ポイント）					
SREPに基づくレバレッジ比率要件合計(%)	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
流動性カバレッジ比率(LCR)*					
高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	787,647	787,825	785,155	762,242	721,374

資金流出額(加重平均)	622,915	636,476	628,587	622,625	599,300
資金流入額(加重平均)	170,646	169,290	156,413	136,185	131,736
純資金流出額(調整額)	452,269	467,186	472,174	486,440	467,564
流動性カバレッジ比率	176%	171%	170%	158%	156%
安定調達比率(NSFR)					
利用可能な安定調達資金	1,372,825	1,321,153	1,306,873	1,392,059	1,382,736
所要安定調達額	1,204,214	1,219,697	1,236,689	1,295,231	1,328,763
NSFR(%)	114%	108%	106%	107%	104%

* 高品質な流動資産及びキャッシュ・フローは、直近12ヶ月における各月末時点の価額の平均を参照している。比率はこれらの平均に基づいて計算されている。

リスク加重エクスポージャー額の概要

	RWEA		所要自己資本	
	2023年 6月30日	2023年 3月31日	2023年 6月30日	2023年 3月31日
百万スウェーデン・クローネ				
信用リスク（カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く）	368,693	358,817	29,495	28,705
うち、標準的手法	148,409	149,917	11,873	11,993
うち、基礎的IRB手法（F-IRB手法）	50,093	46,335	4,007	3,707
うち、スロットティング方式				
うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	2,205	2,064	176	165
うち、先進的IRB手法（A-IRB手法）	142,610	134,898	11,409	10,792
うち、リスク加重フロア	25,376	25,603	2,030	2,048
カウンターパーティ信用リスク(CCR)	10,307	13,335	825	1,067
うち、標準的手法	7,423	8,857	594	709
うち、内部モデル方式（IMM）				
うち、CCPに対するエクスポージャー	166	186	13	15
うち、信用評価調整 - CVA	1,982	3,375	159	270
うち、他のCCR	736	917	59	73
決済リスク				
非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）				
うち、SEC-IRBA手法				
うち、SEC-ERBA手法（IAAを含む）				
うち、SEC-SA手法				
うち、1,250%/控除				
ポジション、外国為替、コモディティ・リスク（市場リスク）	28,925	37,687	2,314	3,015
うち、標準的手法	28,925	37,687	2,314	3,015
うち、内部モデル方式（IMA）				
大口エクスポージャー				
オペレーショナル・リスク	39,569	39,569	3,166	3,166
うち、基礎的指標手法				
うち、標準的手法	39,569	39,569	3,166	3,166
うち、先進的計測手法				
控除の基準値未満の額（リスクウェイトは250%）				
合計	447,494	449,408	35,800	35,953

2【その他】

(1)訴訟及び規制手続

該当事項なし。

(2)後発事象

該当事項なし。

3【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びSFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、SFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。SFSAの推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

(1) 連結

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子

会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続上利用できることと規定されている。

(2) 企業結合及びのれん

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合にはいつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却されない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により規則的に償却され、減損の兆候が認められた場合に減損テストの対象となる。

(3) 非金融資産の減損

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。そのような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識される。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入れることができるが、戻入れ後に増加する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前の見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(4) 退職後給付

IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が年金債務を超える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されている。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びSFSAの規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

(5) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これらの資産及び負債を相殺して単一の金額として表示してはならない。また、売却目的保有として分類した非流動資産(又は処分予定の資産)に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。(IFRS第5号)

日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

(6) 保険契約

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第17号「保険契約」は、以下のものに適用しなければならない。

(a)当該企業が発行する保険契約(再保険契約を含む)

(b)当該企業が保有する再保険契約

(c)当該企業が発行する裁量権付有配当投資契約(企業が保険契約も発行する場合)

IFRS第17号における「保険契約」とは、「一方の当事者(発行者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重大な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

日本の会計原則

日本においては、IFRS第17号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。

(7) 保険契約における測定

IFRS

IFRS第17号では、一般測定モデル、保険料配分アプローチ及び変動手数料アプローチの3つの測定アプローチに基づいた単一の評価原則を導入している。なお、当行グループは、以下(a)又は(b)を適用している。

(a) 一般測定モデル

IFRS第17号では、保険契約の評価に関する一般的なアプローチを定めており、当初認識時に、保険契約グループを下記の合計額で測定しなければならない。

() 履行キャッシュ・フロー（以下で構成される）

- ・将来キャッシュ・フローの見積り

- ・貨幣の時間価値及び将来キャッシュ・フローに係る金融リスク（当該金融リスクが将来キャッシュ・フローの見積りに反映されていない範囲で）を反映するための調整

- ・非金融リスクに係るリスク調整

() 契約上のサービス・マージン

(b) 保険料配分アプローチ

グループの契約開始時において、下記のいずれかの場合に該当する場合に、かつ、その場合にのみ、保険契約グループの測定を単純化することができる。

- () そうした単純化による当該グループの残存カバーに係る負債の測定が、一般アプローチにおける要求事項を適用した場合の測定と重要性がある差異がないと企業が合理的に予想している場合、又は

- () 当該グループの中の各契約のカバー期間が1年以内である場合

(c) 変動手数料アプローチ

一般測定モデルに一定の調整を加えたアプローチであり、直接連動有配当保険契約に関して適用される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、このようなアプローチでの概念を扱った基準はなく、保険契約は保険業法に基づき、保険料及び責任準備金の算出方法書に記載された方法に従って計算し、積み立てられている。

(8) グループ利益分配

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

(9) 金融商品

金融商品の分類及び測定

IFRS

(金融資産)

IFRS9 では、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び、金融資産の契約条件により、元本及び元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローが所定の日に生じるという特性（以下「SPPI要件」という。）に基づき、原則として下記（a）～（c）のいずれかの事後測定が行われる金融資産に分類される。（IFRS第9号「金融商品」）

（a）償却原価測定

契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することを目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

（b）その他の包括利益（以下「OCI」という。）を通じて公正価値測定（以下「FVOCI」という。）

契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

（c）純損益を通じて公正価値で測定（以下「FVPL」という。）

上記以外の金融資産

上記の原則的分類に対し、下記の二つの例外が認められている。

・公正価値オプション

会計上のミスマッチを除去又は大幅に低減することとなる場合には、当初認識時に金融資産をFVPL 測定するという取り消しできない指定が可能

・OCIオプション

資本性金融商品に対する投資について、当初認識時に公正価値の事後の変動をOCI に表示するという取り消しできない選択を行うことが可能。ただし、投資の売却時において、累積されたOCI を当期の損益に計上すること（以下「リサイクリング」という。）は認められない。

(金融負債)

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債、一定の金融保証契約、公正価値オプションの指定を行った金融負債等の例外を除き、償却原価により事後測定する金融負債に分類される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従い、金融資産および金融負債は以下のように測定される。

- ・売買目的有価証券は、時価で測定し、時価の変動は損益認識される。
- ・個別財務書類においては、子会社株式および関連会社株式は、取得原価で計上される。
- ・満期保有目的の債券は取得原価または償却原価で測定される。
- ・売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式以外の有価証券（「その他有価証券（IAS第39号における売却可能有価証券に類似）」）は、時価で測定し、時価の変動額は、純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される。

- ・市場価格のない株式等は取得原価をもって計上する。
- ・貸付金および債権は取得原価または償却原価で測定される。
- ・金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法で評価される。
- ・IFRSで認められる公正価値オプションに関する会計基準はない。

金融資産の減損

IFRS

IFRS9では、償却原価測定及びFVOCI 測定の金融資産、リース債権、IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」の範囲に含まれる取引から生じた契約資産、ローン・コミットメント、金融保証契約に係る予想信用損失に対して損失評価引当金を認識する（IFRS第9号「金融資産」）。各報告日において、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を全期間の予想信用損失の金額で、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を12か月の予想信用損失の金額で測定する。

金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを判定するにあたっては、予想信用損失の金額の変動ではなく、当該金融商品の予想存続期間にわたる債務不履行発生リスクの変動を用いて行う。

予想信用損失を測定する際に考慮すべき最長の期間は、企業が信用リスクに晒される最長の契約期間（延長オプションの行使による期間を含む。）を使う。

金融商品の予想信用損失は、下記を反映する方法で見積もる。

- ・一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される偏りのない確率加重金額
- ・貨幣の時間価値
- ・過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

日本の会計原則

日本では企業会計基準第10号に従い、債権の貸倒見積高は、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて、「一般債権」、「貸倒懸念債権」、「破産更生債権等」に区分し、それぞれに応じて定められた方法により算定する。

売買目的以外の有価証券のうち時価があるものについて、時価が著しく下落した場合に、回復する見込みがあると認められる場合を除き、減損損失が認識され、当該資産の帳簿価額は時価まで減額される。減損損失の額は当期純利益に認識される。

その他有価証券について減損損失の認識を行う場合、純資産に認識された累積未実現損失は、純資産から除かれ、当期純利益に認識される。減損損失の戻入は認められない。

ヘッジ

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段

の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。

- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じ会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、その他有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、リスク要因(金利リスク、為替リスク等)が共通しており、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

金融資産の認識の中止

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資

産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

(10) リース

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、IFRS第16号「リース」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の借手会計処理モデルを適用する。すべてのリース契約（短期リース契約及び原資産が少額であるリース契約を除く）につき、借手の貸借対照表に資産（使用权資産）および負債が認識される。また当該資産の減価償却費ならびにリース債務に係る支払利息は損益計算書に認識される。

日本の会計原則

企業会計基準第13号に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。借手のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として貸借対照表に計上する。ただし、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引や、リース期間が1年以内のリース取引などは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行うことができる。

オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。

第7【外国為替相場の推移】

1【当該半期中における月別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月
最高	12.78	13.12	13.04	13.13	13.32	13.41
最低	12.34	12.40	12.53	12.58	12.87	12.79
平均	12.56	12.72	12.77	12.89	13.12	13.12

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ = 13.28円 (2023年9月21日)

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【提出会社の参考情報】

2023年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

(1) 臨時報告書及びその添付書類

2023年5月31日 金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び第2項第9号の4の規定に基づき、関東財務局長に提出

(2) 有価証券報告書及びその添付書類

2023年6月27日 関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。